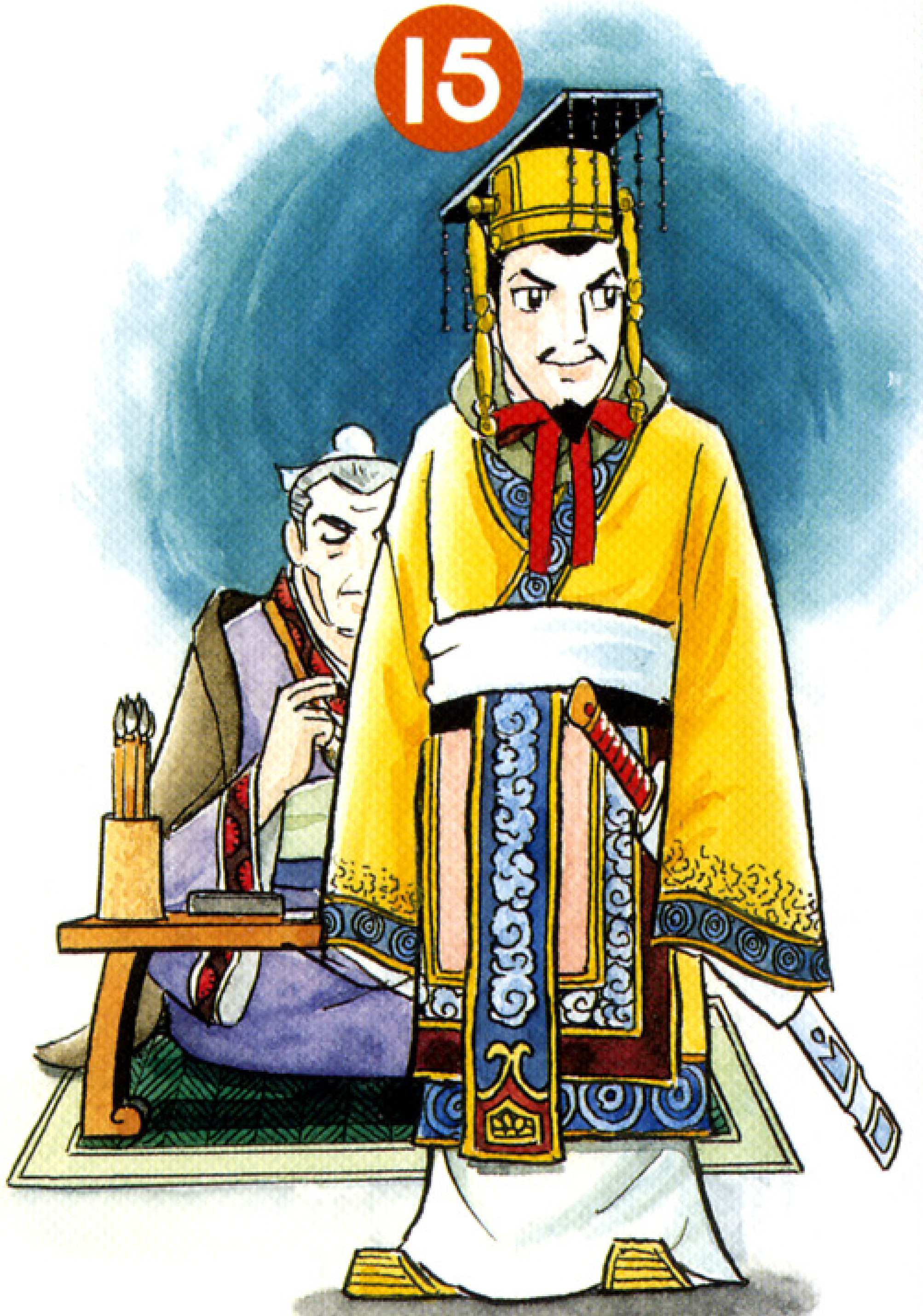
SHOGAKUKAN

漢大帝国

史記

横山光輝

15



CHINESE HISTORY[SHIKI]

MITSUTERU YOKOYAMA PRESENTS

BGC
BIG GOLD COMICS

BGC
BIG GOLD COMICS

史記

15

横山光輝

MITSUTERU YOKOYAMA PRESENTS CHINESE HISTORY SHIKI

小学館

9784091891952

1920379006481

ISBN4-09-189195-0

C0379 ¥648E

定価：本体648円＋税

BGC
BIG GOLD COMICS

CHINESE HISTORY[SHIKI]

長い長い戦国時代が、劉氏の手によってようやく終焉に向かった中国。
しかし、急激な世代交代は、国士たちの厚い忠義心ゆえに、
互いの反目を招く。異国の地・匈奴もまた覇権の行方を窺っていた。
作者・司馬遷が生まれ、育った漢の時代を背景に、
さまざまな思惑が交叉する古代中国の有様……。
見て、読む、コミック版『史記』、ついに堂々の完結編!!

横山光輝

MITSUTERU YOKOYAMA PROFILE

昭和29年に「音無しの剣」でデビュー。「鉄人28号」「おてんば天使」「伊賀の影丸」等で不動の地位を確立する。昭和42年より「水滸伝」を連載、さらに昭和46年からライフワークともいえる「三国志」の連載を開始する。「バビル２世」「時の行者」等、ＳＦの傑作も多い。「史記」は、古代中国史全体を見極めようとする新しいライフワークだ。

BGC
BIG GOLD COMICS

ビッグゴールド・コミックス

史記　全15巻	横山光輝
平成野球草子　全10巻	水島新司
無限界漂流記①～②	松本零士
妖怪博士の朝食　全４巻	水木しげる
ゼンマイ仕掛けの犯罪白書　全２巻	青柳裕介
青柳裕介作品集①～②	青柳裕介
ケースハード①～⑥	松本零士
アトンの娘　全３巻	里中満智子
博愛の人　全８巻	ジョージ秋山
齋藤なずな作品集　全４巻	齋藤なずな
紅(くれない)にほふ　全３巻	竹宮惠子
トワイライト・ミュージアム	岡崎二郎
理想宮　全２巻	畑中　純
HATAGO〈旅籠〉　全2巻	石ノ森章太郎
石ノ森版立川文庫①～③	石ノ森章太郎
心の迷宮①～②	近藤ようこ
ワールド漂流記　全1巻	藤子不二雄Ⓐ
たらちねストリート　全２巻	画家哲郎&高井研一郎
野性伝説①～⑤	戸川幸夫&矢口高雄
職人尽百景①～③	村野守美
新・藩翰譜　森一族　全2巻	久保田千太郎&ほんまりう

SHOGAKUKAN
漢大帝国

史記

横山光輝

15

BIG GOLD COMICS

BGC
BIG GOLD COMICS

史記

15

横山光輝

MITSUTERU YOKOYAMA PRESENTS/CHINESE HISTORY[SHIKI]

小学館

BGC
BIG GOLD COMICS

CHINESE HISTORY[SHIKI]

SHOGAKUKAN

漢大帝国

史記

横山光輝

⑮

BGC

BIG GOLD COMICS

史記⑮ 漢大帝国

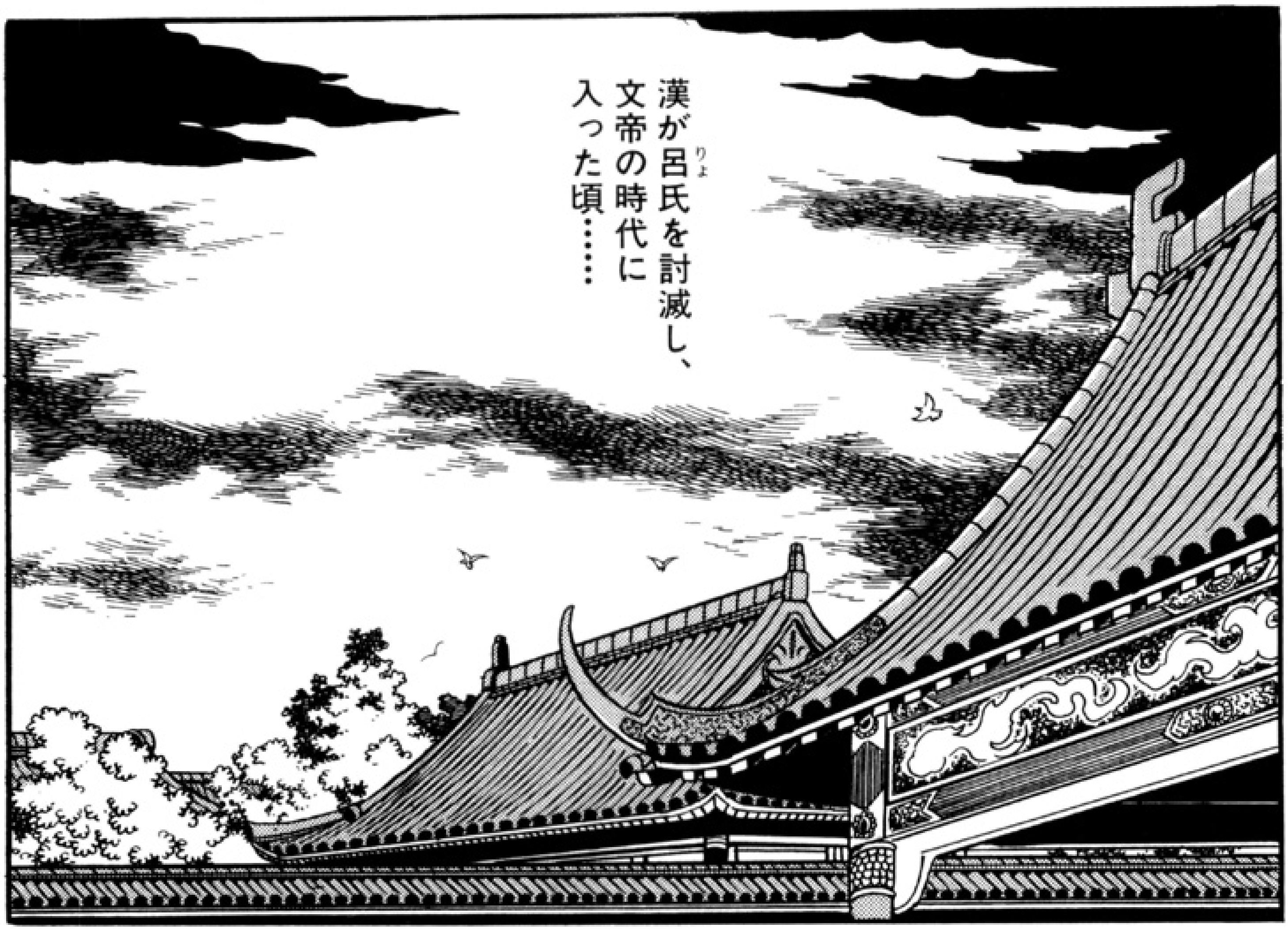
目次

CHINESE HISTORY[SHIKI]

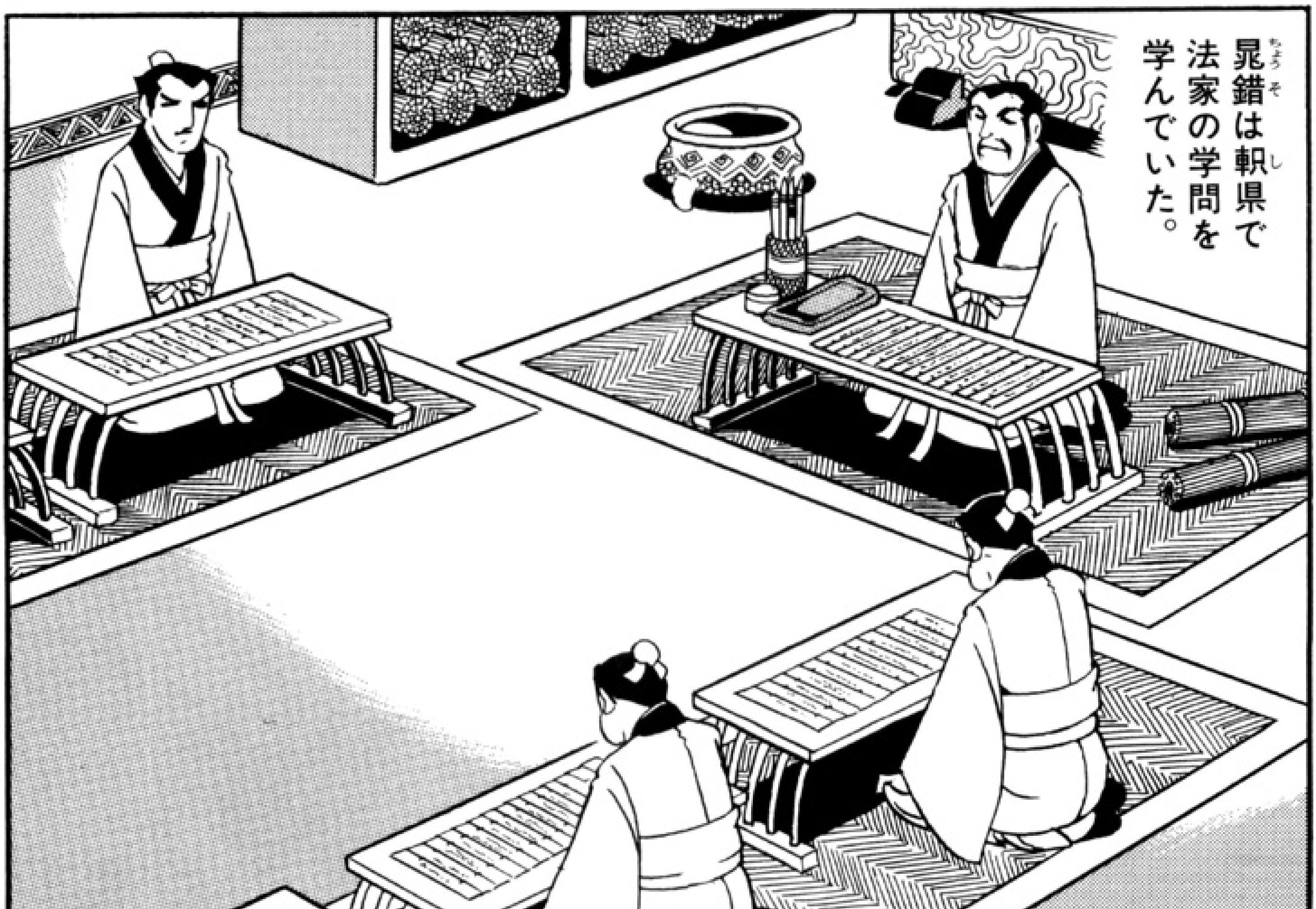
MITSUTERU YOKOYAMA PRESENTS

第1話 呉楚七国の乱〈前編〉……5
第2話 呉楚七国の乱〈後編〉……67
第2話 大単于冒頓……127
最終話 禍の男……187

第1話
呉楚七国の乱・前編

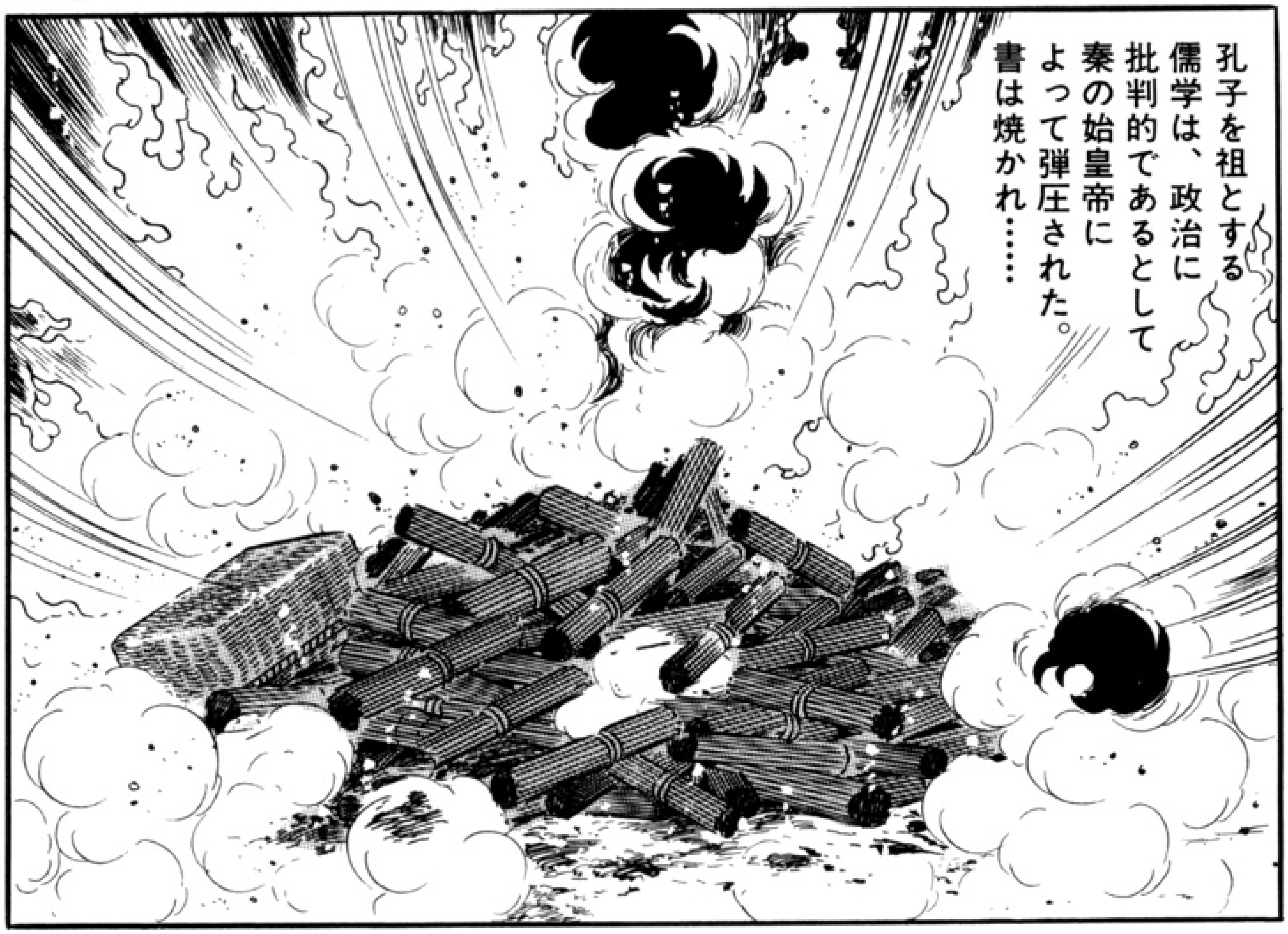


2



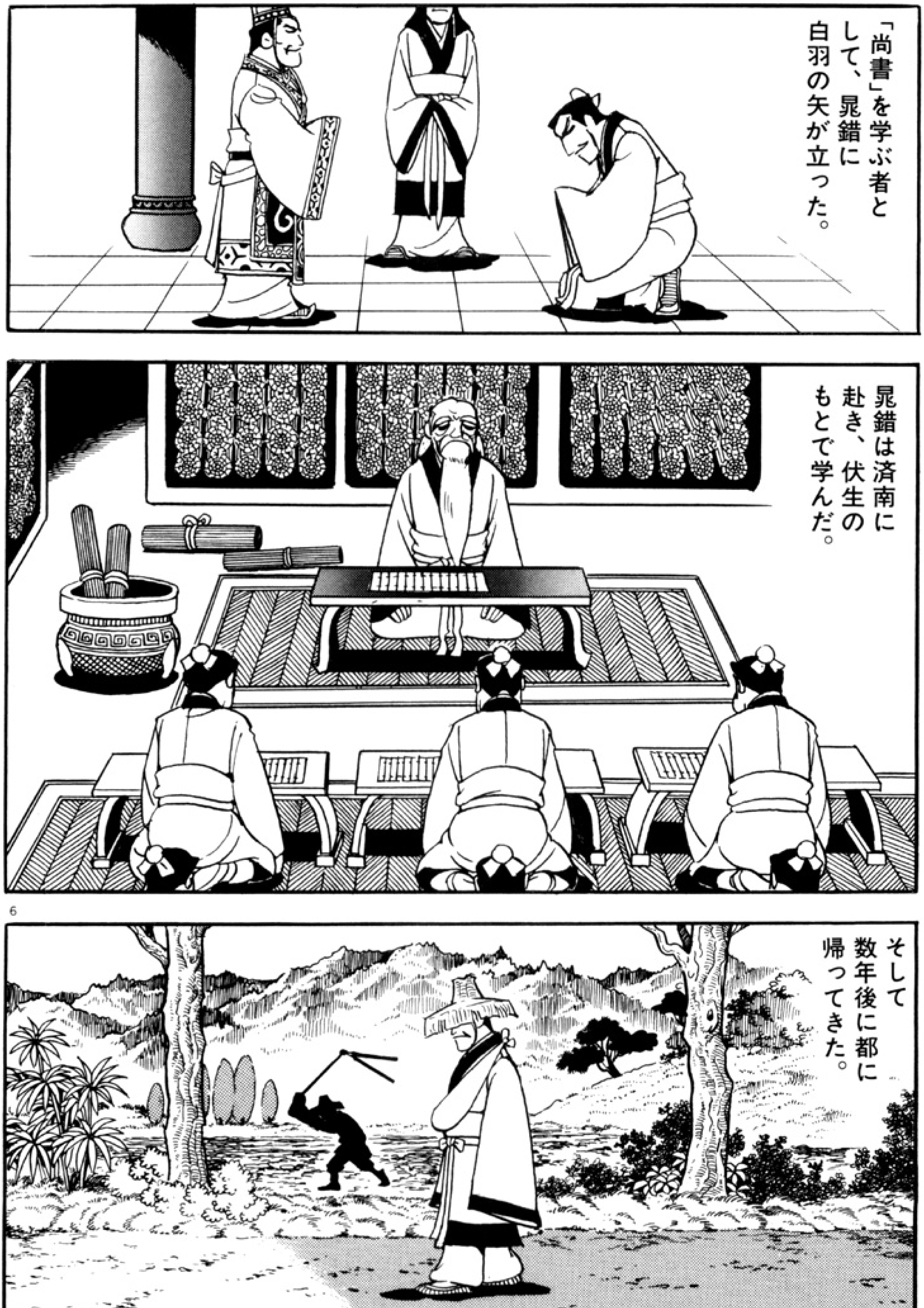
のう、古代からの政道を記した尚書(書経)を知る者は、もはや一人もおらぬと申すがまことか?
いえ、以前秦の博士であった伏生が済南で教えていると聞きました。今 尚書を知っている者は、その一人だけかと思いまする。
おおっ、その学問はまだ伝えられているのじゃな。
はい。
天子たる者、昔の天子がどのようにして国を治めたかぐらいは知っておくべきだ。伏生とやらを都に召し出せ。
それが、伏生はすでに九十歳を過ぎる老人で、都に出てくることはちと無理かと……

ふむう…
しかしわしも
学びたいし
太子にも学ばせ
たい……
ならば誰か
優れた者を
済南に行かせ、
学ばせてきては
いかがで
ございましょう。
なるほど…
しかし
誰がよい？
………
陛下に申し
あげます。
軹県の張恢(ちょうかい)と申す
法学者のもとで
学んでいる、
晁錯と申す若者は
秀才との噂が
高うございます。
ほう、そのような
若者がいるのか。
よし、その者を
召し出し、
尚書を学ばせよ。
はっ。


孔子を祖とする
儒学は、政治に
批判的であるとして
秦の始皇帝に
よって弾圧された。
書は焼かれ……

5

儒者は生き埋めと
された。歴史に名高い
「焚書坑儒（ふんしょこうじゅ）」である。
このため儒学は衰退して
いったのである。



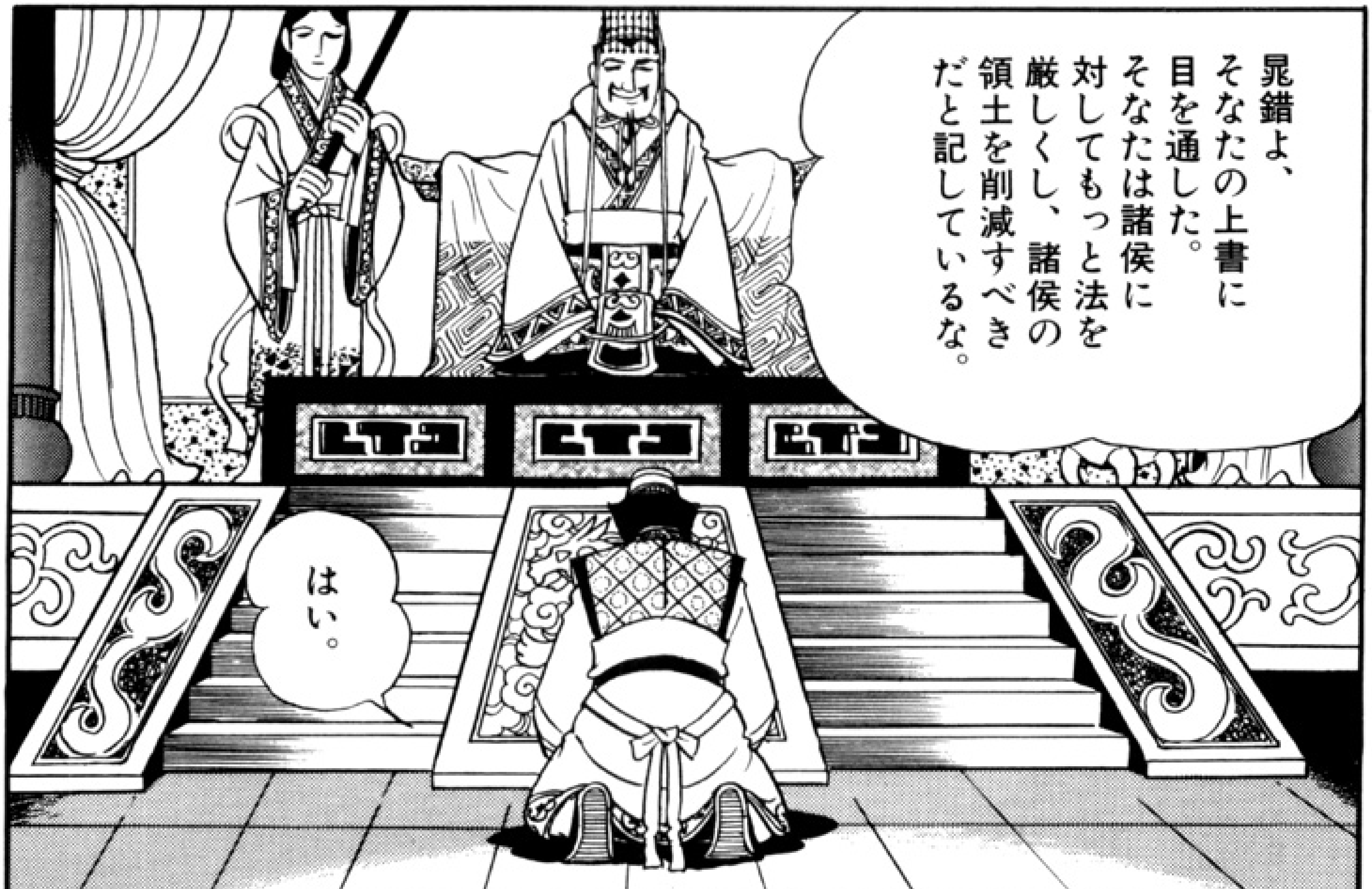
「尚書」を学ぶ者として、晁錯に白羽の矢が立った。
晁錯は済南に赴き、伏生のもとで学んだ。
そして数年後に都に帰ってきた。

晁錯よ、尚書をしっかりと学んで参ったか？
ははーっ。
よろしい、今日よりそなたを太子の侍従にいたす。太子をよく教育してくれ。
ははーっ。

7

晁錯はきびしいと
思えるほどの
厳格さで侍従を
務めた。

太子の信頼は厚く、
晁錯は太子邸の
事務から会計まで
すべてを管理する
「家令」にまで
出世していった。

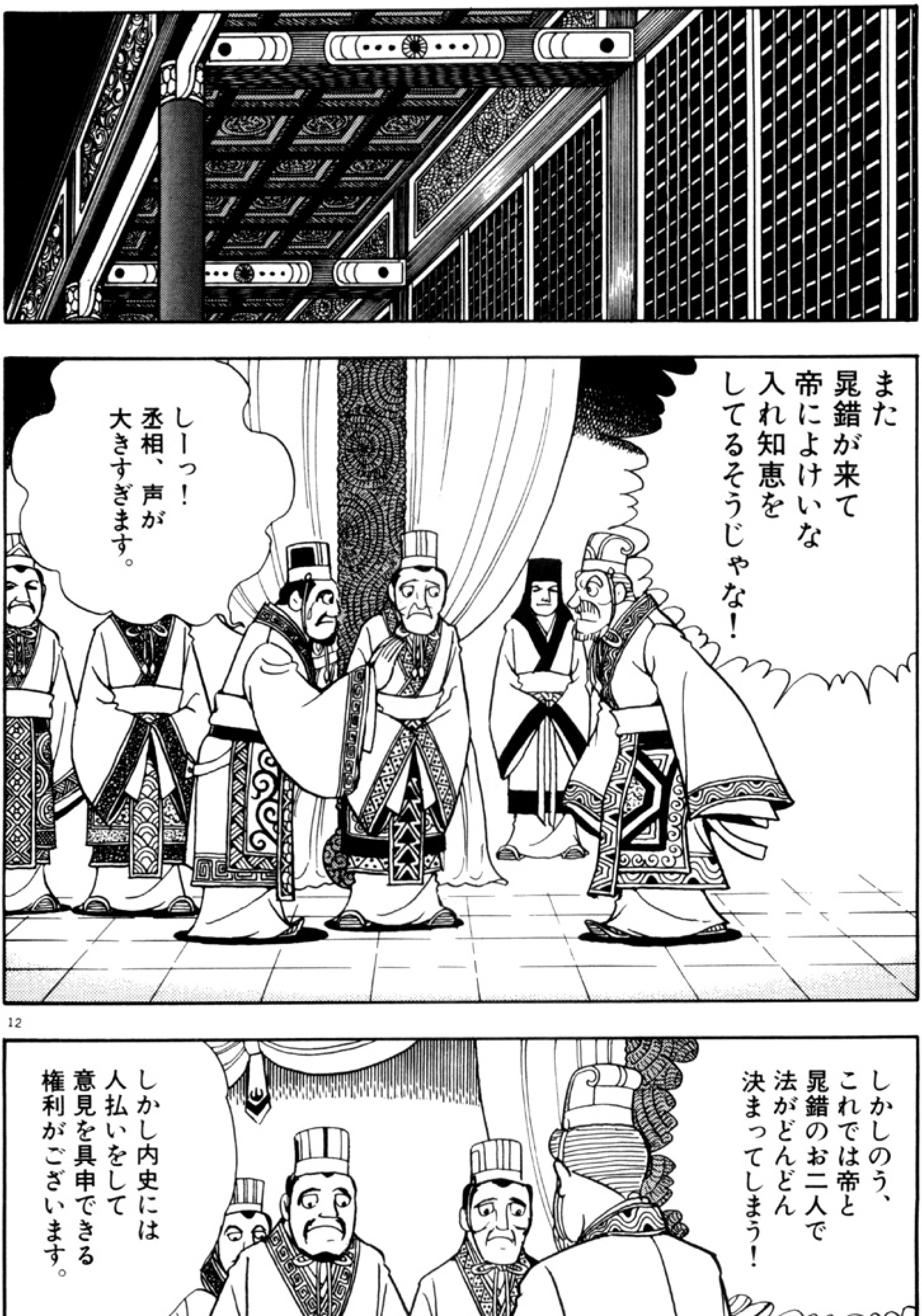

晁錯よ、
そなたの上書に
目を通した。
そなたは諸侯に
対してもっと法を
厳しくし、諸侯の
領土を削減すべき
だと記しているな。
はい。

漢は陛下を迎えて新しい時代に入りました。これからは朝廷が強大な権力を持って諸侯を従わせていくべきなのです。
まず諸侯に対して厳しい法を作り、違反する者の領土をどんどん削減し、力を衰えさせ、中央の権力を強大とするのです。そうすれば謀反など企む者もいなくなり、漢朝は安泰です。
ふむう。
陛下。
おう袁盎(えんおう)か、何か言いたそうだな、発言を許す。
たしかに秩序を守るために法は必要です。しかし、中央の権力を高めるためだけの法など反対です。

陛下、各国の王はすべて劉氏一族です。さらに「侯」を賜った人々はみな功労者です。その方々の領土を削っていけば、かえって劉氏一族の和にひびが入ります。
劉氏の和が乱れて喜ぶのは、北方の騎馬民族だけでございましょう。
それ以来晁錯と袁盎は犬猿の仲となり、同席するのさえいやがった。
晁錯はそれからも領土削減政策を奏上した。太子は賛成したが、文帝は取り上げなかった。

10

やがて文帝が崩じ…
太子が即位した。景帝である。
11
と同時に、晁錯は内史(首都の知事)にとりたてられた。


また晁錯が来て帝によけいな入れ知恵をしてるそうじゃな！
しーっ！丞相、声が大きすぎます。
しかしのう、これでは帝と晁錯のお二人で法がどんどん決まってしまう！
しかし内史には人払いをして意見を具申できる権利がございます。

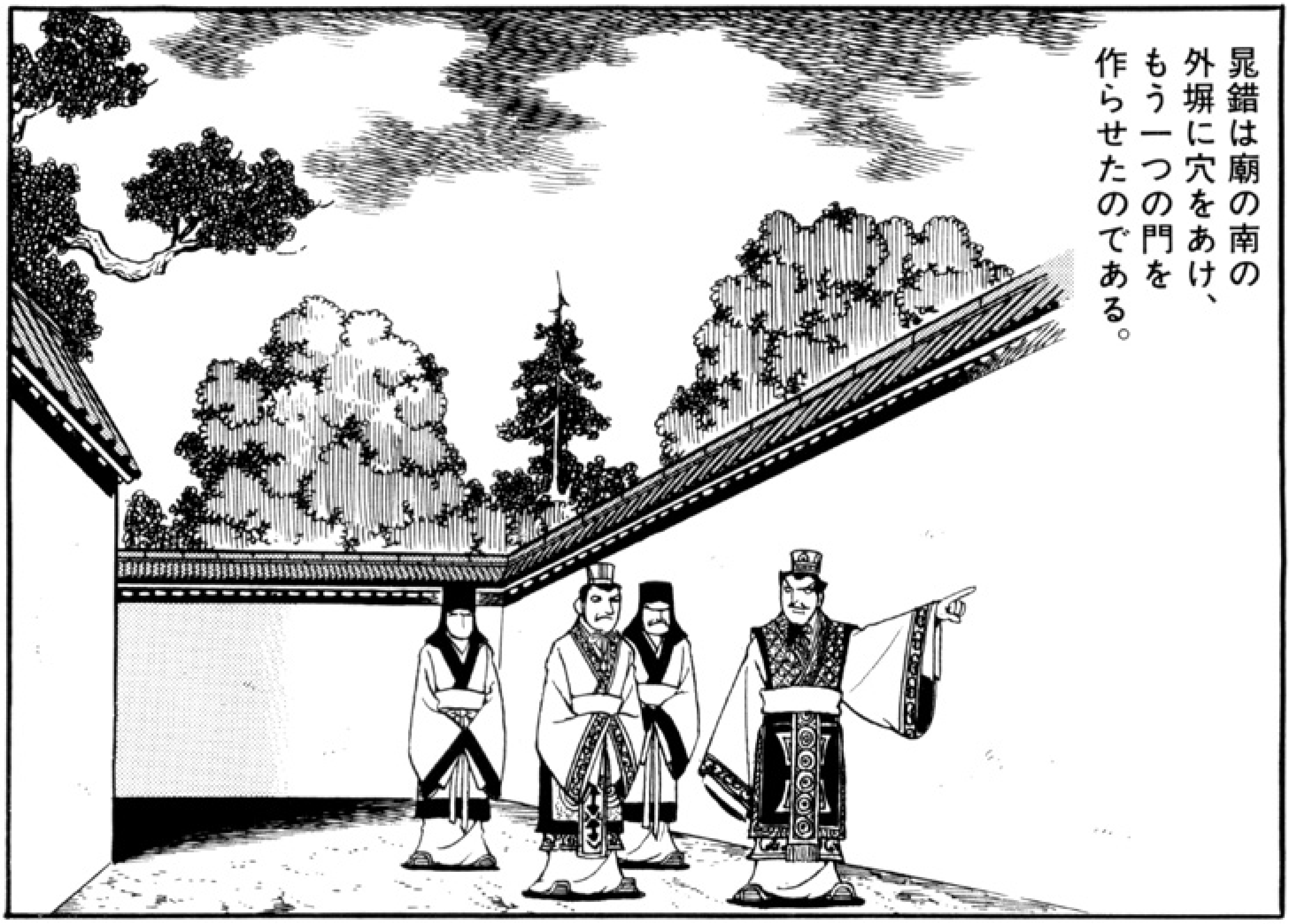
12

それはわかっている。しかしこれではわしやそなた達大臣は、なんのためにおるのじゃ、飾り物か？
と、申されましても……
国の運命を左右する法を、帝と晁錯だけで決めてしまうなどあってはならぬこと。これではご政道がゆがむ……
その通りですが陛下の晁錯どのへのご信頼は厚く、とてもわれわれには……
13
漢朝のためにも晁錯を取り除かねばならぬ……といってわしにはその力はない……
こうなると帝をずけずけ諫めた袁盎がなつかしい……

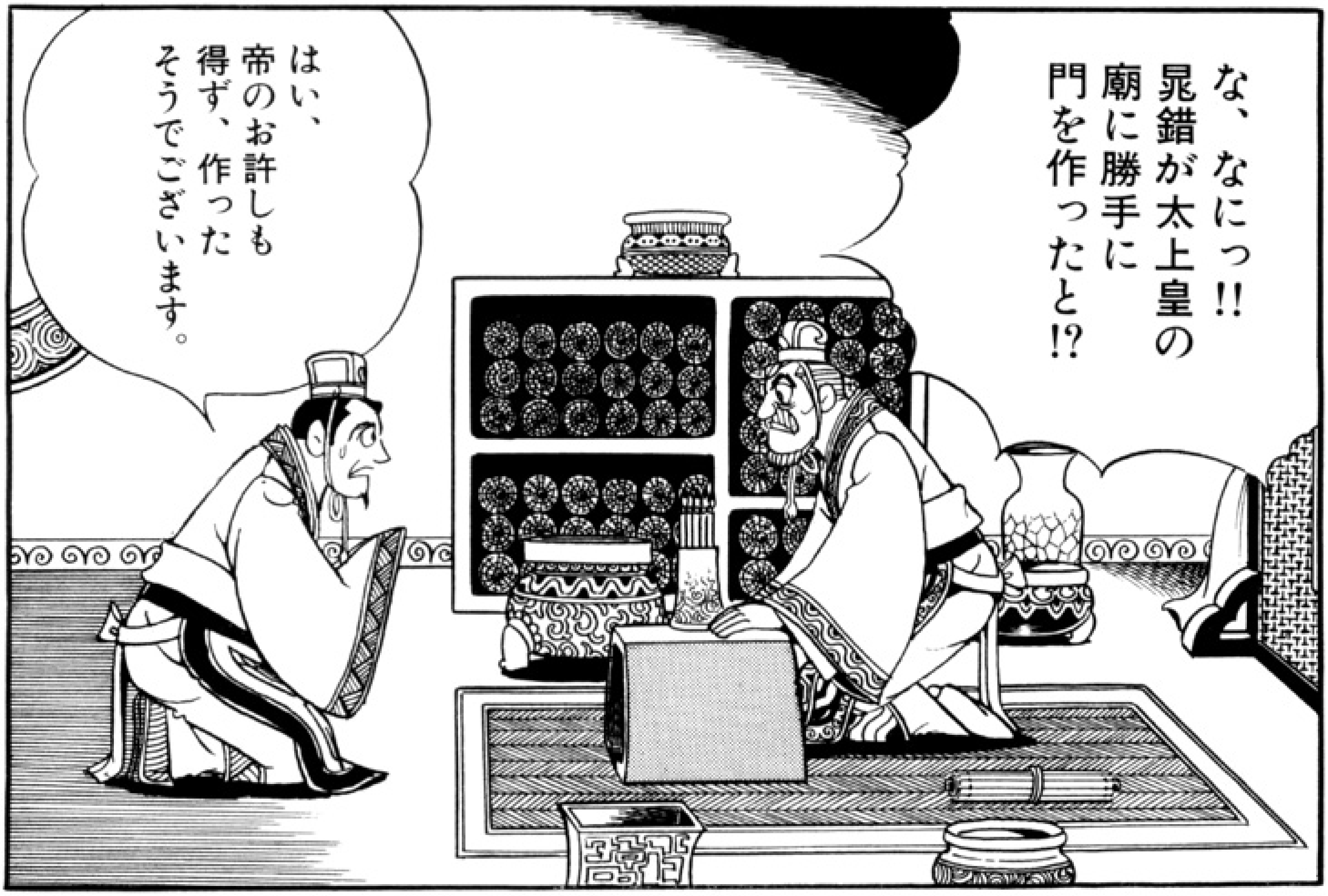
晁錯が勤める
内史府は、
太上皇(高祖の父)を
祀った廟の境内に
あった。

14

だがここは東門しか
なく、晁錯は出入りに
不便を感じていた。


晁錯は廟の南の
外塀に穴をあけ、
もう一つの門を
作らせたのである。

15


な、なにっ!!
晁錯が太上皇の
廟に勝手に
門を作ったと!?
はい、
帝のお許しも
得ず、作った
そうでございます。

劉家の祖廟に、一家臣が許しも得ずに手を加えるとは何たる不敬！死罪にあたる罪だ！もう許せぬぞ!!
明日の朝議で帝に奏上し、晁錯を処刑していただく。
晁錯よ、これ以上漢朝をお前の勝手にはさせんぞ！
だがこの丞相の動きを晁錯に知らせる者がいた。

なにっ！丞相が南に門を作ったことを明日の朝議で問題にすると申すか！
はい。
よく知らせてくれた。礼をいうぞ。
ははーっ。

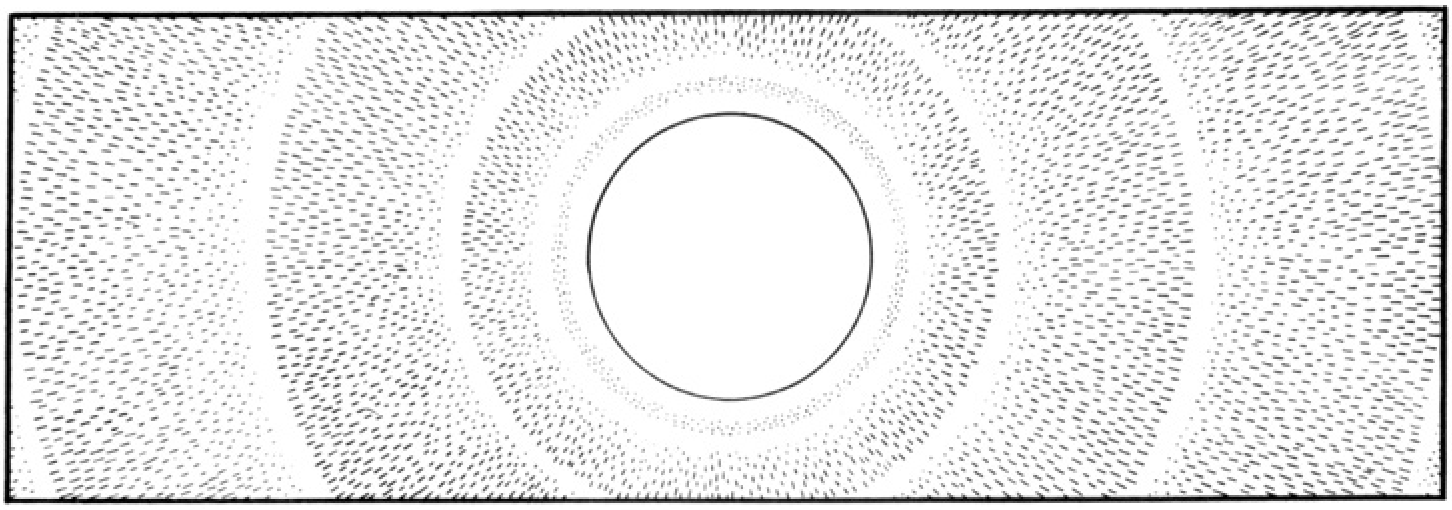
17

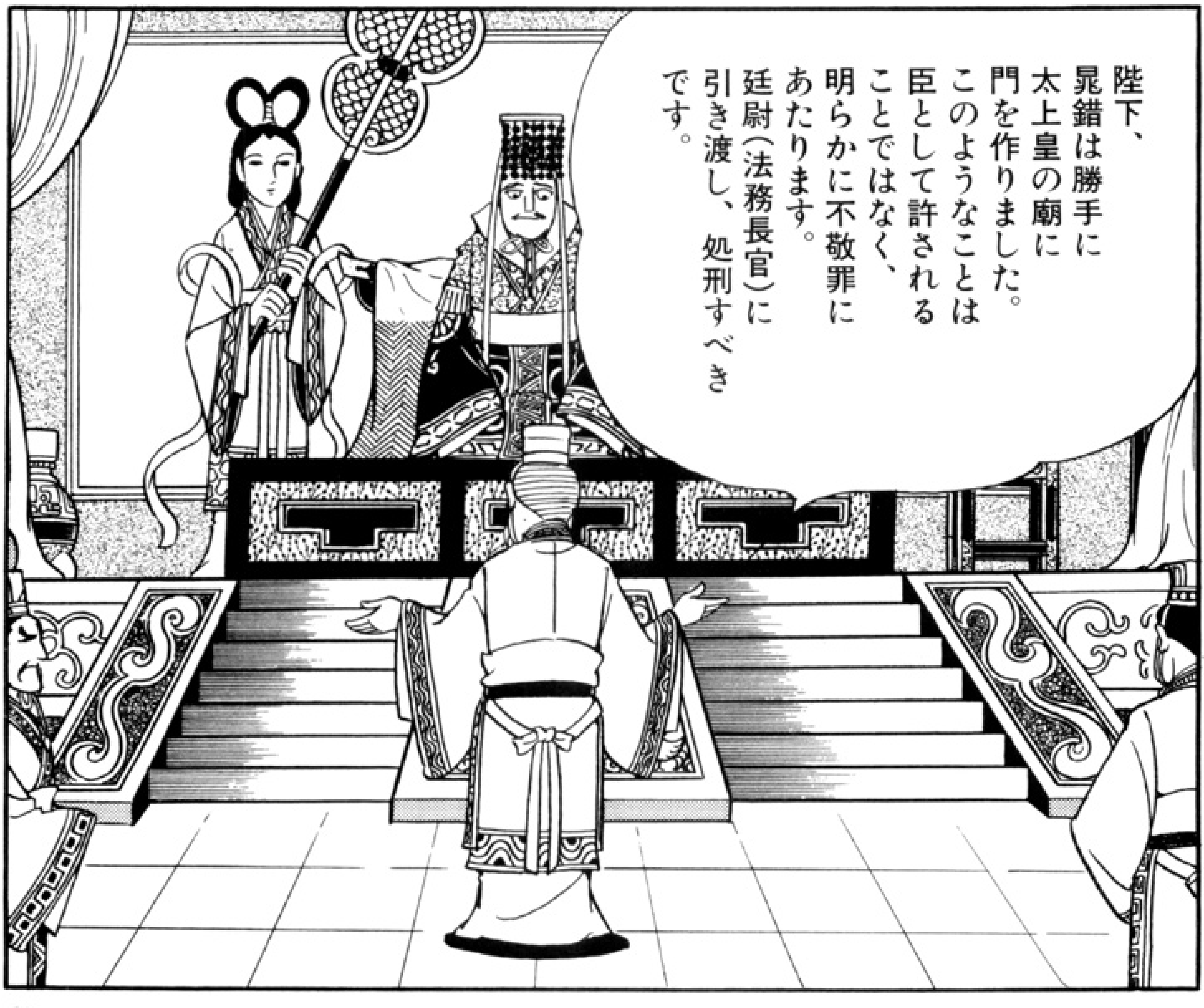
なにっ！
晁錯が参ったと!?
はい。
ふむう、
こんな時刻に
何事であろう…
おう、晁錯、
何か出来
いたしたのか。
少しお耳に
入れておきたい
ことがござり
まして……

18

実は太上皇の
廟の南の外堧に
門を作りました。
なにっ！
廟に勝手に
手を入れたのか!?
いいえ、
廟や廟堧には
指一本ふれて
おりませぬ。
外堧にございます。
ご存じのように
内史府は廟の
境内にあります。
内史府は多忙を
きわめ、急いで
処理せねばならぬ
問題もございます。
迅速に動くためにも
南にも通路が
必要と考え、外堧に
門を作った次第です。
そうか、仕事の
処理をしやすい
ようにしたのじゃな。
外堧ならば
問題はあるまい。
ははーっ!!

19




陛下、晁錯は勝手に太上皇の廟に門を作りました。このようなことは臣として許されることではなく、明らかに不敬罪にあたります。廷尉(法務長官)に引き渡し、処刑すべきです。

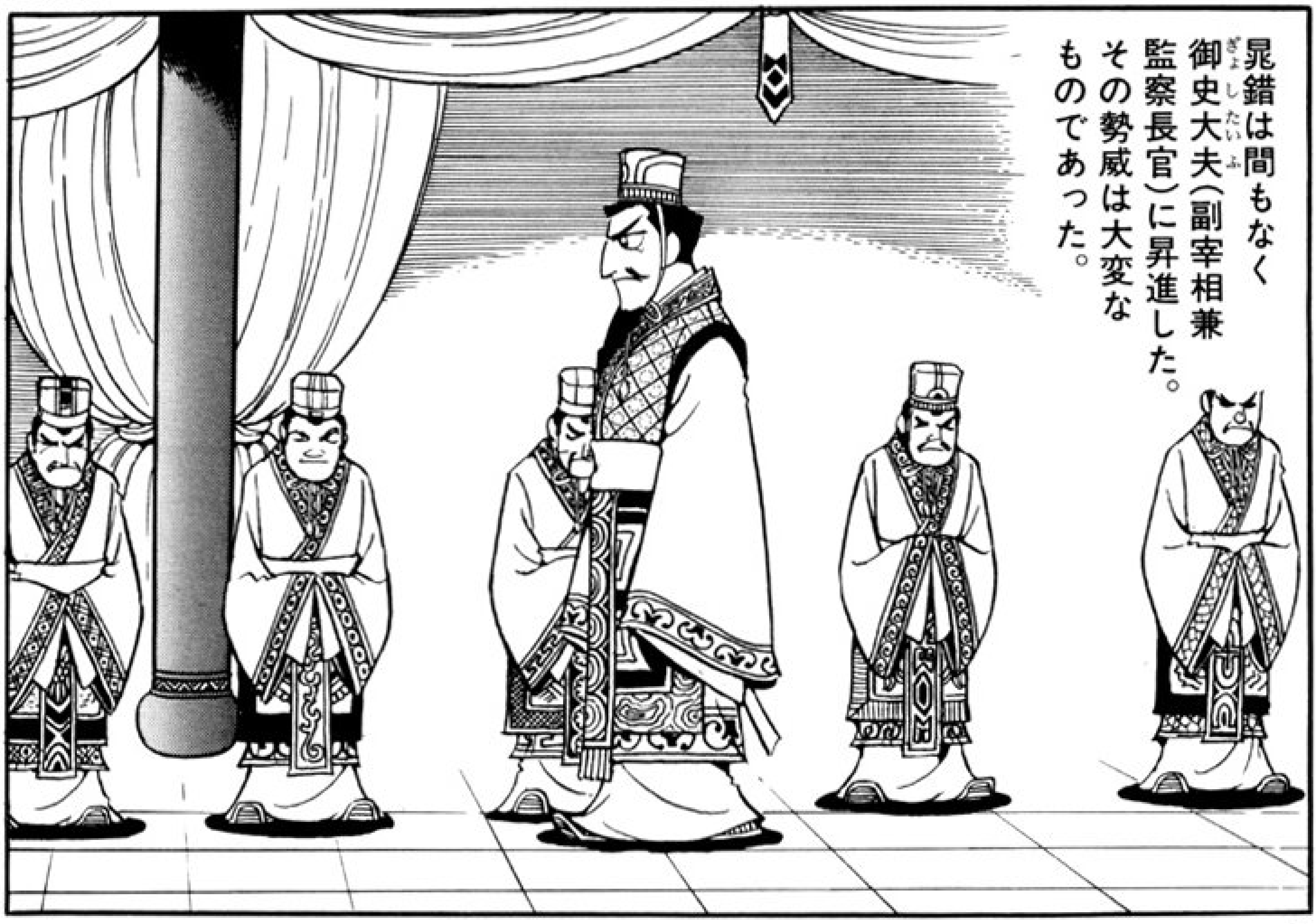
20

ああ、その件ならば報告を受けている。

しかしあれは
廟堧ではなく、
境内の外堧に
すぎない。
法にかけるほどの
ことではあるまい。
えっ⁉
今日は
新しい法について
協議をいたそう。
ははーっ。
ぬうう…
晁錯め、気づいて
先に手を打ったに
違いない。
丞相の心の中は
煮えくりかえっていた。

わしは失敗した。
？
あの男を斬ってから
帝に奏上
すべきであった。
帝の許可を得て
からと思ったのが
甘かった。
これが原因で
丞相は病となり、
憤死したのである。

22


晁錯は間もなく
御史大夫(副宰相兼
監察長官)に昇進した。
その勢威は大変な
ものであった。

23

さてと、
これから諸侯の
領土削減政策を
実行せねばならぬ。
これが謀反を防ぎ、
劉家の安泰をはかる
最善の道だ。

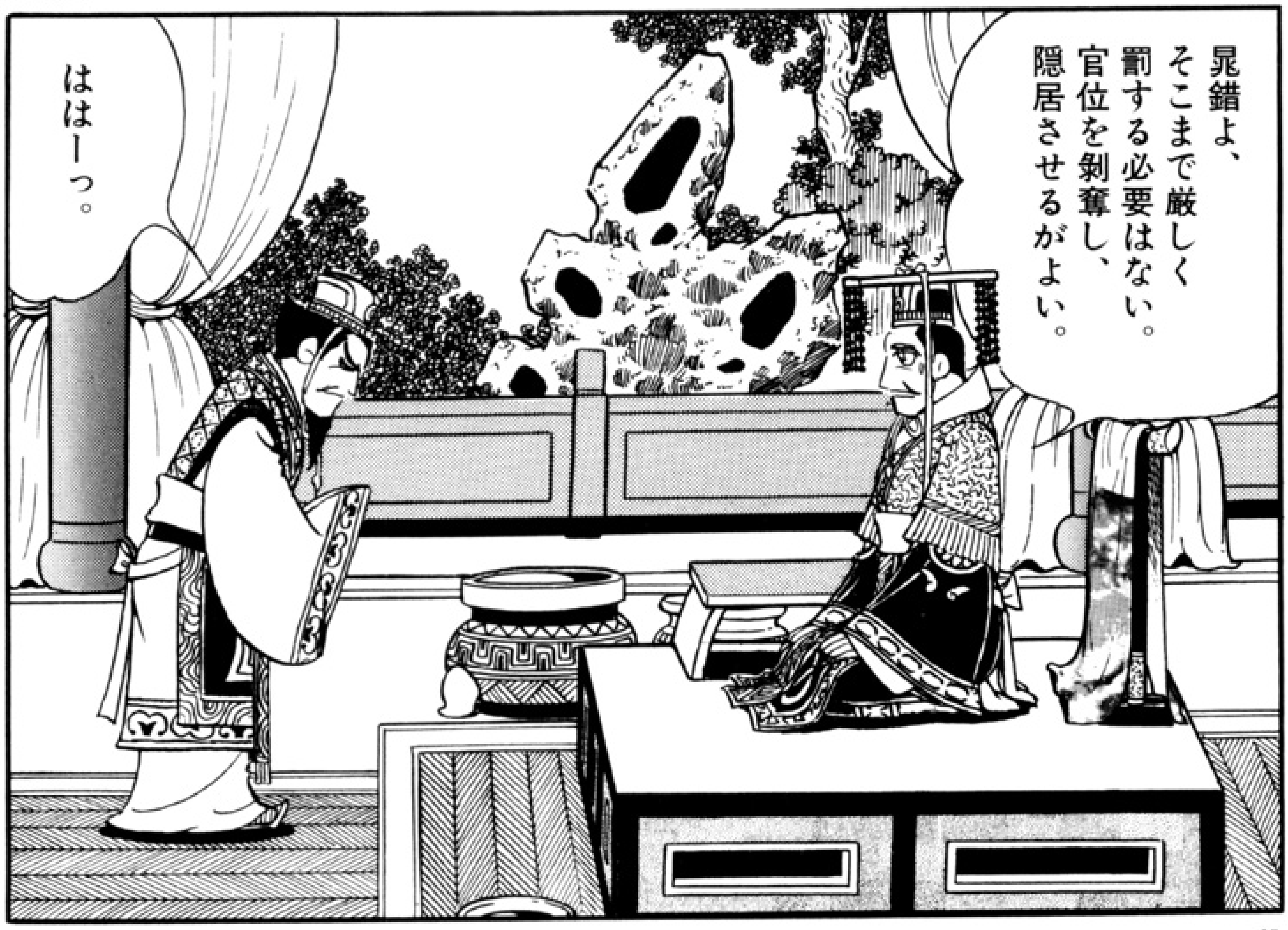
だがその前に
今は呉の宰相に
おさまっている。
袁盎をなんとか
せねばならぬ。
あの男は文帝の
頃からこの政策には
大反対だったから
のう。
なにか罪を
見つけて
誅殺せねば
政策は進め
にくい……
しかし罪に問う
にしても
どんな罪が……
そうだ、袁盎は
呉王に厚遇
されているという。
これは賄賂の罪に
できる。
24
晁錯はすぐに
袁盎を都に
召還したのである。

そして厳しい
取り調べをした。

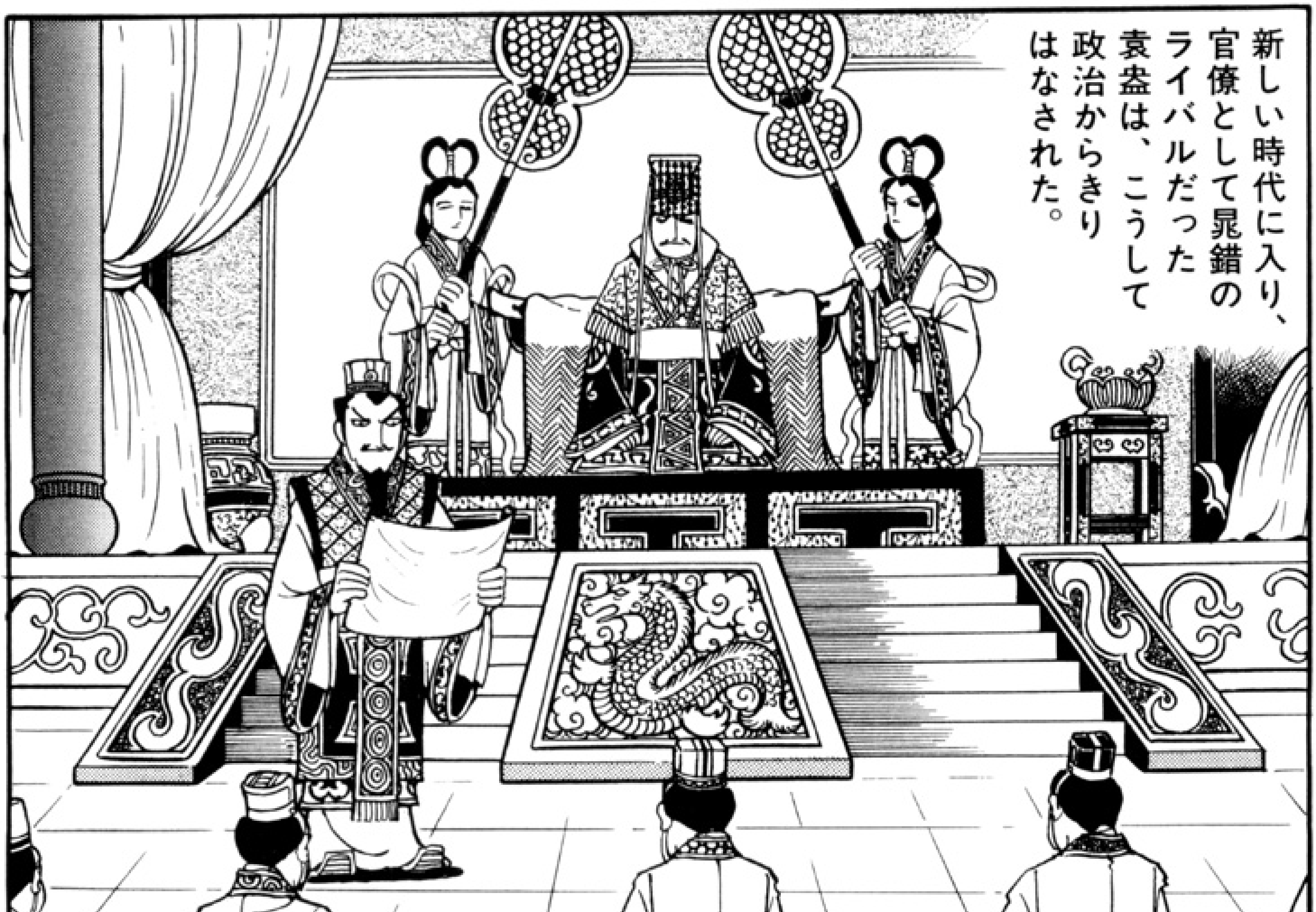
25

なにっ!?袁盎が
呉王から賄賂を
もらっていたと
申すか!!
はい、
獄吏が厳しく
取り調べ、
わかりました。

呉王は高祖の兄の子であることを鼻にかけ、朝廷を軽んじております。その呉王が宰相として都から派遣されてきた袁盎に賄賂を贈り、都合の悪いことの口封じをしていたものと思われます。
ムムム、亡き父が口やかましいと言って煙たがっていたほどの袁盎がのう……
これを見過ごしてはなりませぬ。天下に法を守らせるためにも死刑にすべきです。
しかし、父の文帝が信頼し、何かあれば相談せよとまで言った袁盎である。いかに寵臣晁錯の言葉でもそのまま応じられなかった。


晁錯よ、
そこまで厳しく
罰する必要はない。
官位を剥奪し、
隠居させるがよい。
ははーっ。

27

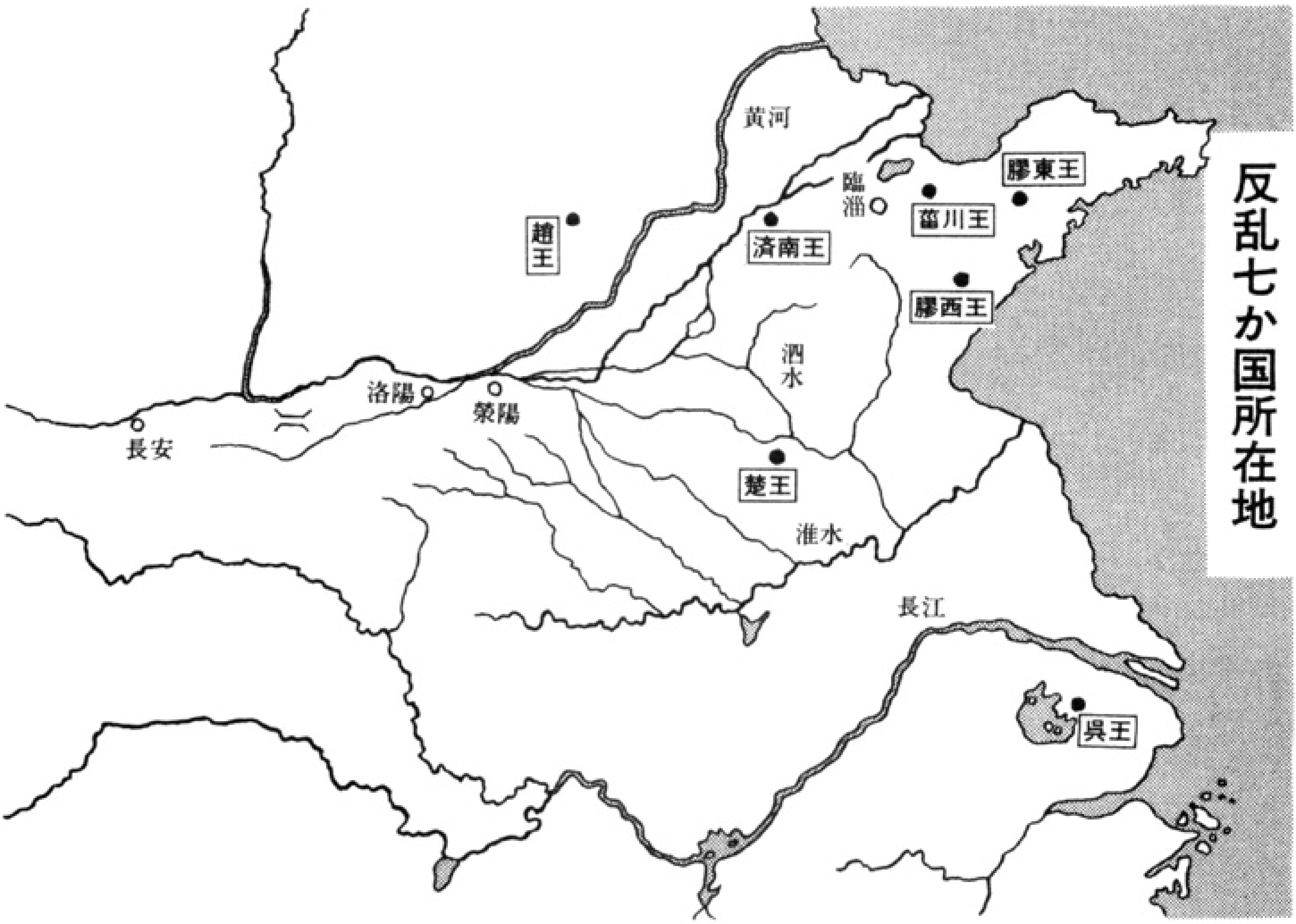

新しい時代に入り、
官僚として晁錯の
ライバルだった
袁盎は、こうして
政治からきり
はなされた。

陛下、高祖が天下を平定なされた頃はご兄弟も少なく、お子さまがたも幼少でございました。そこで一族の方々を大国の王に封じられたのです。
側室の子、悼恵王を斉の七十余城の王に、側室の弟・元王を楚の四十余城の王に、兄の子・劉濞を呉の五十余城の王にそれぞれ封じ、この三人に天下の半分を与えられたのです。
斉はその後七つに分割され、悼恵王の七人の子に与えられましたが、その力を合わせれば昔のままです。さらに他の王の領土を合わせると漢などちっぽけな存在となります。

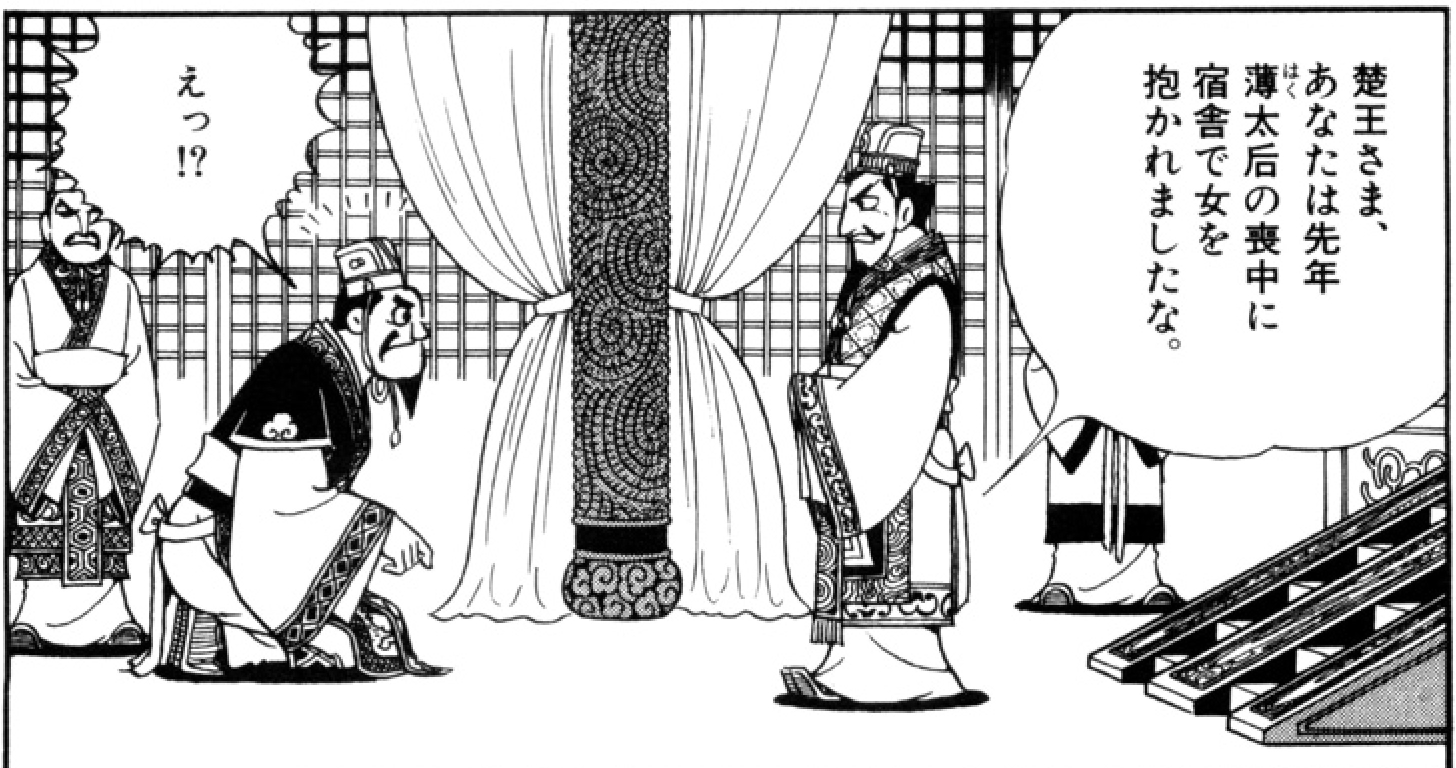
28

それゆえ諸侯の
領土削減を行い、
漢を強くして
おかねばならぬのです。
うむ、その政策には
賛成だが、どうやって
諸侯の領土を削る？
まず
文帝の頃に法に
ふれた諸侯を
洗いなおして、
領土を削減いた
します。
よし、
許可しよう。
29
晁錯はさっそく、
文帝が見て見ぬ
ふりをした諸侯の
罪を調べさせた。

景帝の二年(前一五五)まず趙王と膠西王が罪を問われて領土を削られた。


反乱七か国所在地
黄河
臨淄
膠東王
菑川王
趙王
済南王
膠西王
泗水
洛陽
滎陽
長安
楚王
淮水
長江
呉王

31

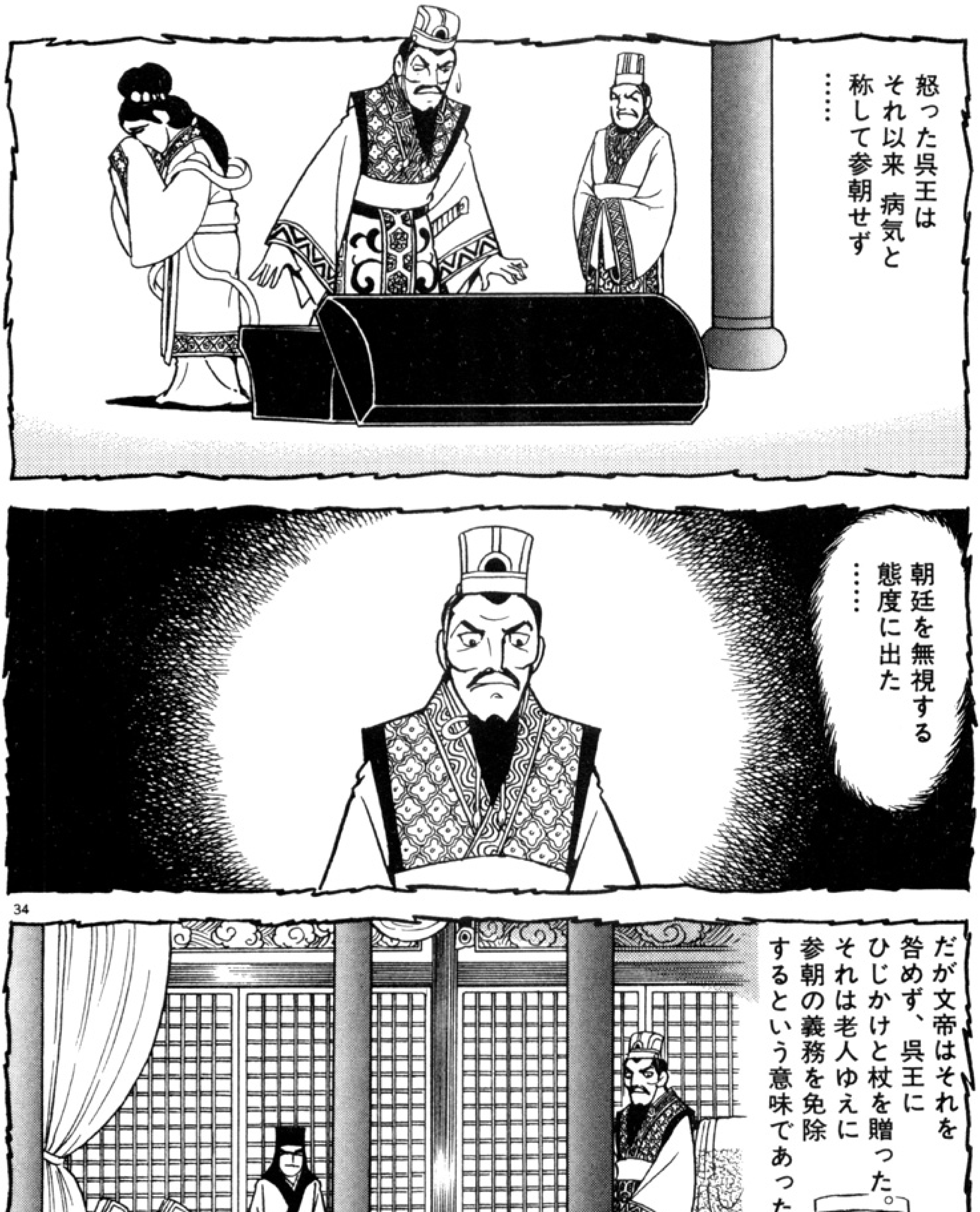


太后の喪中に姦淫するなど、不謹慎この上もなく法に触れまする。
陛下の恩情により罪一等を減じ、東海郡を召し上げるものとする。
ははーっ。
次は呉だ。ここだけは一刻も早く力を削いでおかねばならぬ。
晁錯が呉を気にするのはそれなりの理由があった。

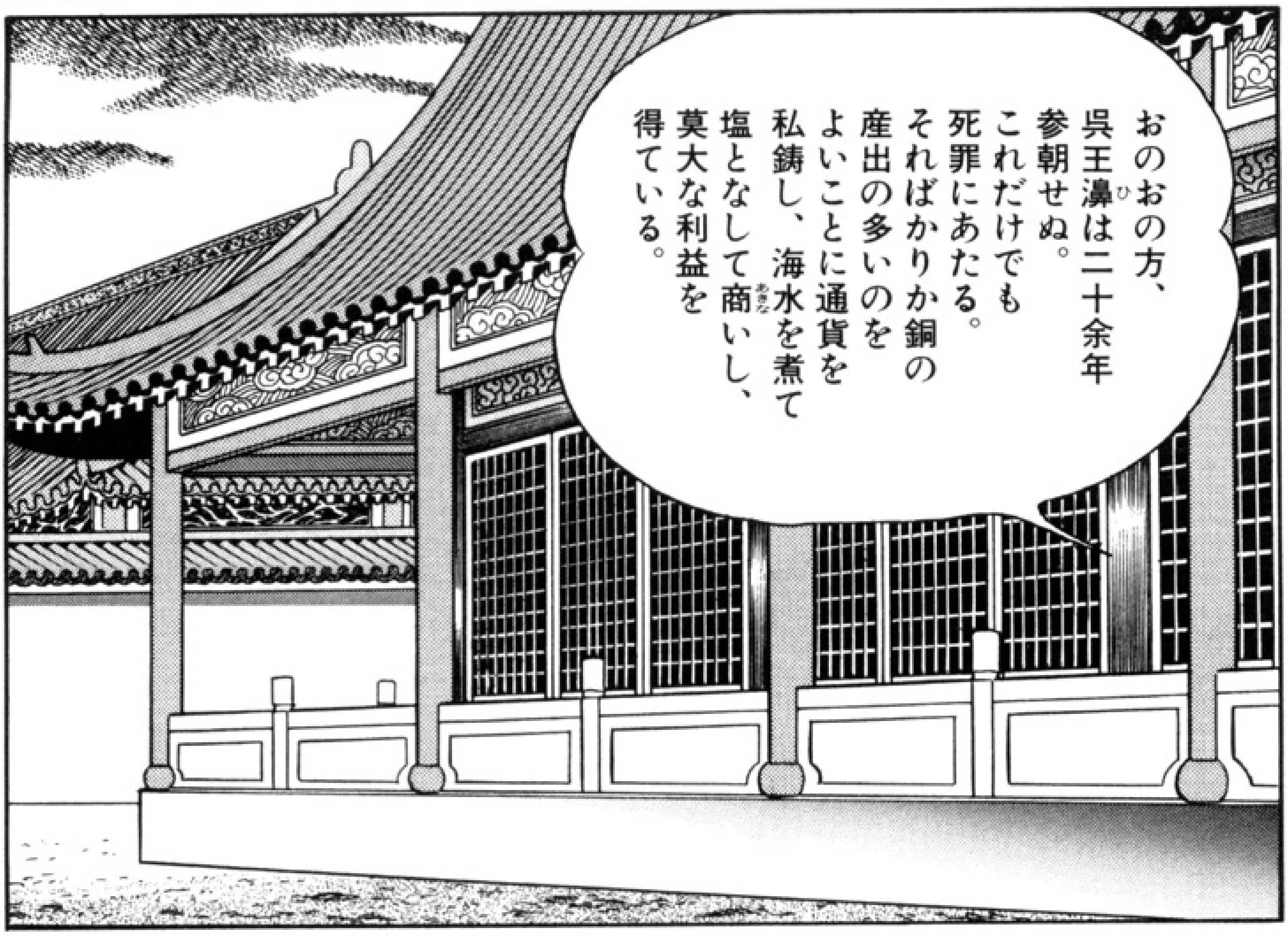
32

その昔、景帝が
太子の頃、酒宴の
席で呉の太子と
博奕に興じていた。
ところがその
博奕の規則を
めぐって口論と
なり……
激怒した景はその
博奕盤を呉の
太子に投げつけ
殺してしまった。

33

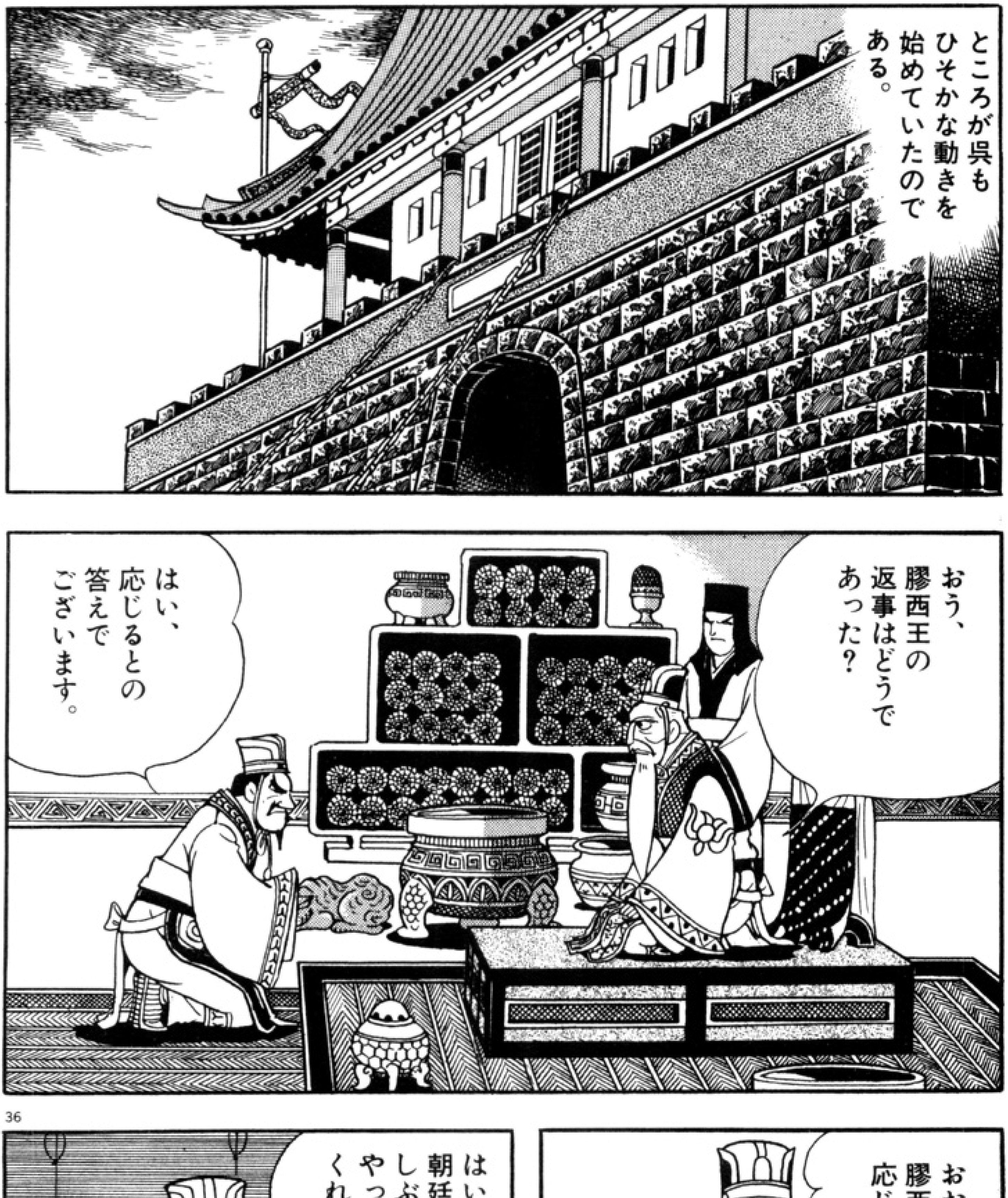

怒った呉王は
それ以来 病気と
称して参朝せず
……
朝廷を無視する
態度に出た
……
だが文帝はそれを
咎めず、呉王に
ひじかけと杖を贈った。
それは老人ゆえに
参朝の義務を免除
するという意味であった。

34


おのおの方、呉王濞は二十余年参朝せぬ。これだけでも死罪にあたる。そればかりか銅の産出の多いのをよいことに通貨を私鋳し、海水を煮て塩となして商いし、莫大な利益を得ている。

35

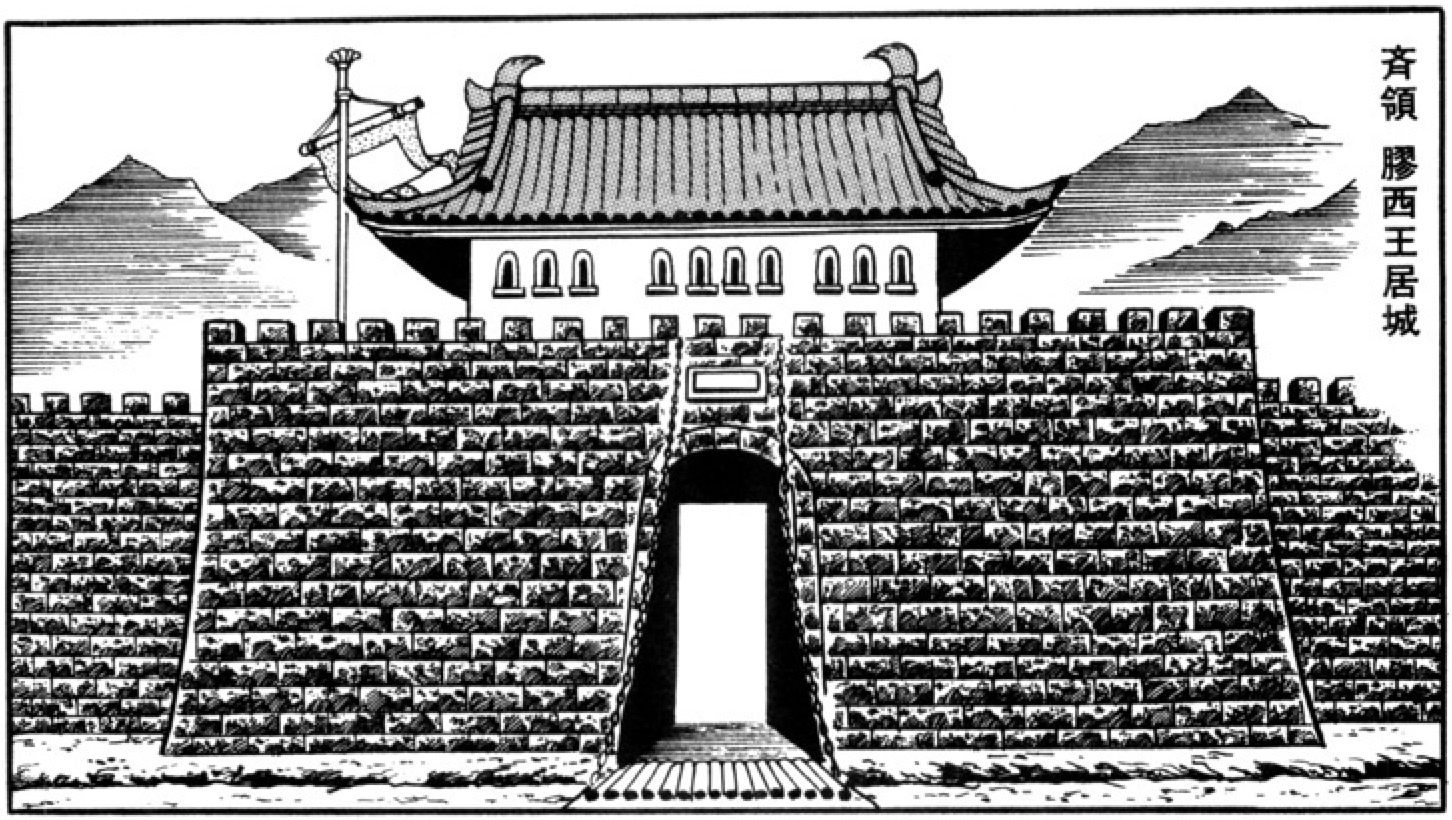
その富で天下から兵を多く集め、軍を増強している。これを放置すれば一大事である。呉王の罪を見当してもらいたい。
ははーっ。

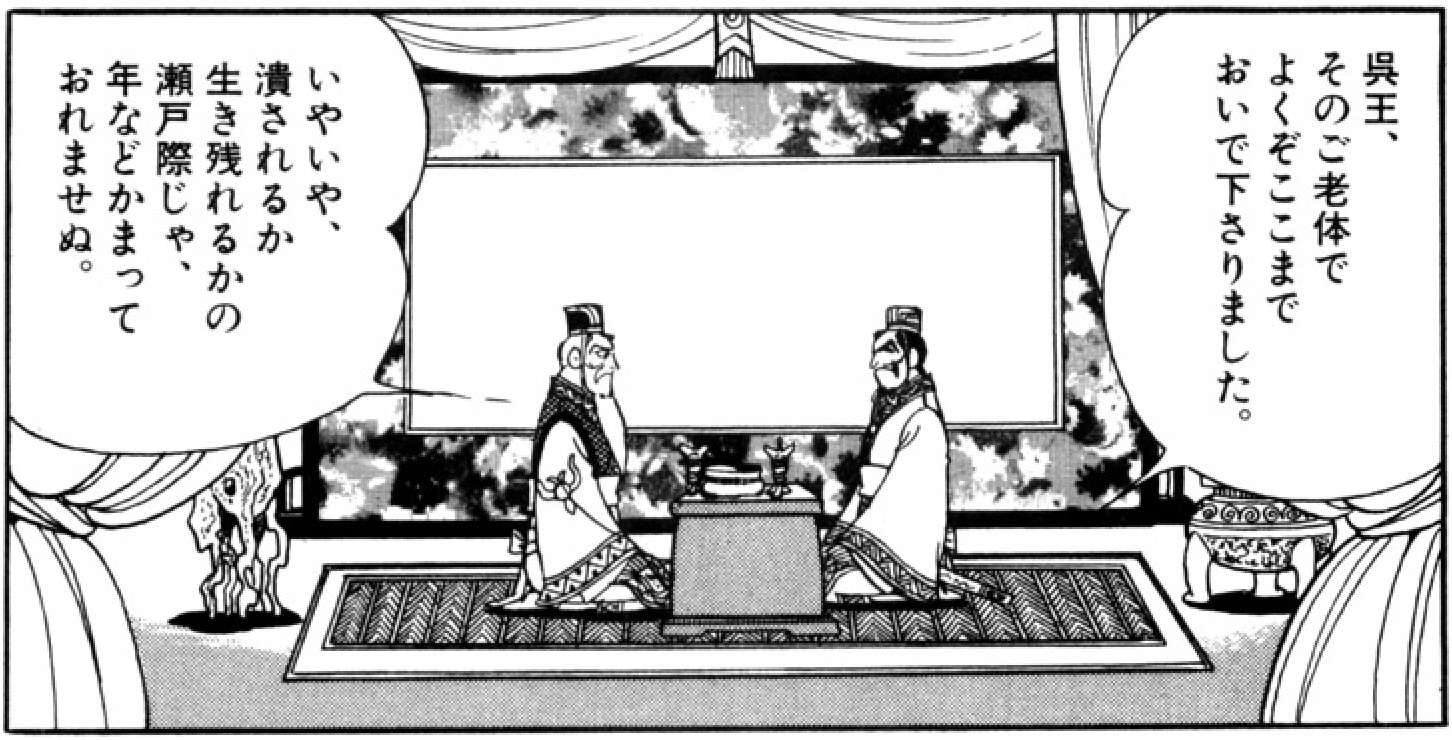

ところが呉もひそかな動きを始めていたのである。
おう、膠西王の返事はどうであった?
はい、応じるとの答えでございます。
おお、膠西王が応じたか。
はい、最初は朝廷に逆らうことをしぶりましたが、やっと応じてくれました。

36

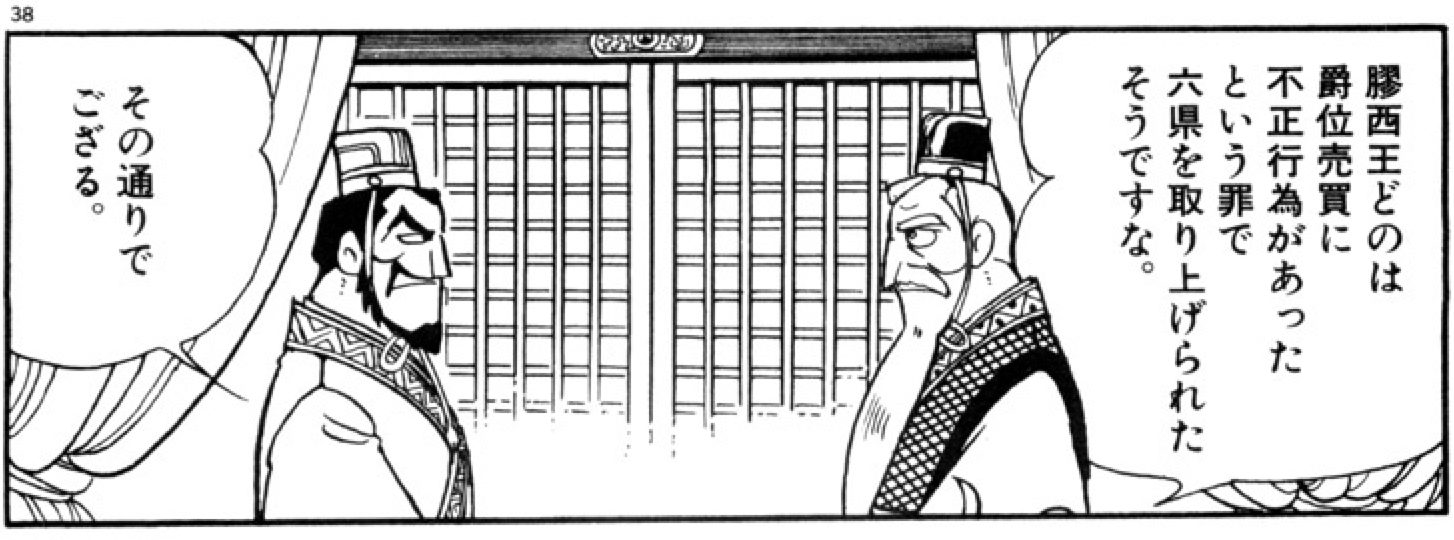
よし、わしは
膠西王に会い、
直に盟約を
かわす。
ええっ!?
そのお年で
斉領まで…
応高(おうこう)よ、このままでは
晁錯によって
呉はかならず
潰されてしまう。
潰されてしまうなら
わが手で天下を
握るのじゃ。
その通りで
ございます。
楚はすでに
同意している。
あとは斉を
味方につけるか
どうかで決まる。
斉領の中でも
特に覇気があり
力のある膠西王が
味方につけば、
斉領の他の王も
味方につく。
呉楚斉が共に
行動を起こさねば、
この計画は成功せん。
そのためにもわしが
直々膠西王の
確約をとる。

37


斉領 膠西王居城


呉王、そのご老体でよくぞここまでおいで下さりました。
いやいや、潰されるか生き残れるかの瀬戸際じゃ、年などかまっておれませぬ。

38

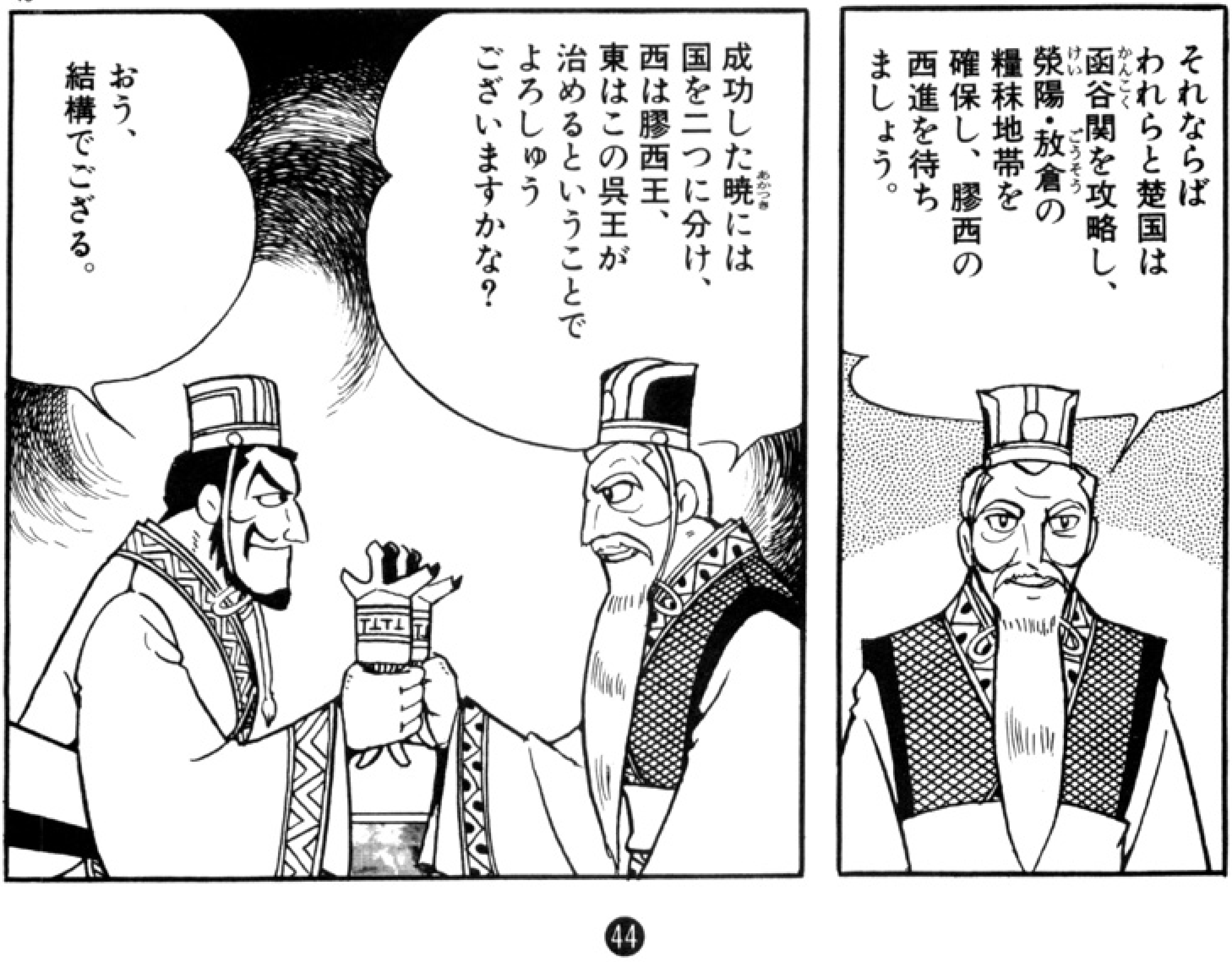

膠西王どのは爵位売買に不正行為があったという罪で六県を取り上げられたそうですな。
その通りでござる。

そのような軽い罪で領土削減ならば次はどのような罪を着せられるのかわからぬ。
その通りだ。文帝の頃には裁きにも情があった。ところが今は法！法！法！それも過去にまでさかのぼってあてはめる。
晁錯は法を学んだ秀才かもしれぬ。しかし法を帝と二人で定め、大臣達に実行させるだけというのは正道ではない。
奸臣、邪臣にとりかこまれ、目先の利益にとらわれ、年貢は上げるわ、反対する良臣は誅罰するわ、都合のいいように法律を変える。これでは秦と同じだ。いずれ万民を敵にまわして漢は滅ぶ。
わしは漢を亡ぼす気はない。晁錯を誅罰し、景帝の退位を求め、劉氏一族の手で国を正道にもどそうと考えたからじゃ。

39

「同じ境遇ならば助け合い、同じ欲望ならば求め合い、利が同じならば互いのために命をかける」という言葉がある。呉と楚は同じに動くが、あとは斉領の王達が、どう動くかが心配でのう……
ご心配めさるな。膠東王、菑川王、済南王、趙王はすでに同意しておりますぞ。
おお、それならば力はまったく互角……

40


それならばわれらと楚国は函谷関を攻略し、滎陽・敖倉の糧秣地帯を確保し、膠西の西進を待ちましょう。
成功した暁には国を二つに分け、西は膠西王、東はこの呉王が治めるということでよろしゅうございますかな?
おう、結構でござる。

41

重臣達は
そのあまりの
厳しい法に
あぜんとした。
どなたか
異議ある方は？
い…いいえ……
………
42
しかし誰もが
その後にくる
誅罰を恐れて
黙ってしまった。

それから間もなく、穎川の郷里から父親がやってきた。
おお お父上、わざわざ郷里から突然のお越し…何かありましたか。
お前に一言言いたくて、居ても立ってもおれなくなってやって来た。
では奥でゆっくりとうかがいましょう。

さあさあ、まずは一杯召し上がれ。
そんな気になれんわ。
いったいどうなされたのです？
錯よ、天下がお前をどう言っているのか知っているのか？
天下の噂とは大げさでございますな。
天下でお前を良く言う者は一人もいない。みんな恨みごとを言う。
ははは、父上、わたしは漢朝のためにやっているのです。

44

権力は中央ですべて握り、諸侯のわがままを許さず……これが天子の尊厳を保ち、漢朝は安泰となるのです。
漢朝の安泰は結構じゃ。だが天下の恨みを買ってわが家はどうなる。
お前は漢朝のためというが、やってることは劉氏一族の和を乱すだけではないか。
わたくしはこうすることで天子の下に諸侯があることを示しているのです。
なんたること……わしはお前を捨てて帰るべきところに帰らねばならぬようじゃ。
?

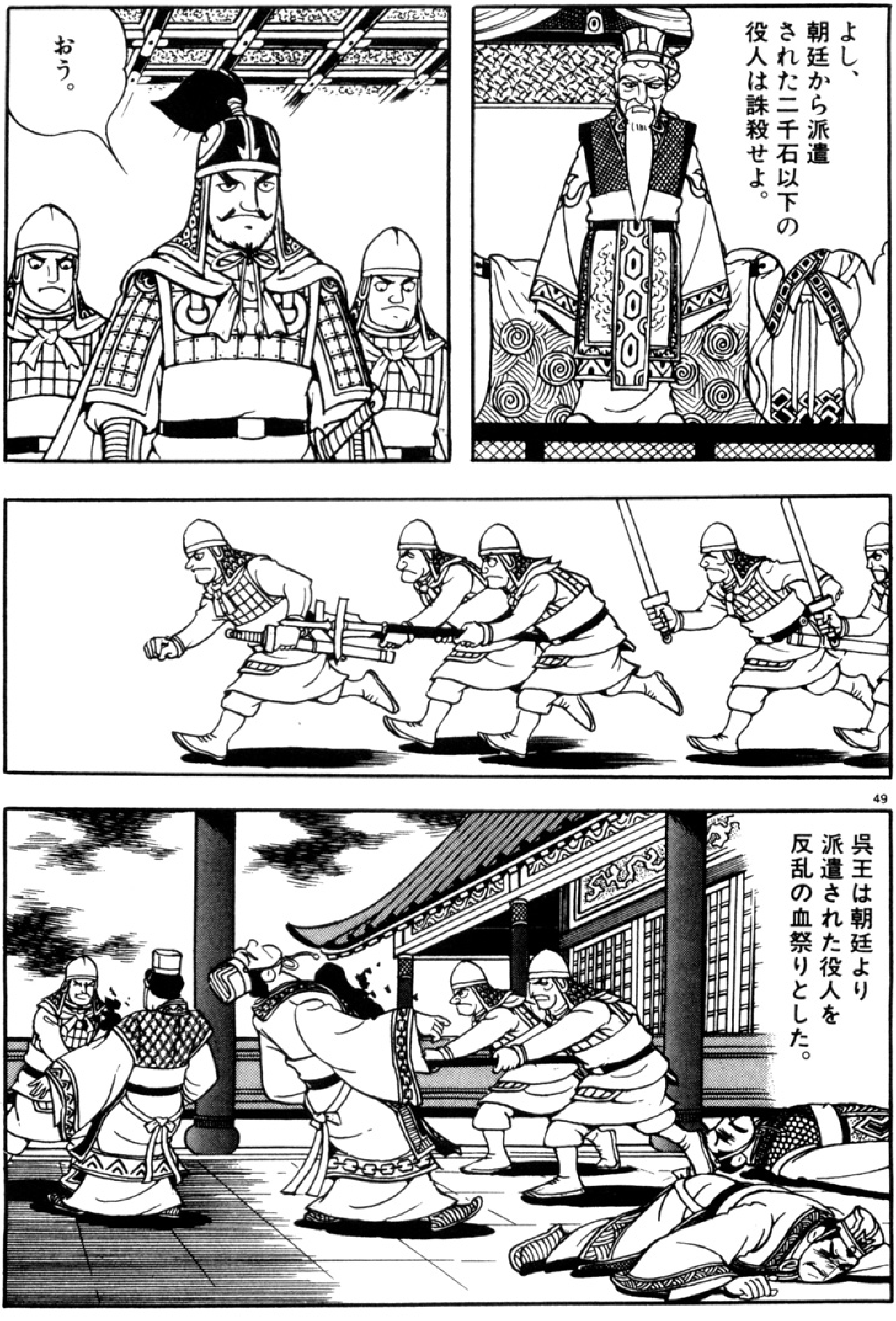
父親はそのまま
郷里へ帰った。
そして
毒をあおって、
自害した…
遺書には
「われ、禍のわが家に
及ぶのを見るに
しのびず」と
記してあった。
呉楚七か国が反乱を
起こしたのは
それから十日後
である。

46

その頃、呉には勅使が出向いていた。
以上の罪により会稽・豫章の二郡は召し上げるものとする。(中国では県より郡の方が大きく、日本と逆である)
ふふふ…とうとう決まったな。
その命令には従えぬ。
なんですと!? これは天子の詔書ですぞ!!

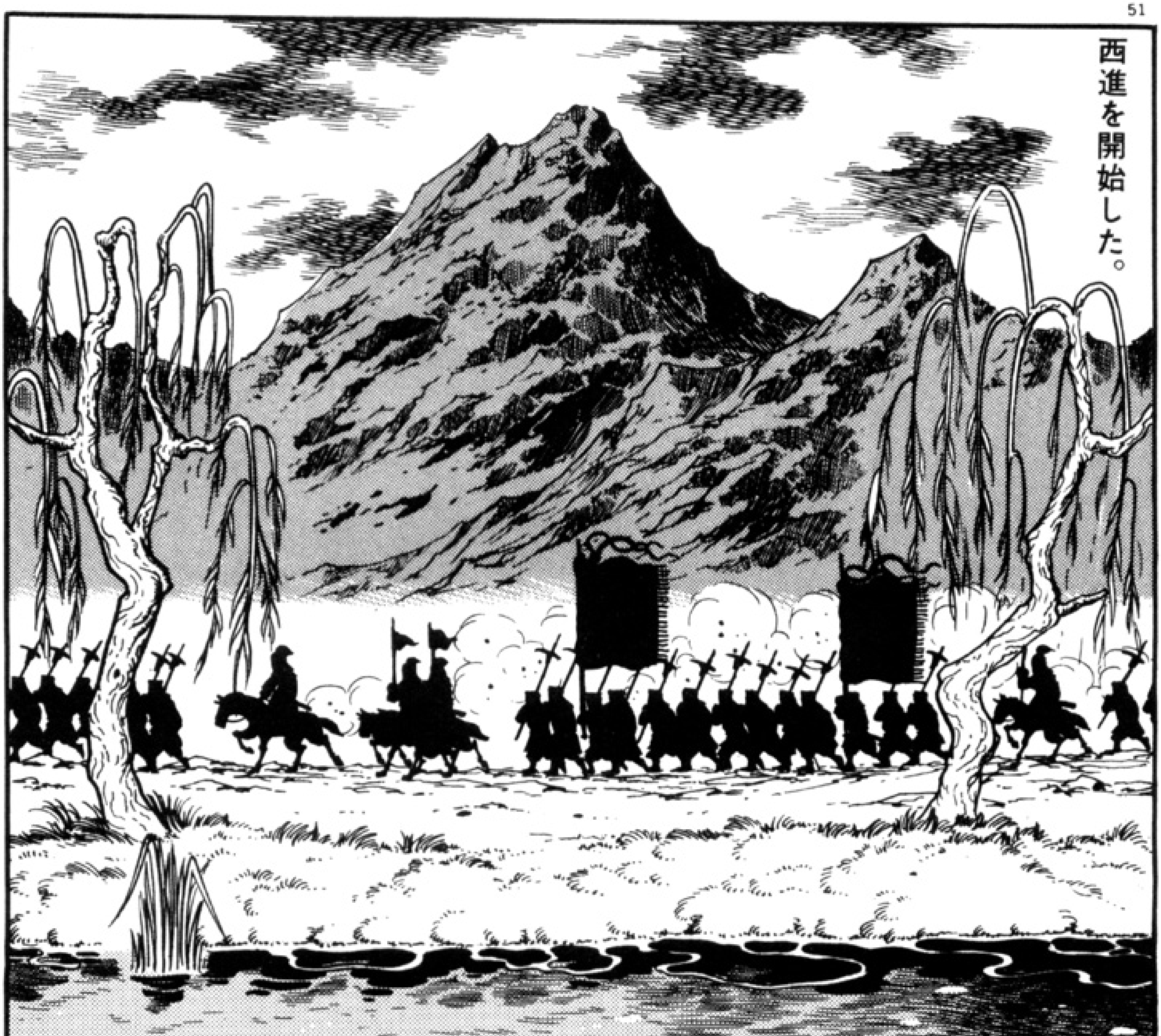
47

われらは、いまや
朝廷に天子は
いないと思って
いるのでのう…
な、なんと！
呉王どの 乱心
めされたか!!
問答無用!!
この者達を
斬り捨てい!!
ええっ!!
わわわ…


よし、
朝廷から派遣
された二千石以下の
役人は誅殺せよ。
おう。
呉王は朝廷より
派遣された役人を
反乱の血祭りとした。

50

膠西王、膠東王、菑川王、
済南王も、同じように
朝廷から派遣された
役人を血祭りにあげ…


西進を開始した。

なにっ!?呉が反乱を起こしたと!!
思っていた通りだ…呉は前から謀反を企んでいたのだ。
それにしても袁盎め、それを承知していて隠していたのだ…やはり賄賂をもらっていたのだ。

52

袁盎を召し捕れ!!
もう一度調べなおし、陰謀の全貌をあばき出してやる!!
御史大夫さま、反乱が起こる前ならばともかく、すでに反乱軍は西進をはじめているのです。今 袁盎を取り調べて何の益がありましょう。
それに袁盎が陰謀をめぐらすとは考えられませぬ。それよりも今は反乱軍鎮圧が先決かと思われます。
ムムム…
袁盎め…朝廷に真実を報告しなかった罪は消えんぞ!! かならず誅殺してやる!!

陛下、呉を鎮圧するためにも呉の情報をもっと、知りとうございます。袁盎どのならくわしく知っていると思うのですが…
おお、袁盎ならば呉のことはよく知っていよう。
54
これ、至急召し出せ。
ははーっ。

袁盎よ、呉が反乱を起こした。
はい、聞いております。
そちは呉の宰相を務めていた。呉の国力…そしてこの反乱をどう見ている…
ご心配なされますな。この反乱はすぐに鎮圧できましょう。
ほう、それはどうしてだ。呉王は通貨を私鋳し、さらに海水から塩を作り、その利益で兵を集めていたというぞ。

55

呉王は老人だ。その年になって反乱を起こすにはよほど自信があってのことであろう。
たしかに呉の富は大変なもので、呉の領民から年貢も取らずに将兵を養えまする。
しかし呉の将兵は利を求めて集まってきた者達が多く、呉王に対する忠誠心はそれほどありませぬ。呉王の謀反は自信があってやったのではなく、利を求める重臣が反対しなかっただけのことでございます。
陛下、その通りでございます。
では解決法は?
56
わたくしが申し上げることは臣下の聞いてはならぬこと、お人払いを願います。

よし、みな下がれ。
陛下、これは国の一大事にござります。
よいから下がれ。
は、はっ。
ぬうう…袁盎め、何を進言するつもりだ。
この時晁錯は、憤死した丞相と同じ立場におかれたのである。

誰もいなくなった。遠慮なく意見を申せ。
この度の反乱軍の大義名分は、「高祖は一族を王とし領地を分与した。しかるに賊臣晁錯は領土を削減するために諸侯のわずかな落ち度を探し出している。われらは晁錯を誅殺し、領土を取り戻そう。この目的を達したならばすみやかに矛をおさめよう」というものです。
よって解決法は一つです。
晁錯を殺せと申すのか。

58

しかし
それは…
この反乱軍は漢に匹敵する勢力です。それに晁錯の領土削減政策は他の諸侯も納得いたしておりませぬ。これ以上反乱軍に味方する諸侯が現われたら漢はどうなります。
反乱軍は晁錯を誅殺し、領土を取り戻せばおさめると言っているのです。反乱軍の大義名分をまず叶えてやるのです。
………
陛下が晁錯どのをもっともご信頼していることは百も承知しております。でもここはご決断を……
わ、わかった…天下がそれで治まるならば……
では明日晁錯どのには死んでもらいます。
う…うむ。

翌日
晁錯は参内の
途中で殺された。

60

陛下のお嘆きは
よくわかります。
しかしこれで反乱軍の
大義名分はなくなり
ました。
あとは領土を
もとに戻せば
解決するはずです。
う…うむ。

袁盎よ、そなた使者としてこの反乱を治めてくれい。
では領土をもとに戻すということでようございますね。
袁盎は朝廷の使者として、西進を続けている呉王のもとに走った。袁盎は、晁錯がまだ自分を誅殺しようとしていることを秘かに知らされ、あべこべに晁錯を誅殺したのである。

61

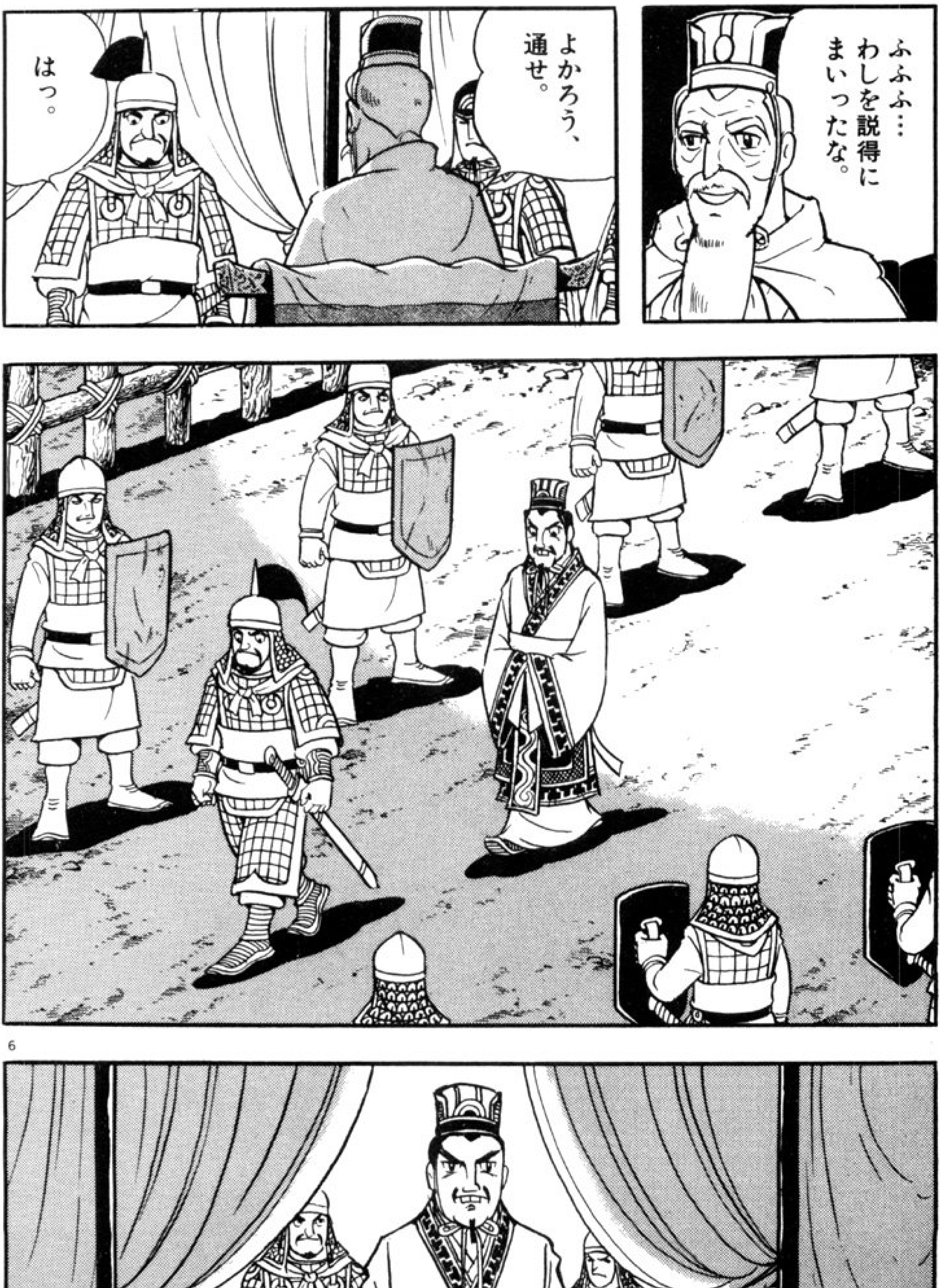
第1話 呉楚七国の乱・後編

鼂錯の
領土削減政策に
不満を持った
呉楚七か国は
反乱を起こした。

呉軍二十万は
淮水を渡り…
3
楚軍と合流して
梁に攻めこんだ。

4

呉
呉
ほう、袁盎が帝の使者として参ったと…
はい。

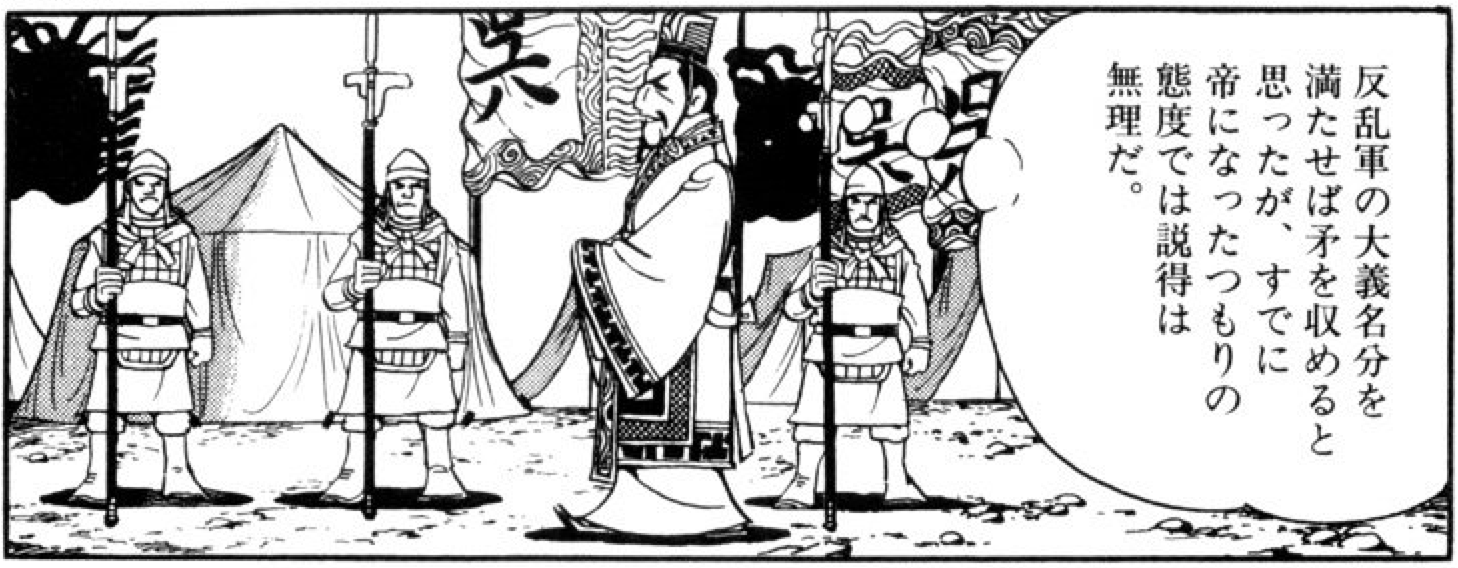

ふふふ…わしを説得にまいったな。
よかろう、通せ。
はっ。

お久しぶりでございます。
おう袁盎よ、元気そうだな。
そなたは罪に落とされ、地位を剥奪されたと聞いておったぞ。
この度は元・呉の宰相であったということでお役目を命じられました。
ふふふ…景帝を恨まぬのか!?
あれは御使大夫の晁錯のやったことでございます。

ところで
この度の挙兵は、
「晁錯を討ち、
領土を元に戻そう」
ということで
ございましたな。
ニヤリ
これは晁錯の
独断で行なわれたこと。
帝もそれに気づかれ
晁錯を罰し、
領土も元に戻すと
約束されました。
なにとぞ兵を領土に
お引き上げ下さいませ。
袁盎よ、それは
われらの我慢の緒が
切れる前に言う
べきであった。
だがもう遅い。
どうしてで
ございます、
充分に目的は
達せられたと
思いますが
………
われらはすでに
盟約ができ、
この国を二つに分けて
治めることに決まった。
わしは東の帝となる
ことになったのじゃ。
いまさら誰に
頭を下げる必要が
あるのじゃ。

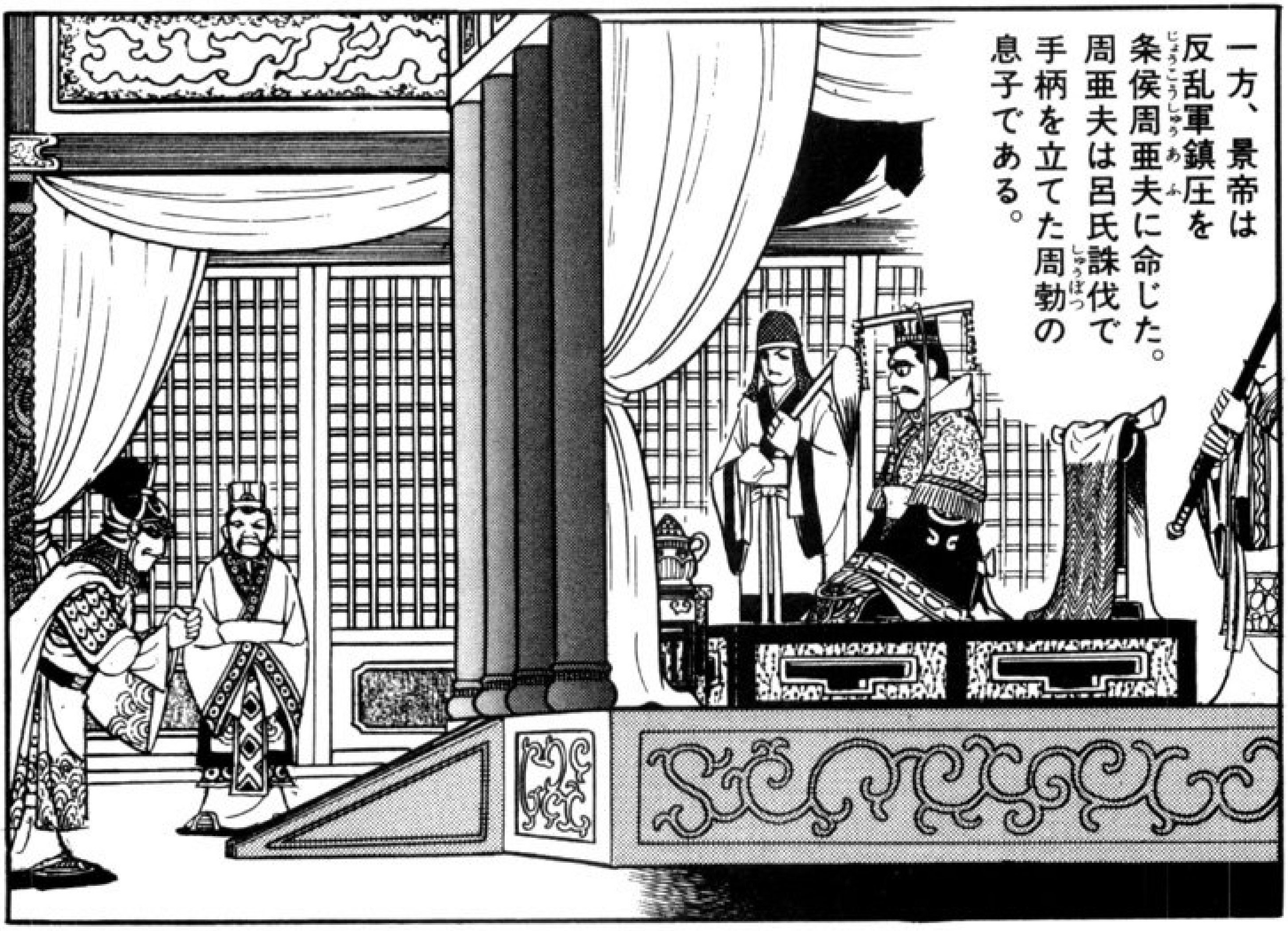
今、七か国の力と
漢軍の力は
互角であろう。
だが、越や燕もわれらに
味方して動きだす。
そうなれば
天下の形勢は
われらにある。
どうじゃ 袁盎、
漢朝に
仕えるより
わしに仕えぬか。
そちは呉の宰相を
してたゆえ
呉の財力を
知っていよう。
金はくさるほど
ある。
塩で上がった利益は
各地に置いた
ままじゃ。
わしはそれを
諸侯につかってよいと
申し送った。
諸侯の土地を
削減しようとした
漢朝と、わしの
この寛大さを、
諸侯はどう評価
するかのう…

将兵の恩賞も今までの倍じゃ。敵の大将を討ち取ったり捕えれば、金五千斤と一万戸の領土を、敵の列将ならば金三千斤と五千戸の領土を与える。
これでふるいたたぬ将兵がいようか。
どうじゃ、わしに仕え、余生をのんびりと過さぬか。
興味深いお話でございます。二、三日考えさせていただけませぬか。
よかろう、よい返事を待っているぞ。
ははーっ。


反乱軍の大義名分を満たせば矛を収めると思ったが、すでに帝になったつもりの態度では説得は無理だ。

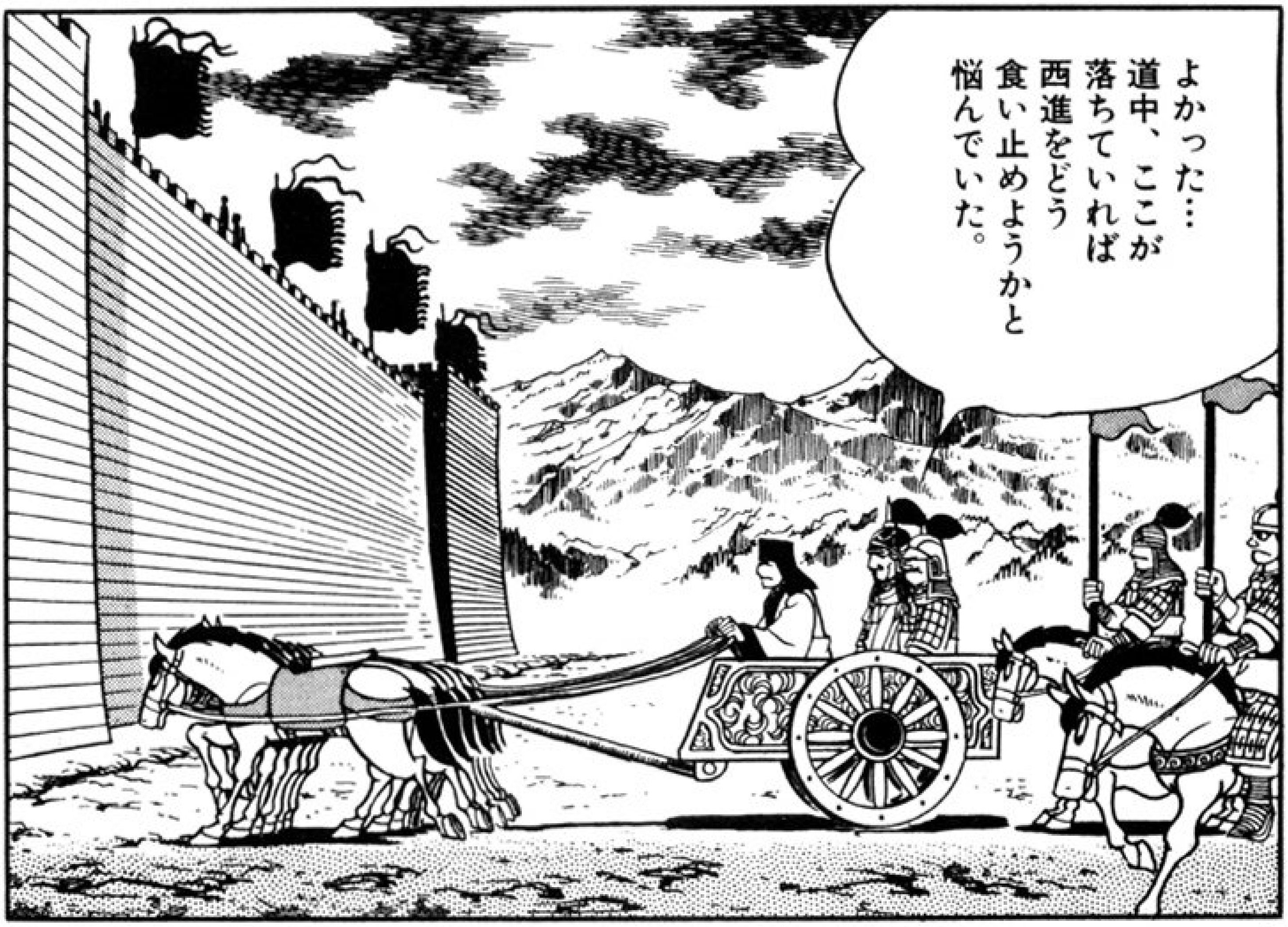
11

その夜、袁盎は呉陣を抜け出し、梁の陣営に逃げ込んだ。


一方、景帝は
反乱軍鎮圧を
条侯周亜夫に命じた。
周亜夫は呂氏誅伐で
手柄を立てた周勃の
息子である。

12

条侯は急いで
滎陽へ走った。
この地は穀倉地帯で、
項羽と劉邦も
奪いあった重要
拠点であった。


よかった…
道中、ここが
落ちていれば
西進をどう
食い止めようかと
悩んでいた。

13

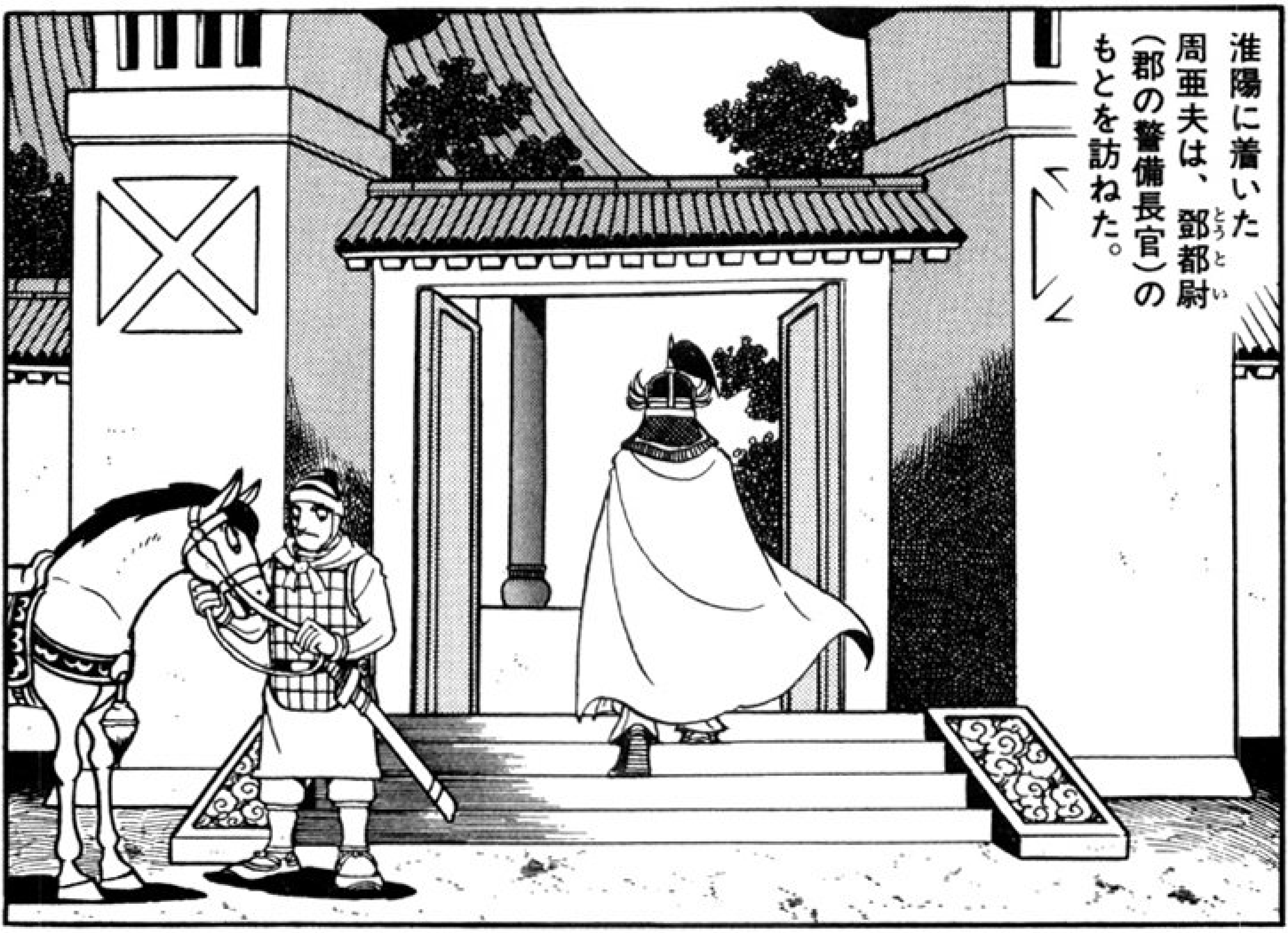
よし、
各将軍に
ここに兵を
集結せよと
伝えよ。
ははっ。

14

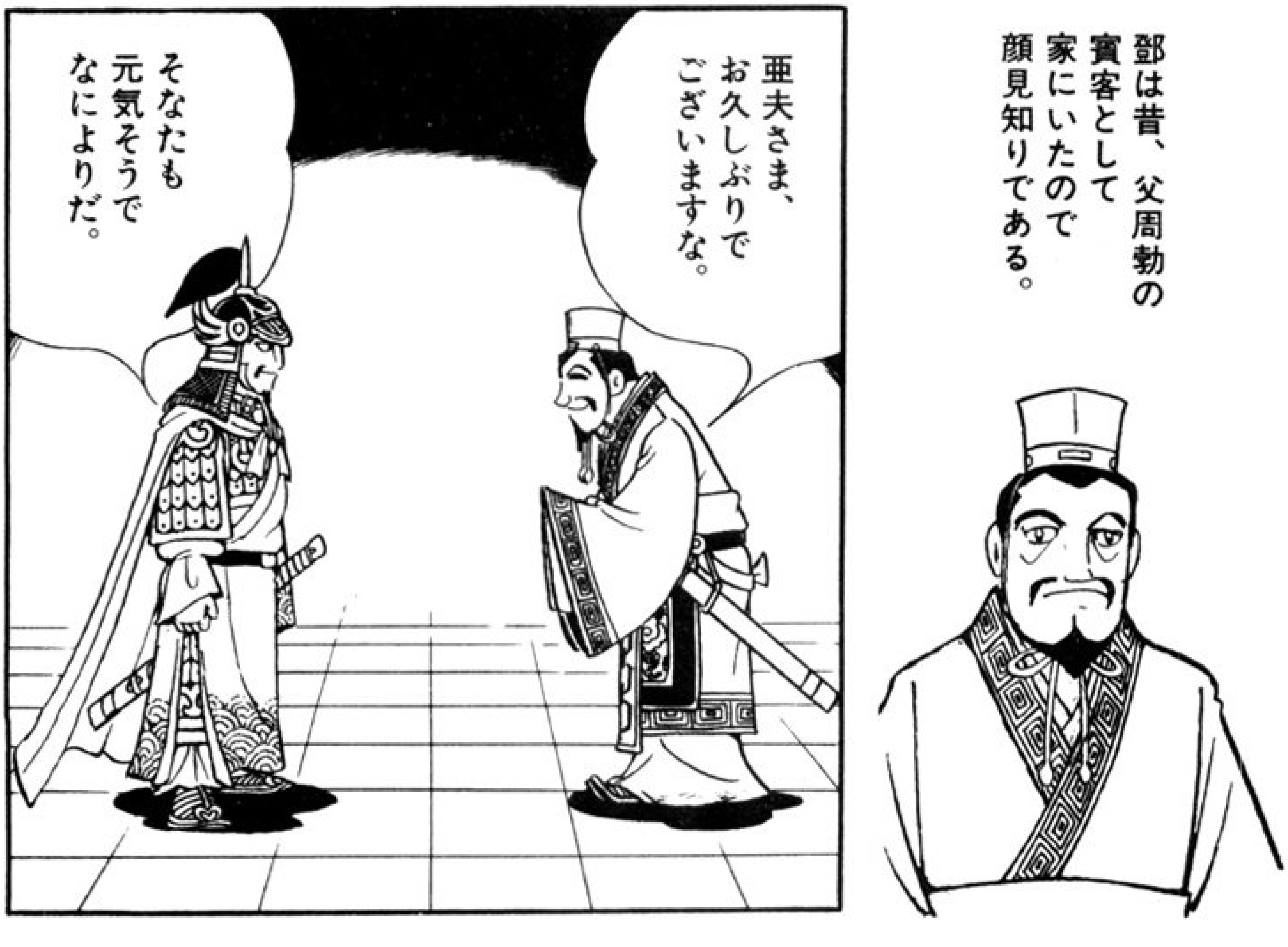
15

榮陽
梁の御使者よ、援軍は出せませぬ。
な、なんですと!?
16
われらは反乱の首謀者、呉王の本隊を叩くつもりです。全軍そちらへ向かって進むつもりです。
梁王は景帝の弟君であらせられますぞ！それを見殺しになされますか！

城をしっかり守っていればそう簡単に落ちるものではありませぬ。しばらく自力で防衛をお願いいたします。
その言葉、帝に報告いたしますぞ！
感情的になってはなりませぬ。漢の大軍が近づいたとあれば、呉王も梁攻撃だけに全力を注げませぬ。そうお伝え下され。
…………
17
条侯はそのまま大軍を率いて淮陽(わいよう)へ向かった。


淮陽に着いた
周亜夫は、鄧都尉
(郡の警備長官)の
もとを訪ねた。

18


鄧は昔、父周勃の
賓客として
家にいたので
顔見知りである。
亜夫さま、お久しぶりでございますな。
そなたも元気そうでなによりだ。

今日はちと相談があってな。
見当はついております。
まあまあ、一献かたむけながらお話しいたしましょう。
ああ。
昔はお父上には随分とお世話になりました。亜夫さまも立派な将軍になられました。
いやあ、亡き父上からみたら まだ青二才でしょう。

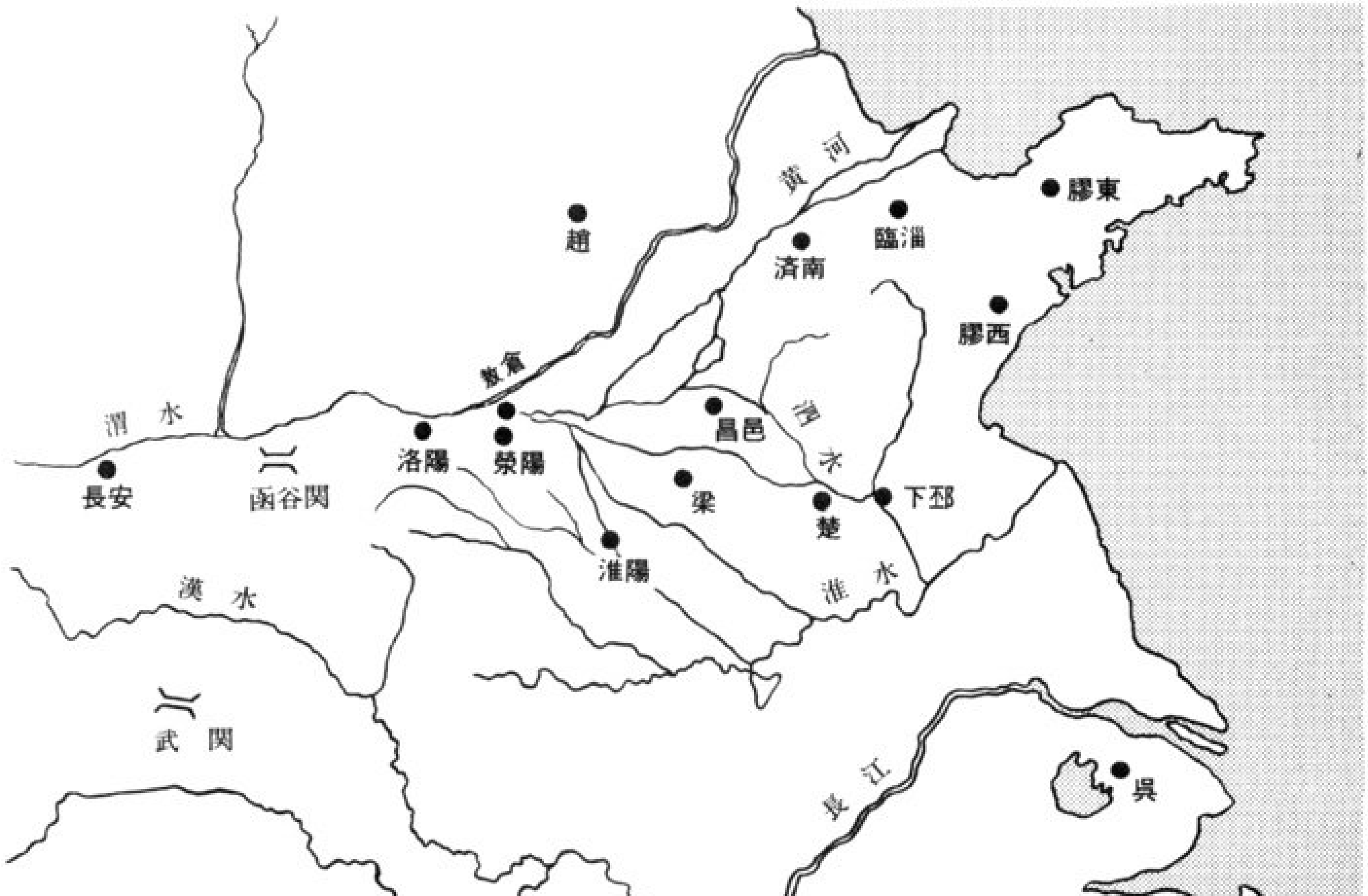
19

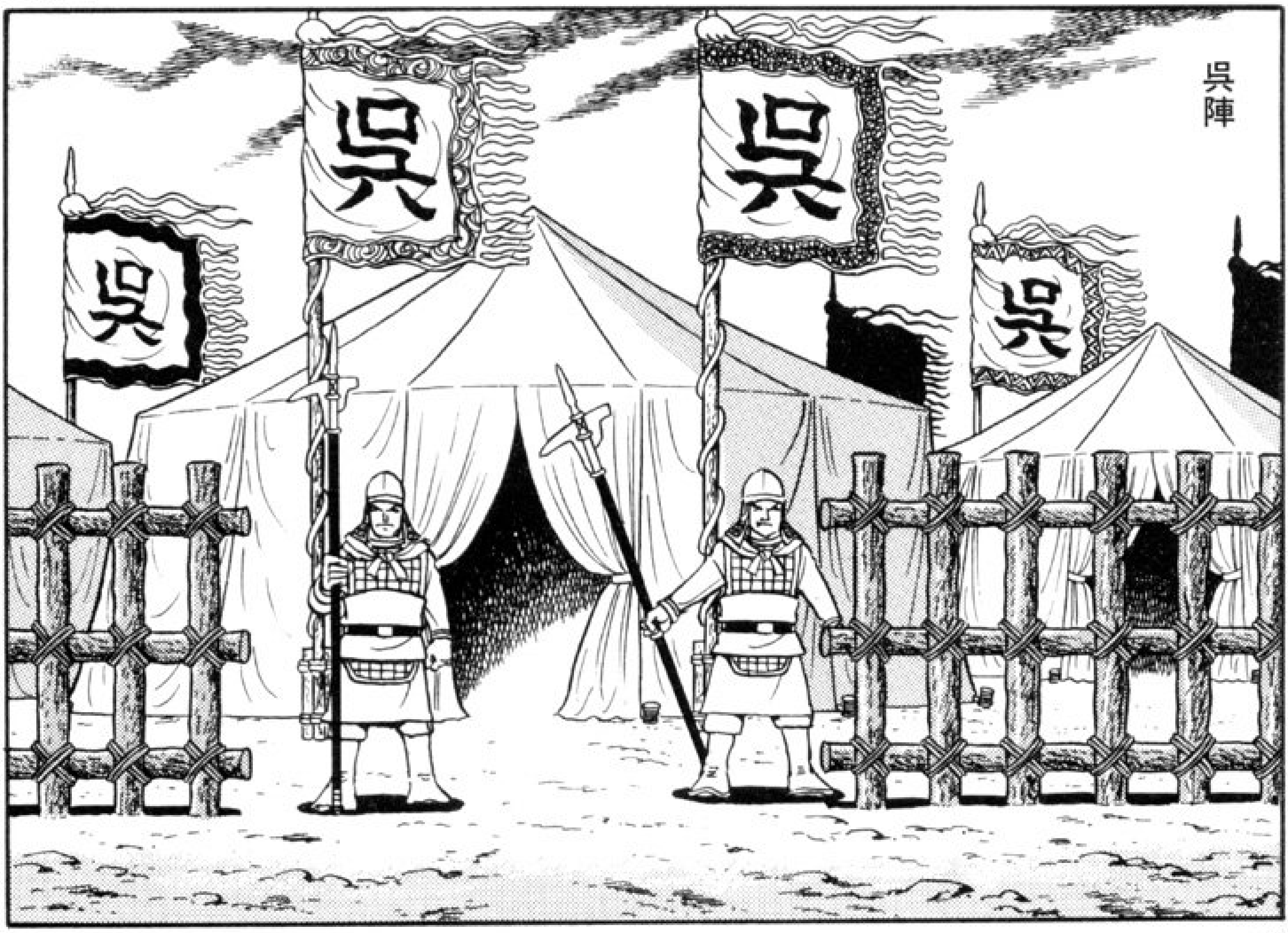
今日のお訪ねは、呉楚にどう立ち向かうかの相談でございますな。
その通りだ。父は百万の軍を指揮したことがあるというのが自慢だった。その父が見込んだそなたじゃ、意見を聞きたい。
呉はまれにみる精鋭軍です。正面から挑んでは勝ち目はありません。一方 楚軍は、じっくり構える持久戦は苦手としております。
うむ。
20
今 亜夫さまのために計略を立てますと、兵をひきつれて東北に向かい、昌邑に砦を築いて守りを固めるのです。
梁は呉のなすがままにさせておくのです。

呉はきっと全力をあげて梁を攻めましょう。その間に亜夫さまは淮水(わいすい)と泗水(しすい)の合流点に遊撃隊を出し、呉の糧道を断ち切るのです。
呉・梁とも交戦に疲れ、糧秣が尽きた頃を見計り、全精鋭を繰り出して攻撃するのです。疲れきった呉軍はひとたまりもありますまい。
おう、よくぞ教えてくれた。そういたそう。
鄧都尉から作戦をうけた条侯は、全軍を東北の昌邑へ向けた。

21

そこに堅固な
砦を築き、
持久戦に
もちこんだ。


黄河
膠東
趙
臨淄
済南
膠西
敖倉
泗水
昌邑
渭水
長安
函谷関
洛陽
滎陽
梁
下邳
楚
淮陽
淮水
漢水
武関
長江
呉


呉陣
呉
呉
呉
呉

23

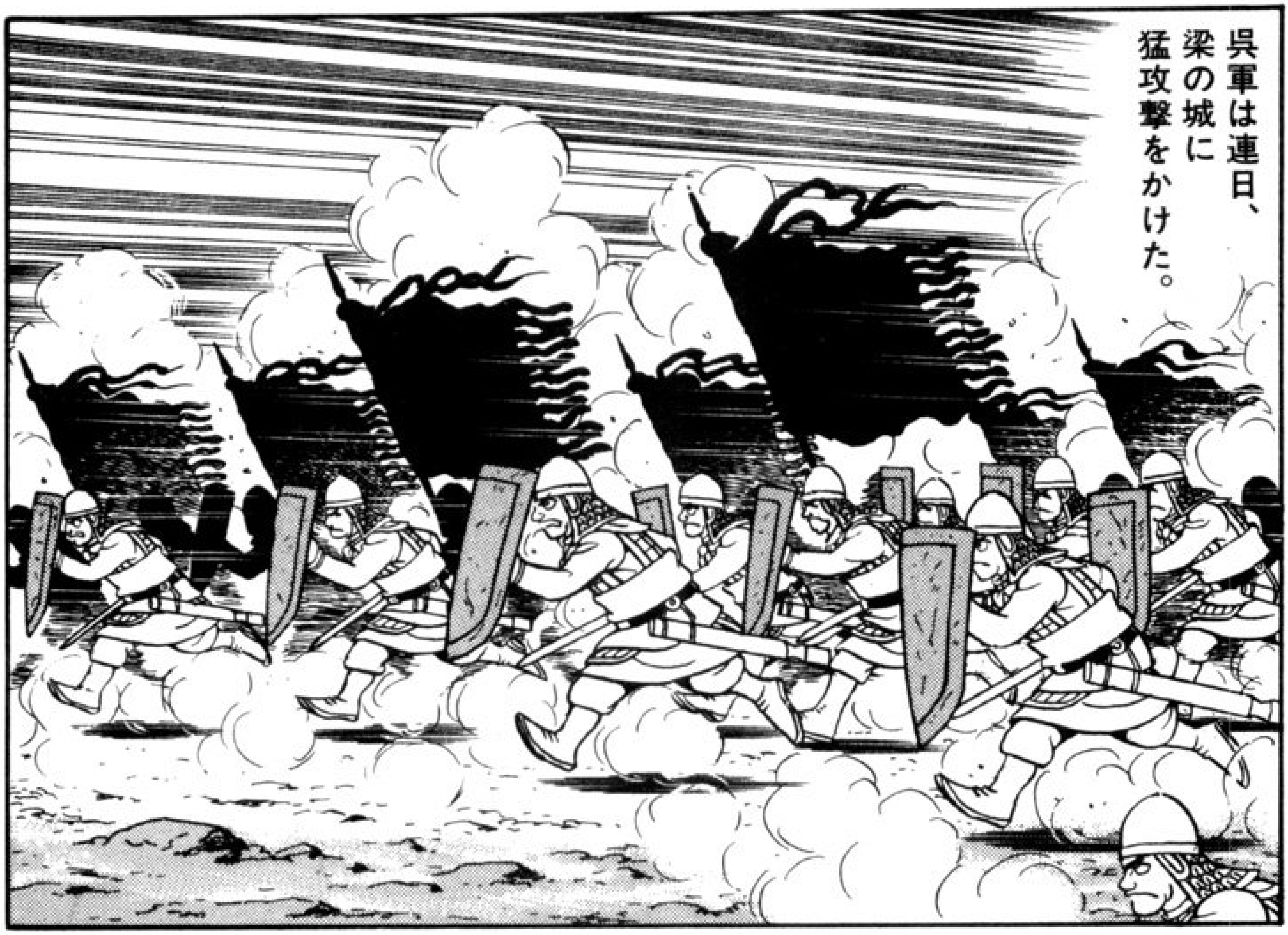
呉王さま、兵を一つにまとめて西進するだけではだめでございます。ほかに敵をあっと言わせる策がないと成功は難しいかと思います。
ほう…どうせよと申すのじゃ。

それがしに五万の兵をお貸し下さい。別働軍として長江と淮水に沿ってさかのぼり、長沙を手に入れ、淮南と武関を越えて呉王さまと合流いたしましょう。
ふむう、別働軍か…
よし、考えてみよう。
24
父上、父上は東帝になると宣言されました。これは、謀反を宣言したようなものです。これでは兵を人に貸すのは危険です。兵を借りた者が漢についたらどうなされます!?

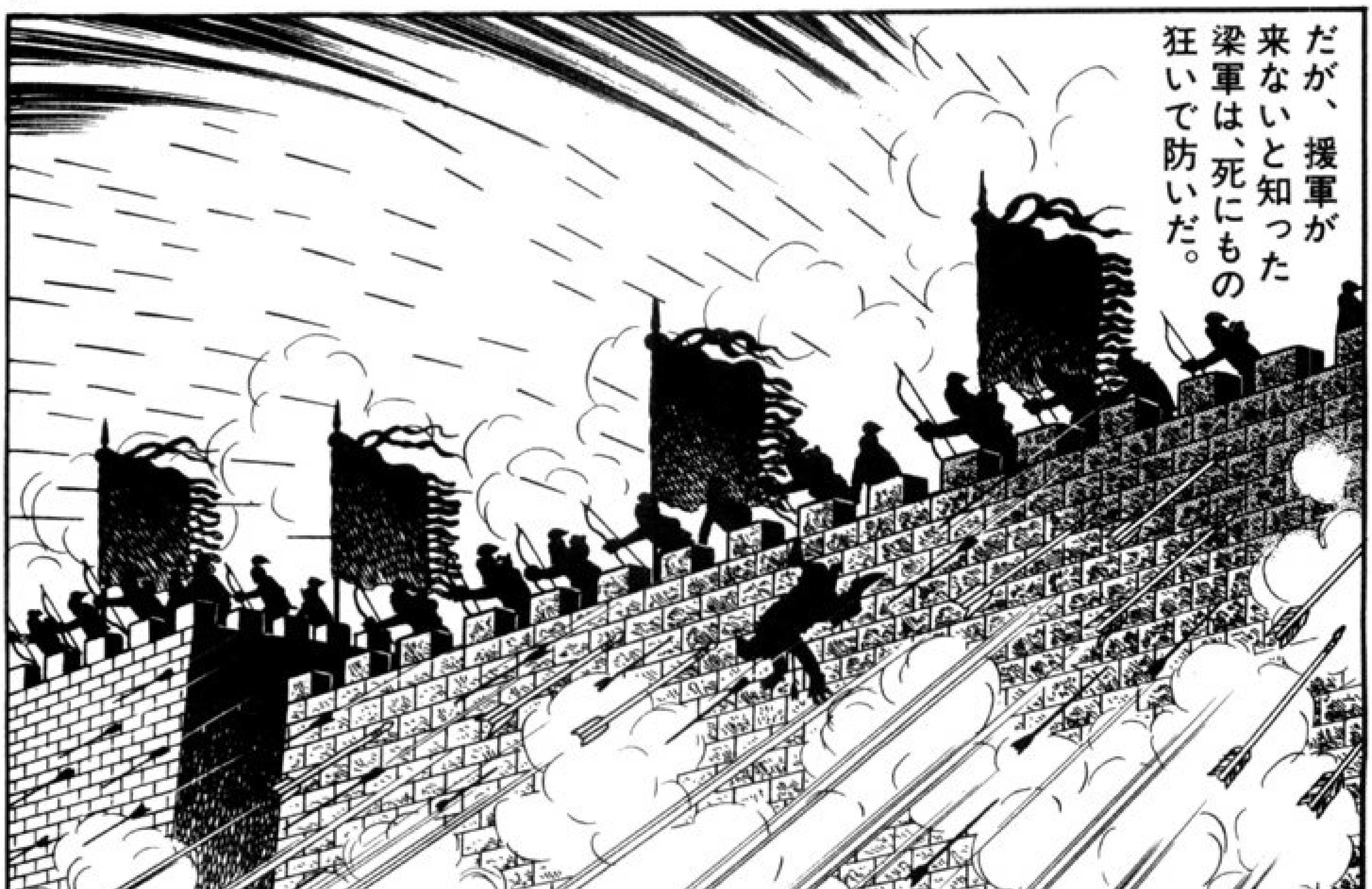
また、別行動を起こして、はたしてわが軍に有利になるかどうかはわかりませぬ。もし別働軍が破れた時、わが軍の損害は大きなものとなります。
ふむ…それももっともじゃ。

25

よし、別働軍の案は取り上げぬことにしよう。
はい。



26



呉王さま。
おう、桓将軍、何か…
呉は歩兵が多く、歩兵はけわしい地形を有利といたします。漢は戦車と騎馬が多く、平坦な地形の合戦を得意としております。
うむ。

27

城を一つ一つ落としながら進軍していれば、漢軍の戦車と騎馬が、梁と楚の領内にかけ入り、わが軍は不利となります。
ここはもっと西進し、洛陽の武器庫と敖倉の食糧を手に入れ、そこから諸侯にお指図なされませ。そうなれば、函谷関を越えられなくとも天下は平定されたようなものでございます。
梁の城などにかまっているなと申すか。
はい、敖倉と洛陽を手に入れることが先決でございます。
よし、重臣達に諮ってみよう。
はっ。

28

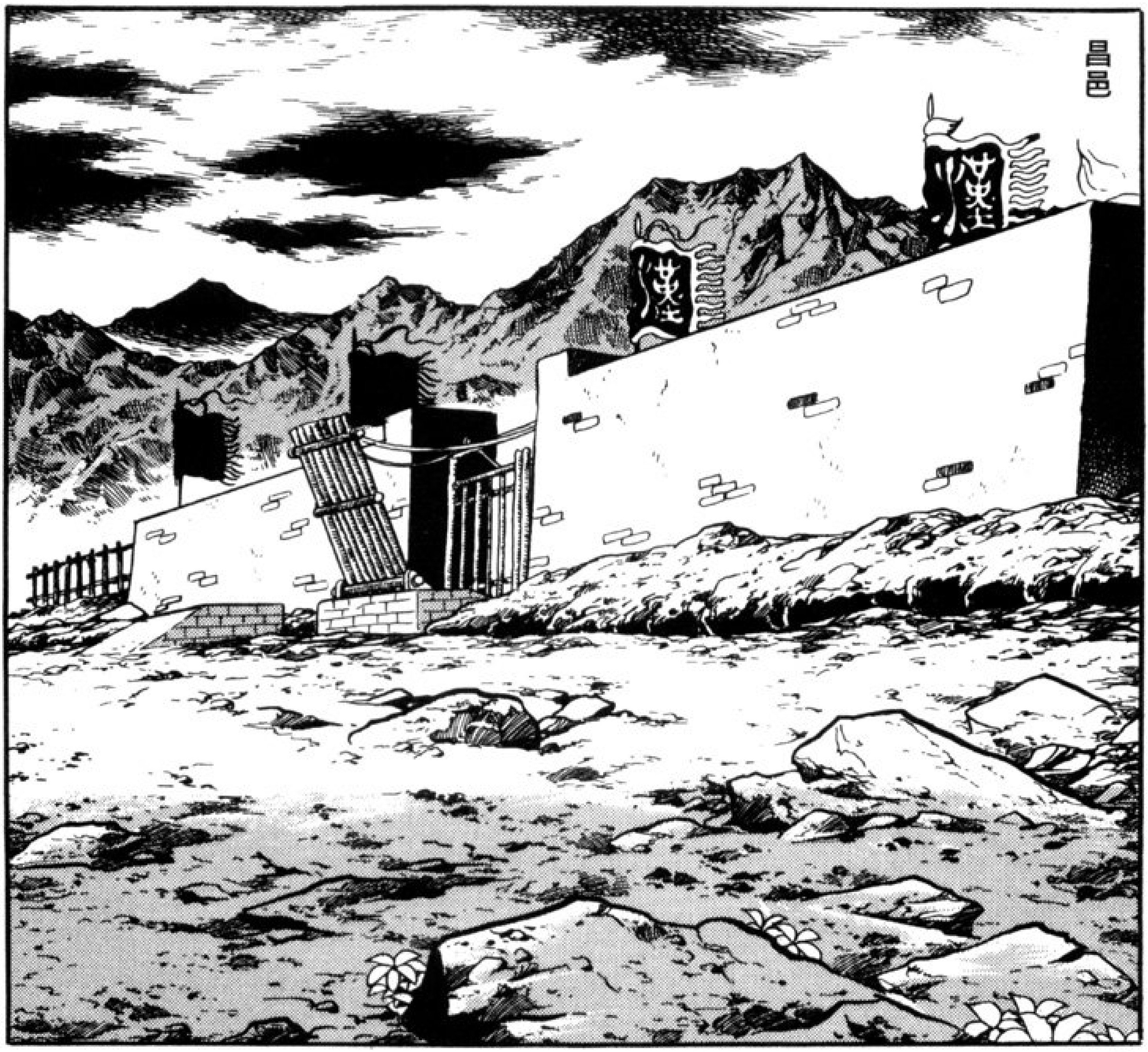
そち達は桓将軍の進言をどう思う!?
呉王さま、これは若い者が功をたてようとする戦場のかけひきにすぎません。
その通り。若い者は血の気が多く、全体的戦略などわかりますまい。

29

呉王さまの恩賞が大きいので、これからも功をあせる者が出て参りましょう。
なるほど…

30

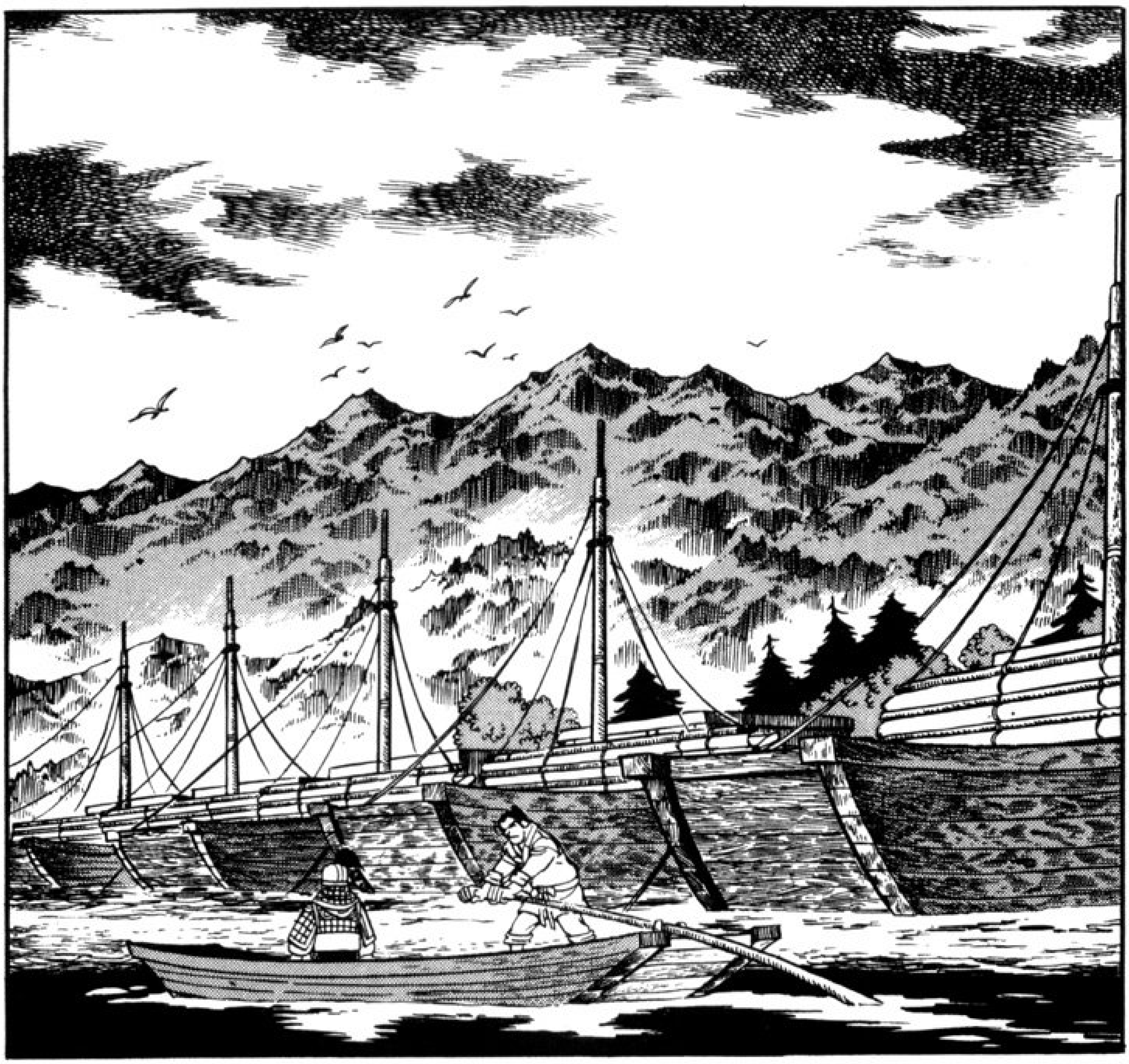
よし、わかった。一つになって着々と西進を進めよう。
それがようございます。



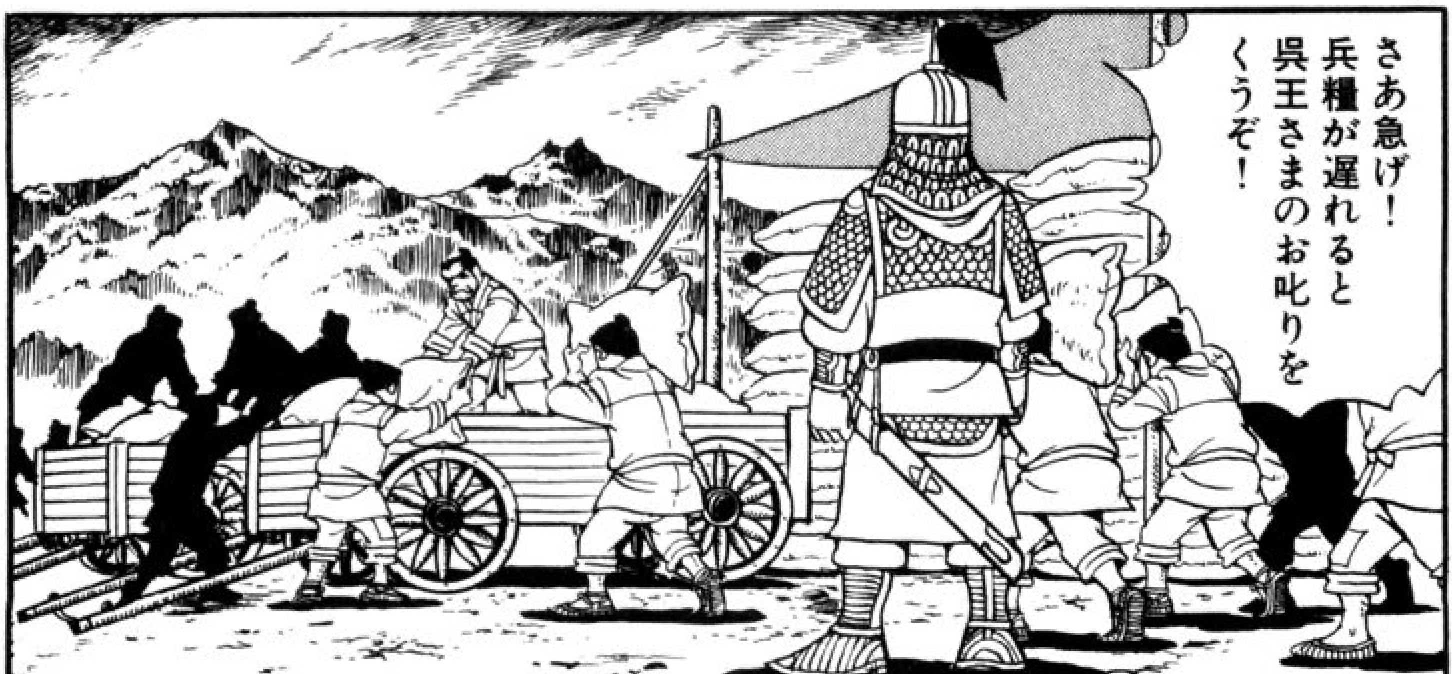
31

船は焼き払い、馬車は壊せ。米一粒、矢一本も呉軍に届けさせてはならん。
はっ。
周亜夫は鄧都尉の助言をそのまま実行した。

32



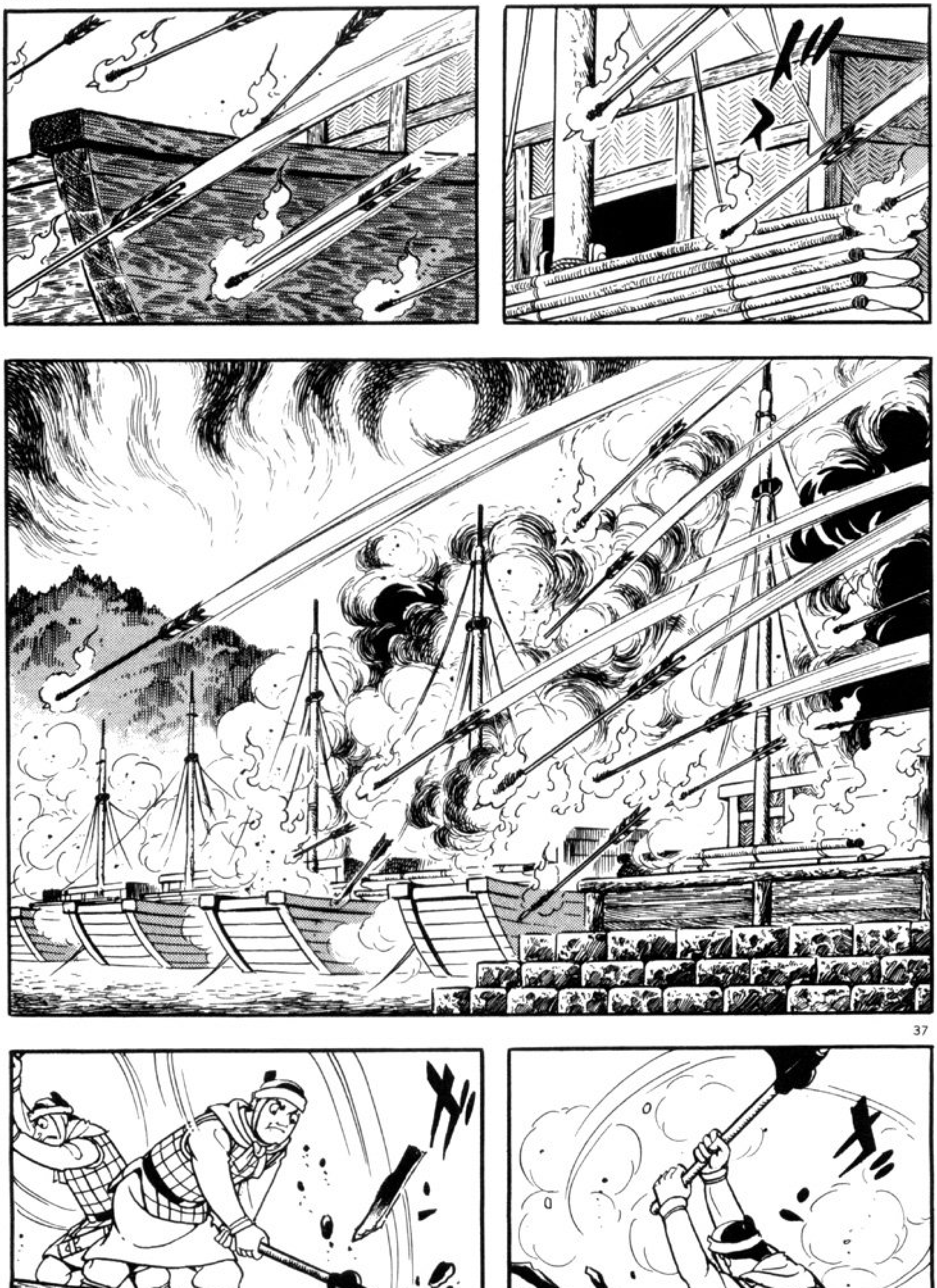
33



34

35

36



37

38

呉陣
なにっ!!
補給路を
断たれたと!?
はい、
船着場は
味方の船の
残骸で、しばらく
接岸できません。
こんな荒野で
武器・兵糧が
途絶えては
戦はできん!!
では、梁の城を
落として手に
入れましょう。

39

そんなに簡単に落とせるならすでに落として西進しているわい!!
呉王さま、こうなれば昌邑を攻めましょう。
そうじゃのう…昌邑はにわか作りの砦じゃ。その方が攻めやすいかもしれん。
そこで武器・兵糧を手に入れましょう。
よし、昌邑へ向かうぞ。
はっ。

40

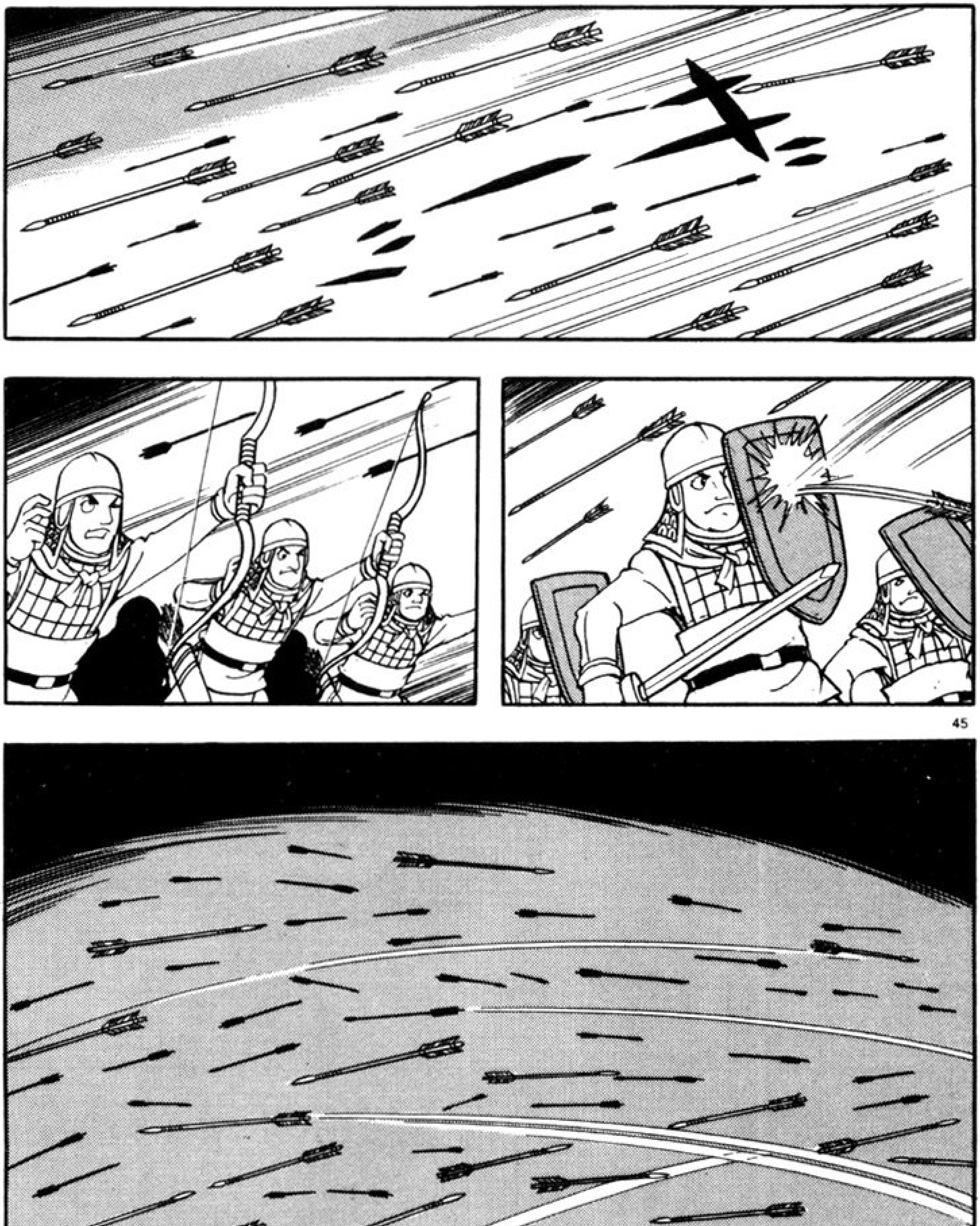
41

よし、今夜 東南の砦を夜襲せよ。漢軍はそこの守りを固めるであろう。
それは見せかけの攻撃だ。漢軍が東北の砦に主力を注いだ時、西北の砦を襲う。
なるほど…
呉軍は陣を張り、夜を待った。

42

43

44

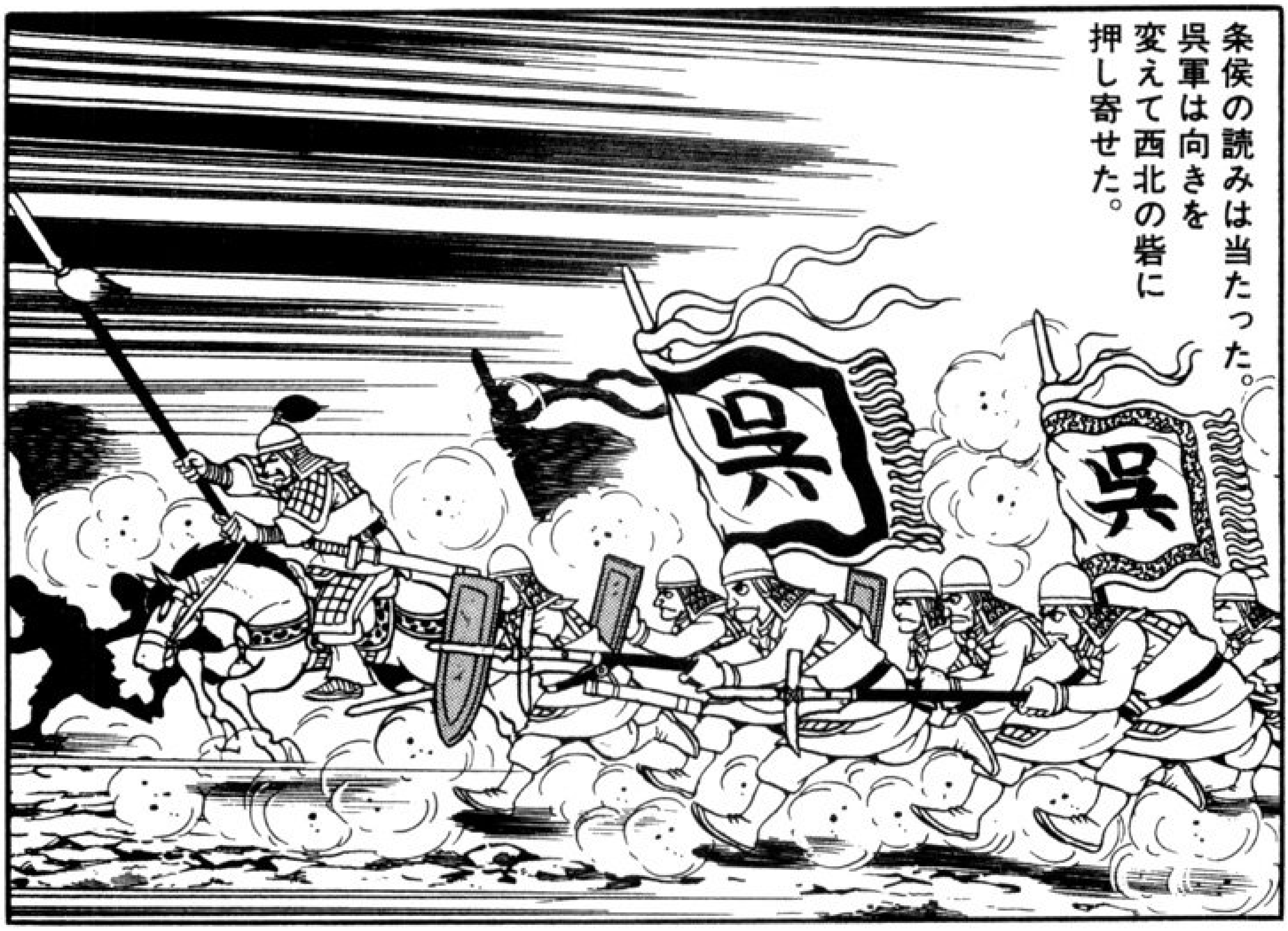


45

諸将よ、この砦の主力の兵力を、西北の砦にまわせ。
えっ!?
条侯将軍、今 呉軍の攻撃を受けているのはこの砦でございます。それなのに兵を減らすのですか。
昨夜の夜襲は漢軍の注意をこの砦に向ける呉の作戦だと睨んだ。

おそらく…
漢軍の主力を
この砦に集め、
手薄になった
西北の砦を襲う
つもりなのだ。
行けっ！
兵が少なくとも
この砦は数か月は
持ちこたえられる。
それよりも呉を
一気に叩くのだ。
はっ!!
漢軍の主力は
ひそかに西北の砦に
移動した。

47


条侯の読みは当たった。
呉軍は向きを
変えて西北の砦に
押し寄せた。
呉
呉

48

だが西北の砦は
呉軍を一気に
叩くため、待ち
受けていた。
呉
呉
呉

49

50

さらに呉軍に追い討ちをかけたのは、飢えであった。
梁軍との戦いに疲れ果てている兵士に……
呉
兵糧も途切れてしまったのである。
51
恩賞の多さにはせ参じた兵士は、次々と夜逃げを始めた。

呉王さま、昨夜も多数の兵が脱走いたしました。
………
………
このままでは全軍 飢え死にをいたします。ここは越に逃げ、越の力を借りて再起をはかって下さい。
それがよいと思います。敗走した兵も再び戻って参りましょう。

52

よし、東越に
逃げ込み、
再起をはかろう。

53

その夜、
呉王は闇に
まぎれて数千の
兵だけをひきつれ、
自軍にもわからぬ
ように脱出した。

そのころ、膠西王、膠東王、菑川王は、斉の首都・臨淄に猛攻を加えていた。

54

しかし臨淄は要害で、三か月かかっても攻め落とせなかった。

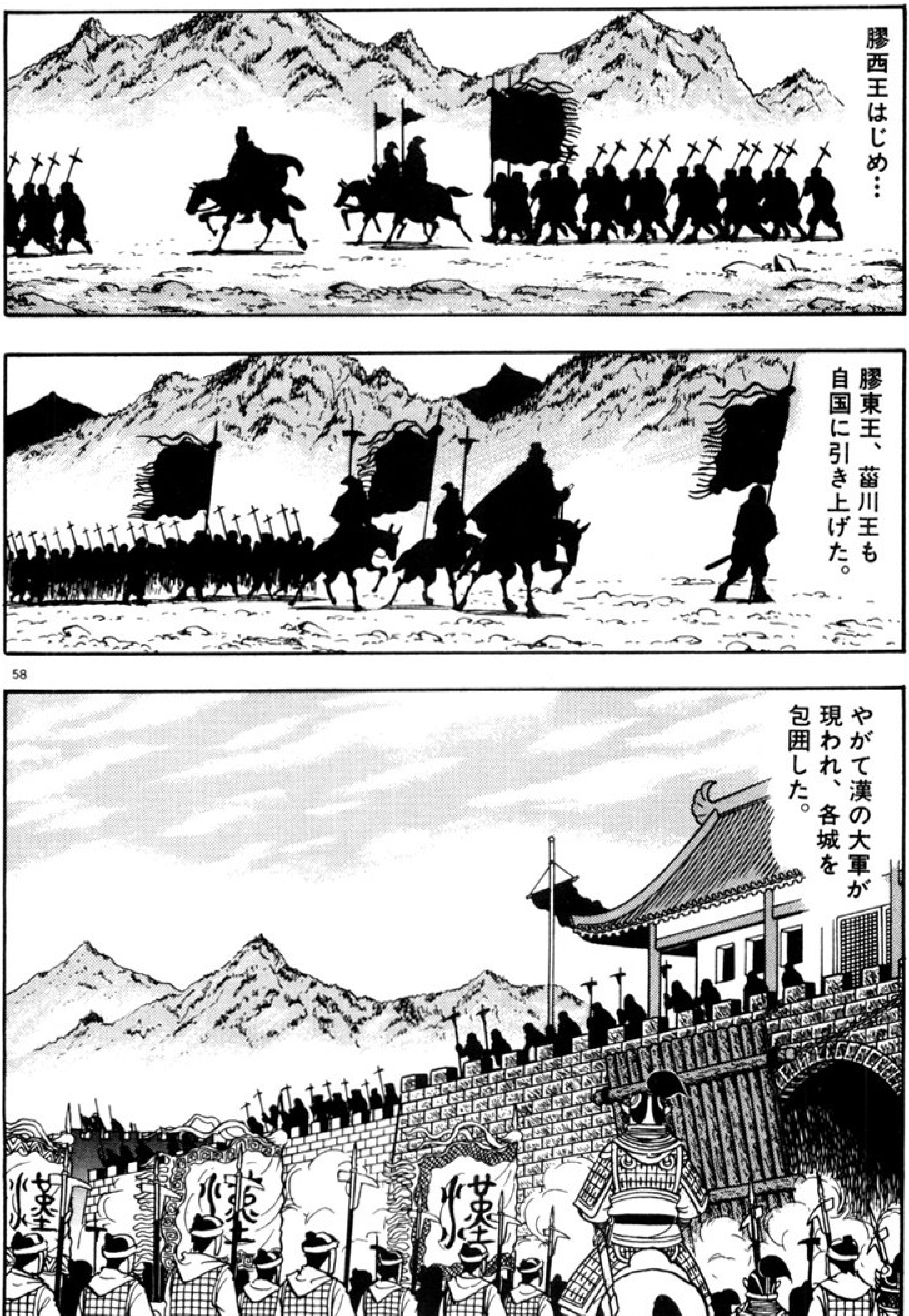
膠西
膠西
なにっ⁉
呉王が死んだと‼
はい、
東越で
殺されたそうに
ございます。
東越だと⁉
事情をくわしく
申せ‼
はい、
呉は昌邑で
大敗をしたそうに
ございます。

55

呉王は再起をはかろうと、東越にわずかの将兵と逃げこんだそうにございます。
うむ…呉と越はここ三十余年、仲がよかったからのう……
呉王は疲れた兵を慰労している時…
56
一人の刺客によって突き殺されました。

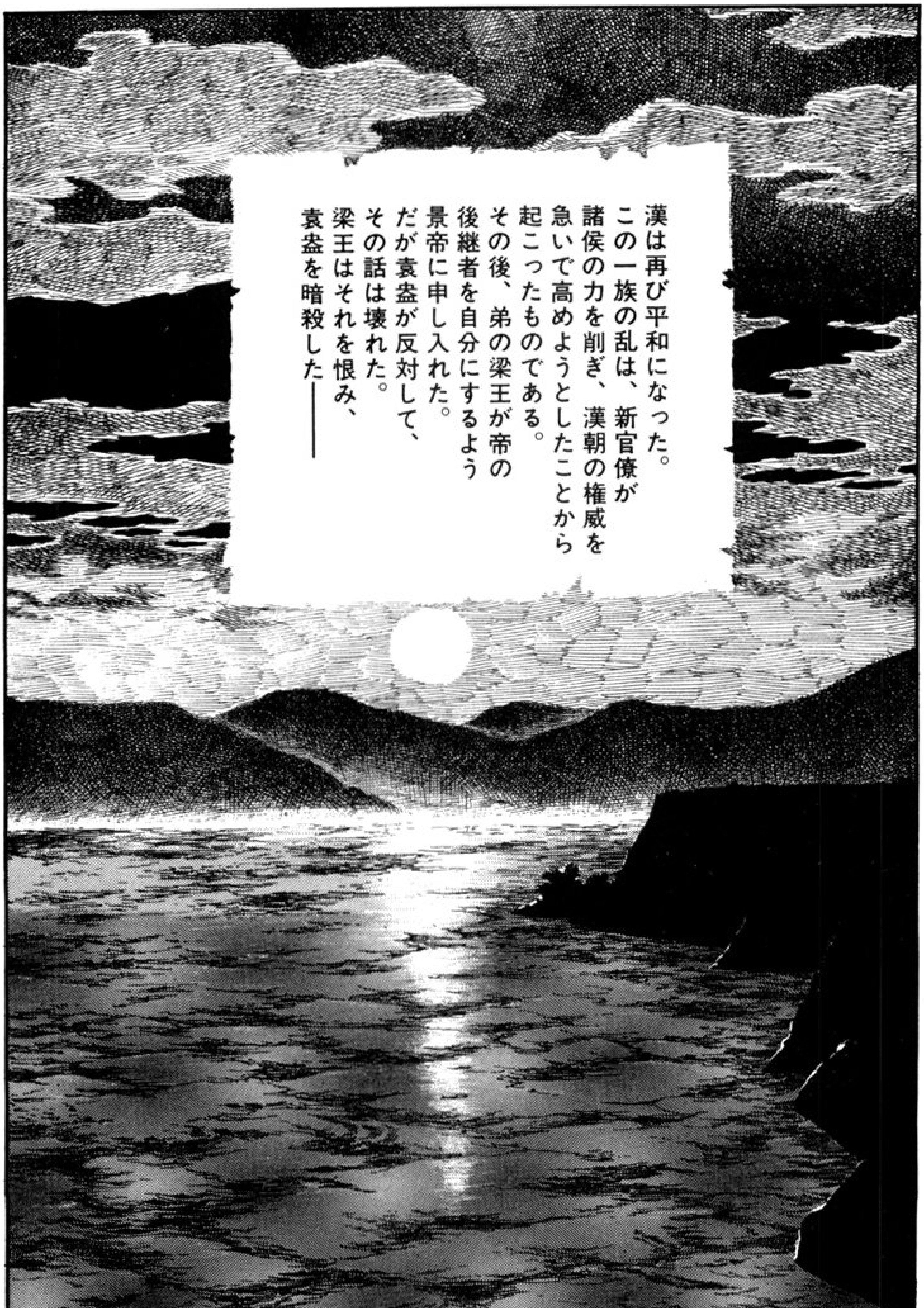
越はその首を都に届けたそうにございます。
越は漢に味方したのか!! それで楚王はどうなった!!
楚
楚
楚王も呉王の死を知り、自決したそうにございます。
膠西王さま、呉楚が亡んではこの計画の成功はありませぬ。
様子を見ていた諸侯も、これで漢につきましょう。
ここにもやがて漢の大軍が現れましょう。
むむむ…
よし、すぐに帰国いたす。膠東王、菑川王にもそう伝えよ。
はっ。

57



58

膠西王は城門から出て、降伏を申し出てから漢軍の前で自決した。
太后…
太子もその後を追った。
59
反乱に参加した他の王も、みな自決した。


漢は再び平和になった。
この一族の乱は、新官僚が
諸侯の力を削ぎ、漢朝の権威を
急いで高めようとしたことから
起こったものである。
その後、弟の梁王が帝の
後継者を自分にするよう
景帝に申し入れた。
だが袁盎が反対して、
その話は壊れた。
梁王はそれを恨み、
袁盎を暗殺した――

60

第2話
大単于冒頓（だいぜんうぼくとつ）

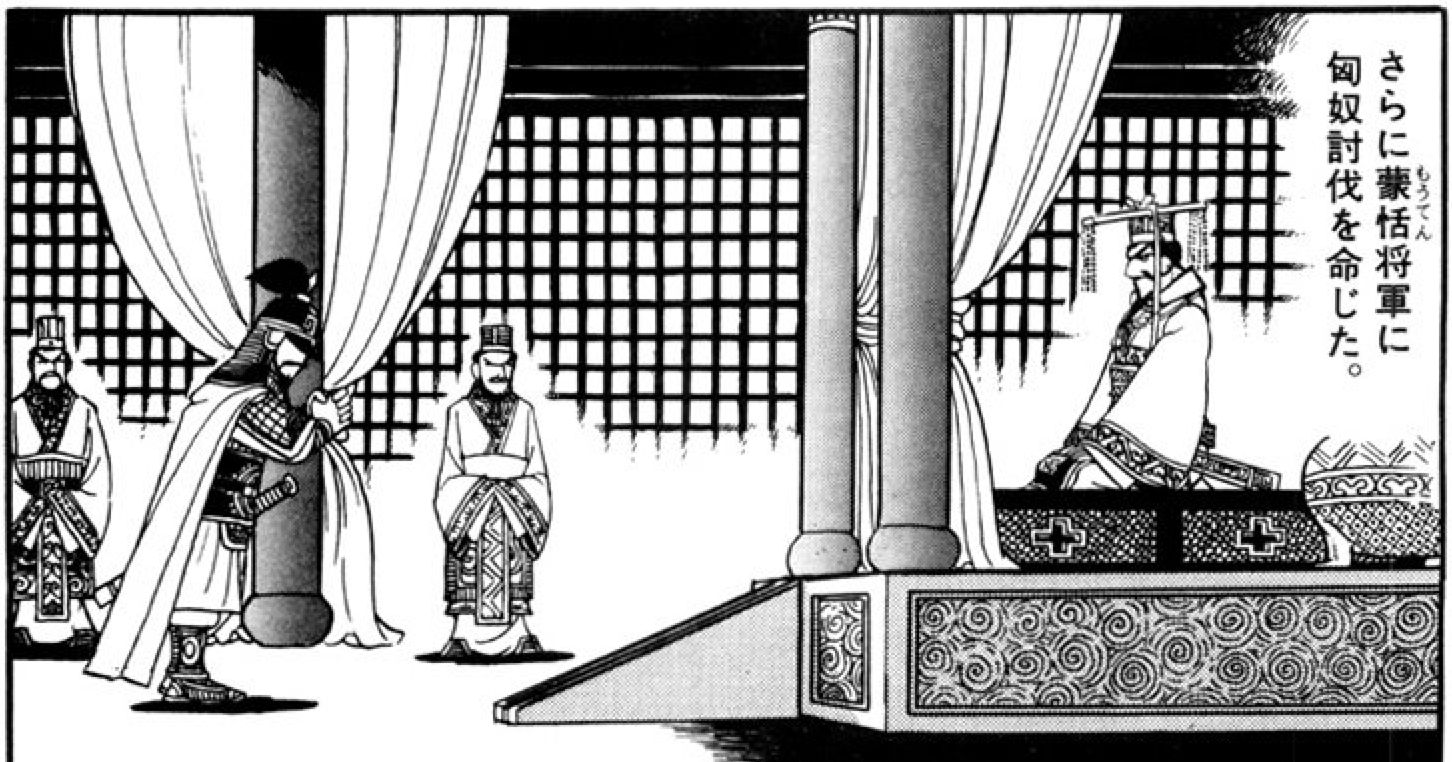
大昔から
中国にとって、
北方の遊牧民族は
悩みの種であった。

中国と匹敵する
広大な土地に住む
匈奴の部族の数は
百以上を数え、
縄張りの中で放牧と
狩猟で生計を立てていた。

3

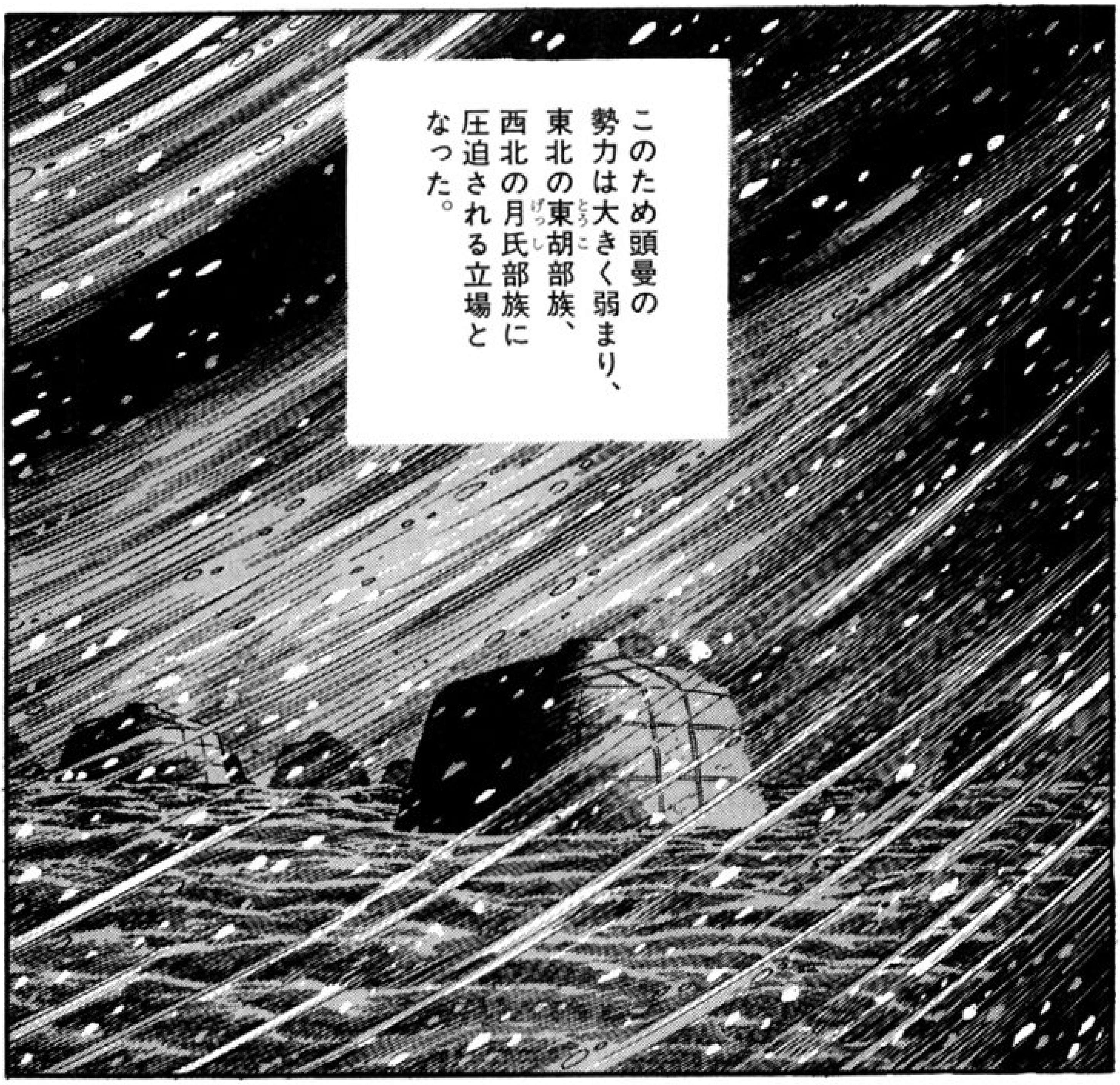
しかし生活に困ると
他の部族や中国に
まで侵入し、略奪を
はじめるのである。
北方民族は無政府
状態であった。

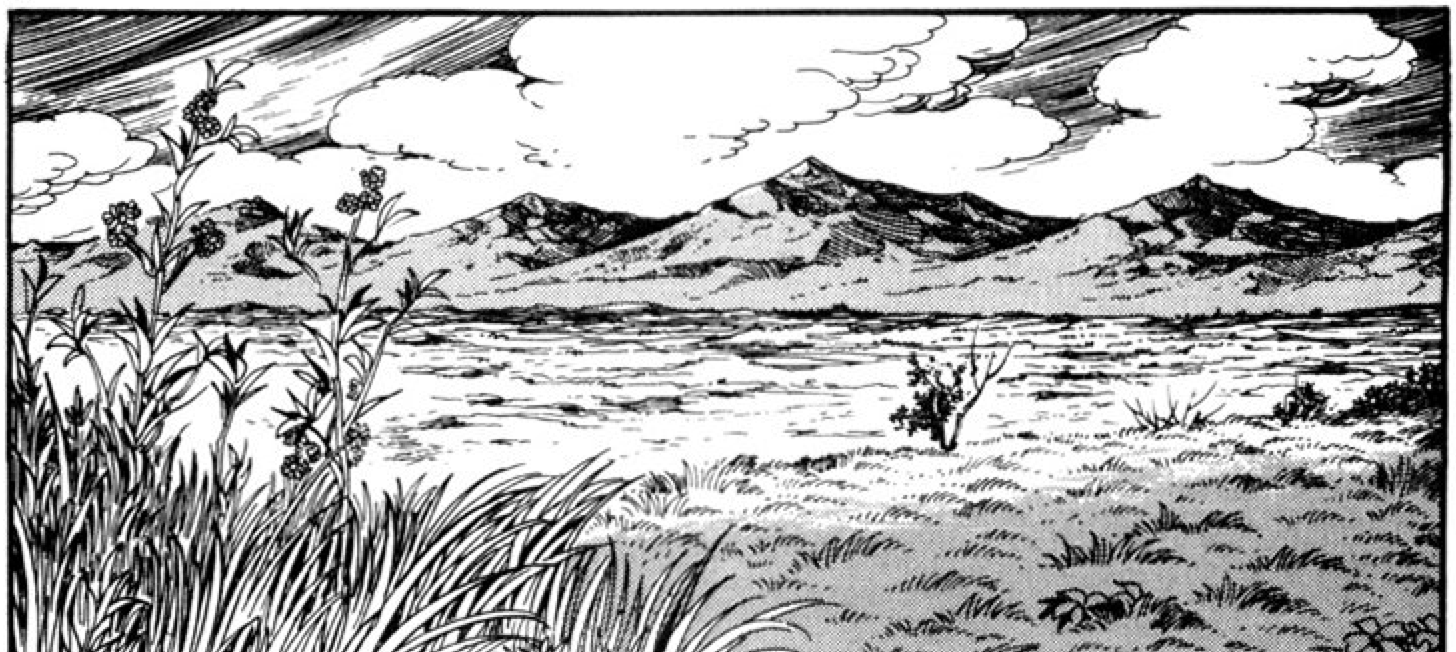
秦の始皇帝は
万里の長城を築き、
匈奴の襲撃を
防いだ。


さらに蒙恬将軍に
匈奴討伐を命じた。

匈奴の単于(君主)頭曼は、蒙恬との戦いに敗れ……

砂漠の奥に逃げこんだ。


このため頭曼の勢力は大きく弱まり、東北の東胡部族、西北の月氏部族に圧迫される立場となった。



7

8

父上、おめでとうございます。
おう、母は違うてもお前にとっては弟だ。かわいがってやれよ。
単于は後妻の生んだ子がかわいくてたまらなかった。

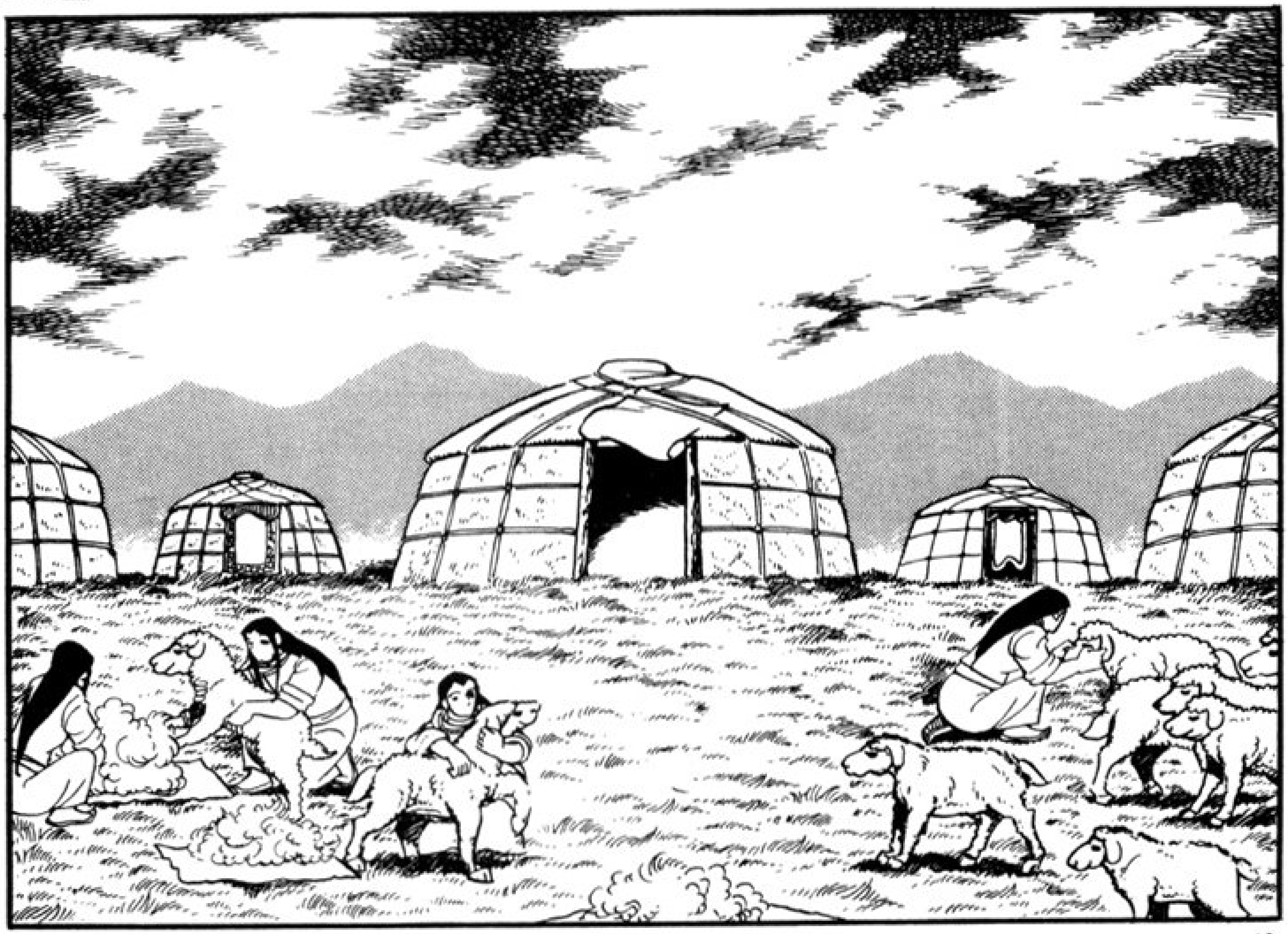
そしていつしか冒頓を廃嫡し、その子を太子にしたいと考えるようになった。
冒頓を理由もなく廃嫡することは各部族の長が認めぬであろう。戦死でもしたなら話は別だが……
そうだ、冒頓を月氏に人質として差し出そう。そして頃を見計らって月氏を急襲するのだ。
戦となれば人質はまっ先に殺される。
となれば弟が太子になったとしても誰も反対せぬ。

冒頓よ、
そなたを月氏に
人質として
差し出す
ことにした。
えっ!?
今 東胡と月氏は
われらをしのぐ勢力で、
隙を見せれば
たちまち襲ってこよう。
われらが勢力を
取り戻すまで
月氏と同盟を結んで
おきたい。
太子を人質に出せば
話はまとまる。

11

わかりました。
単于の命令は絶対であった。
うむ、われらが力を取り戻すまでの辛抱じゃ。
人質になることは奴隷になることで、両部族がもめれば最初に殺される運命であった。
父はわたしを見捨てた……

12



13

人質といえども
わが太子だ！
丁重にあつかう
べきである！
そのようなことは
許せん!!
みなの者、これは
月氏がわれらを
軽んじている証拠だ！
このまま黙っていれば
きっと見下した
態度をとって
くるであろう！
われら一族の
誇りと名誉の
ためにも
月氏を討つ!!
単于さま、
月氏を襲えば
冒頓さまの
お命はありま
せぬぞ。
ならば月氏の
横柄な態度にも
目をつぶれと
申すか!!
14

そのような態度でいたら、ここもいつか月氏に併合されてしまうわ！
わが一族の名誉を守るためならば、息子一人の命にはかまっておられぬ!!
ただちに出陣の準備だ!!
はっ。
はっ。
頭曼単于はただちに出陣した。ここまでは単于の計画通りであった。

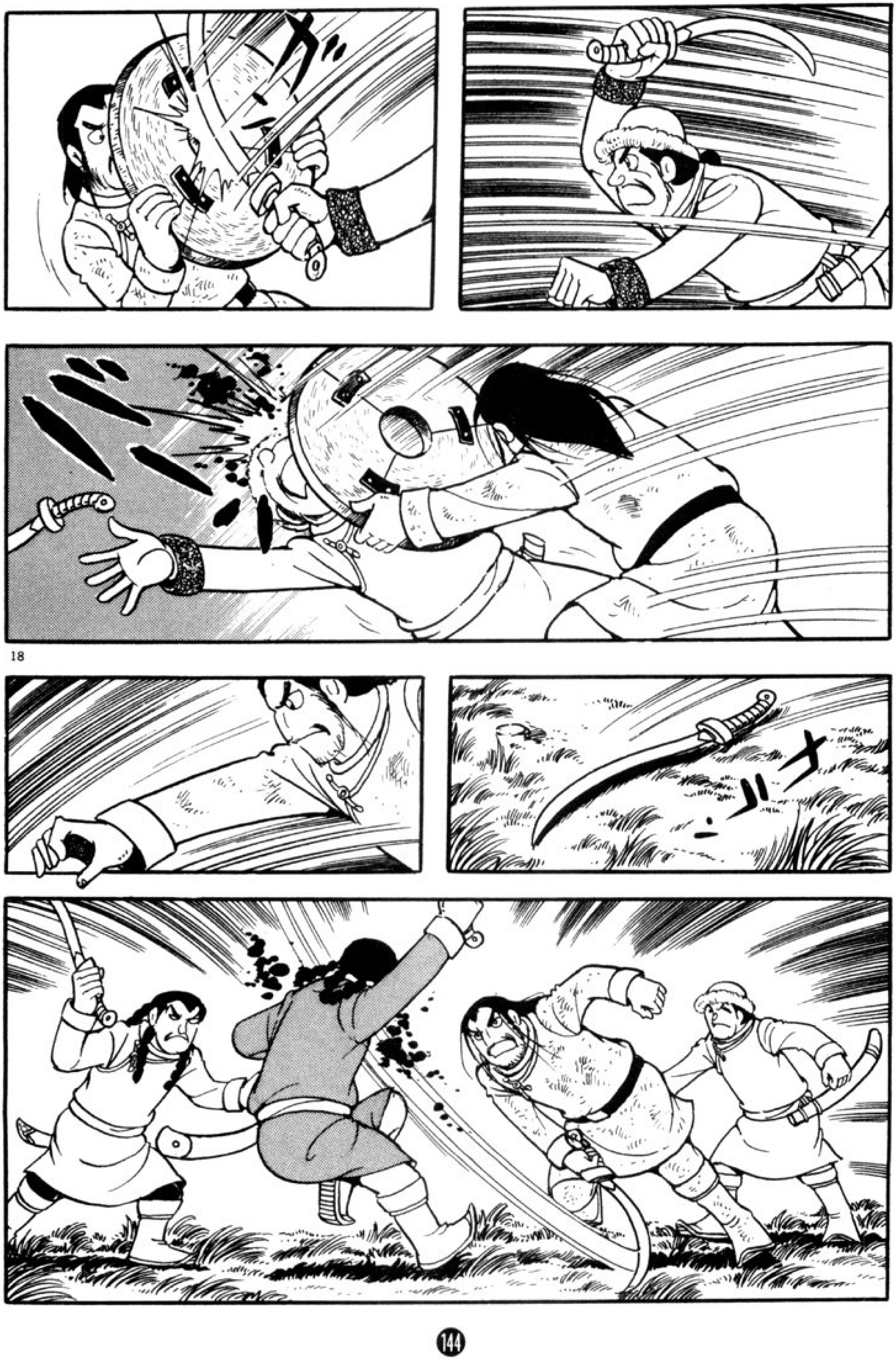
月氏集落

16

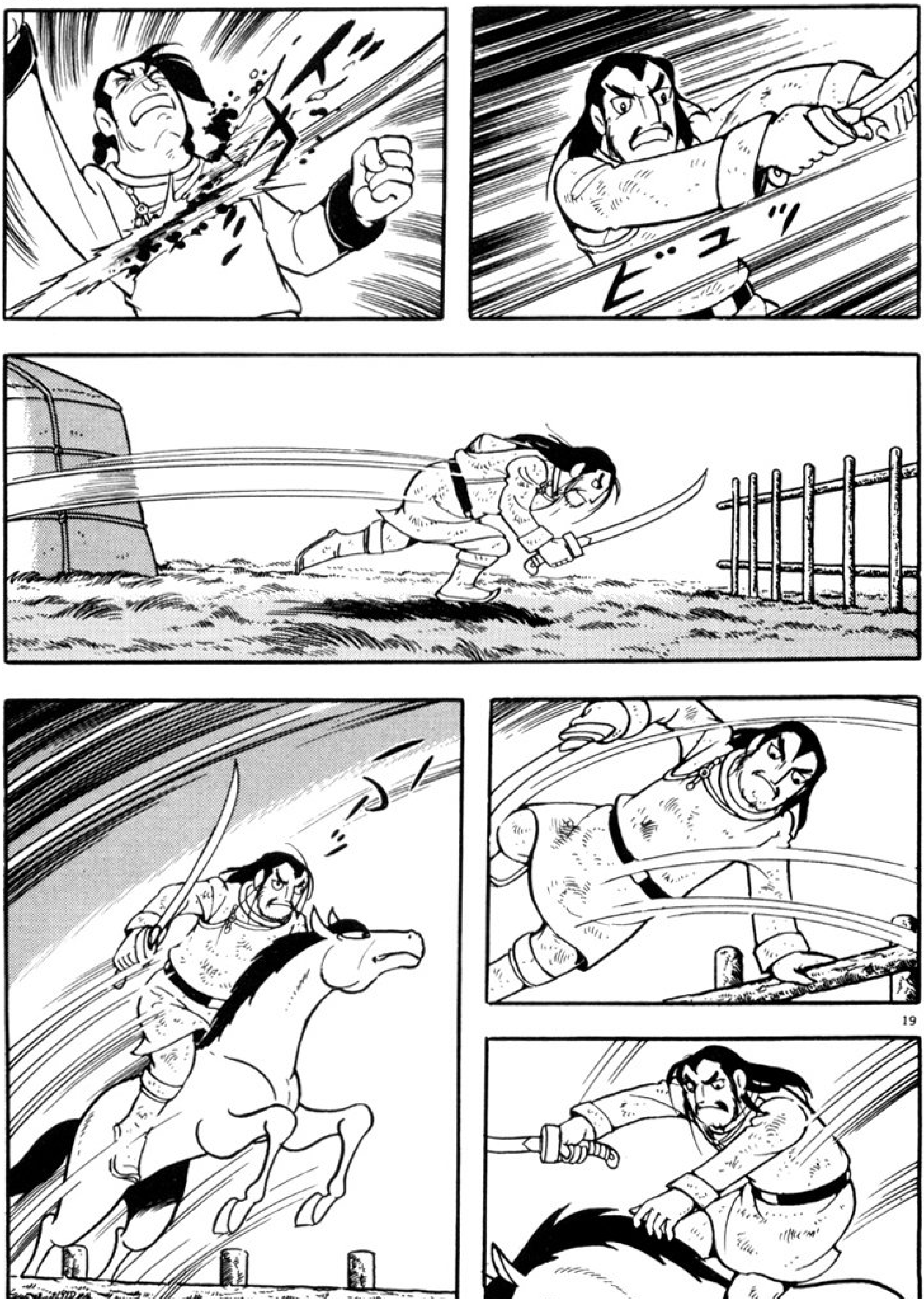
なにっ!? 頭曼単于が わが領内に侵攻し、一集落を襲ったと 申すか!!
はい、男は殺され、女、家畜は すべて奪われ ました。

おのれ 単于め!! われらを油断させるために太子を人質としてよこしたのか!!
すぐに人質を殺し、守りを固めよ!
はっ!
冒頓!
?
頭曼はわが領内に侵入し、一集落を襲った! そなたには死んでもらう!!

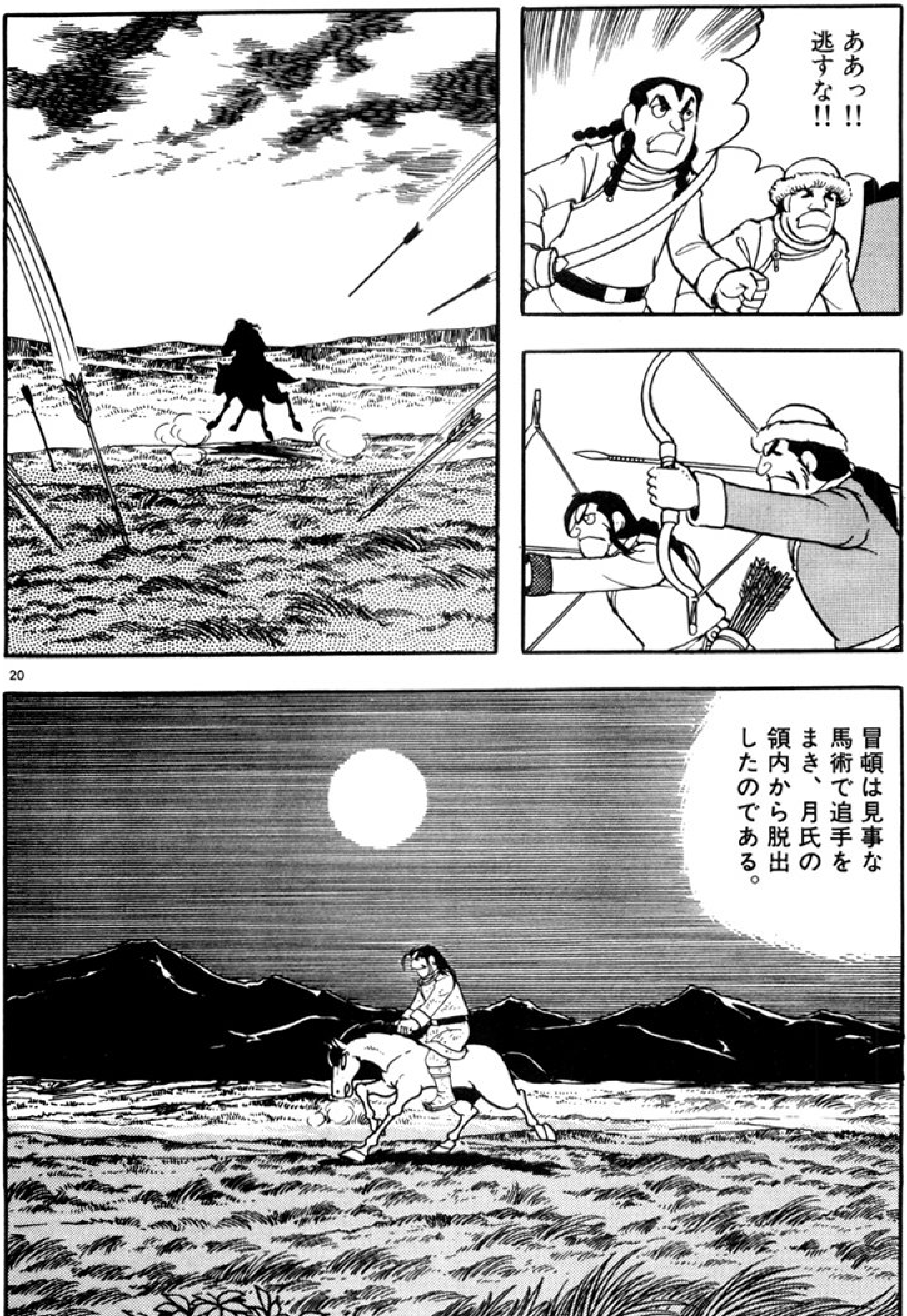
17



18



19


ああっ!!
逃すな!!
20
冒頓は見事な
馬術で追手を
まき、月氏の
領内から脱出
したのである。

おおっ
冒頓、無事で
あったか。
はい、
なんとか
追手をまき、
逃げきれました。
21
おう、
それはよかった。
わしはのう、
月氏がわれらを
見下す態度を
とったので
我慢できず 月氏の
領内を襲撃した。
はい。

でも心の中では
お前の身を
案じていたぞ。
ジロリ
これこれ、
太子が無事に
帰ってきたのじゃ。
酒の用意を
いたせ。
はっ。
さあさあ、
祝い酒じゃ！
飲め！
いただき
ます。
これで弟を
太子にすることは
できなくなった……
それにしても
冒頓は見どころが
ある。
殺さず
側に置いていても
役に立つかも
しれんのう。

22

冒頓よ、これで月氏もわれらを甘く見なくなるであろう。
はい。
明日よりそなたに一万騎を与える。わが領土をしっかり守ってくれ。
はい。
父は信じられぬ。こうなればおれが単于となってこの部族を取り仕切る！

そのためにはわしに忠実な部下を作り上げねばならぬ…

24

天よ！おれはおれ流で最強の軍を作り領土を拡大し、王の中の王…大単于となる！しっかり御覧じなされ！

どうだ、わしが
頼んでおいた
鏑矢は
できたか!?
はい、
この通り
作っております。
25
おためし
くださいまし。
よし。

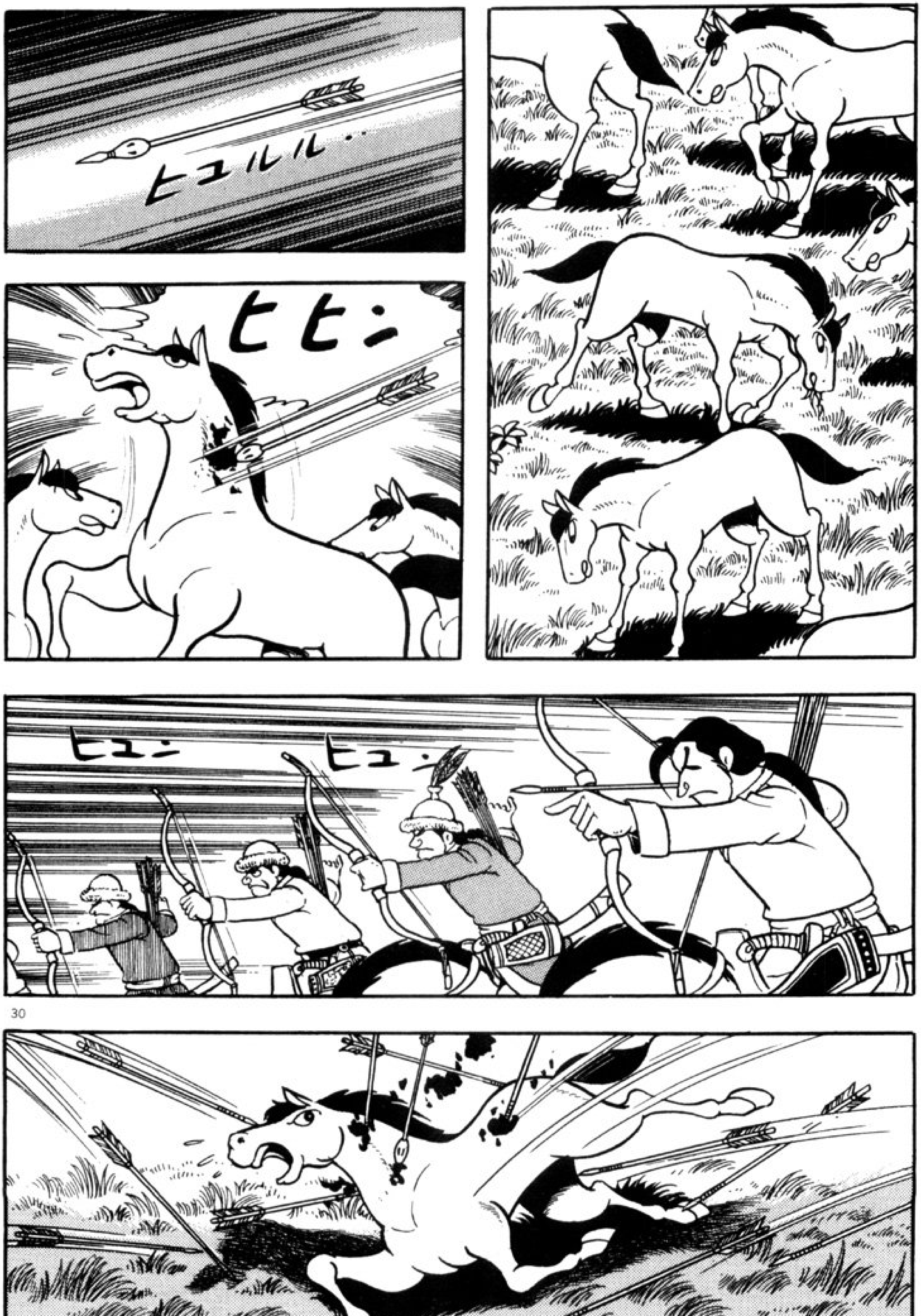
26

それから間もなく、冒頓は部下を射術の訓練のために狩りに連れ出した。
全員止まれ!!
これからわしが狙った獲物に鏑矢を射る。その目標に向かって射ない者はすべて斬る!
目標はあの熊だ!

27

28

そち達はなぜ射ぬ!
はい、あれだけ射ち込めば十分と思いまして……
十分かそうでないかは問題ではない!! わが命令に従えるかどうかが問題なのだ!!
わが命令に従えぬ者は必要ない!!
わが命令は絶対である!! それに従えぬ者はわしには必要ない!!



30

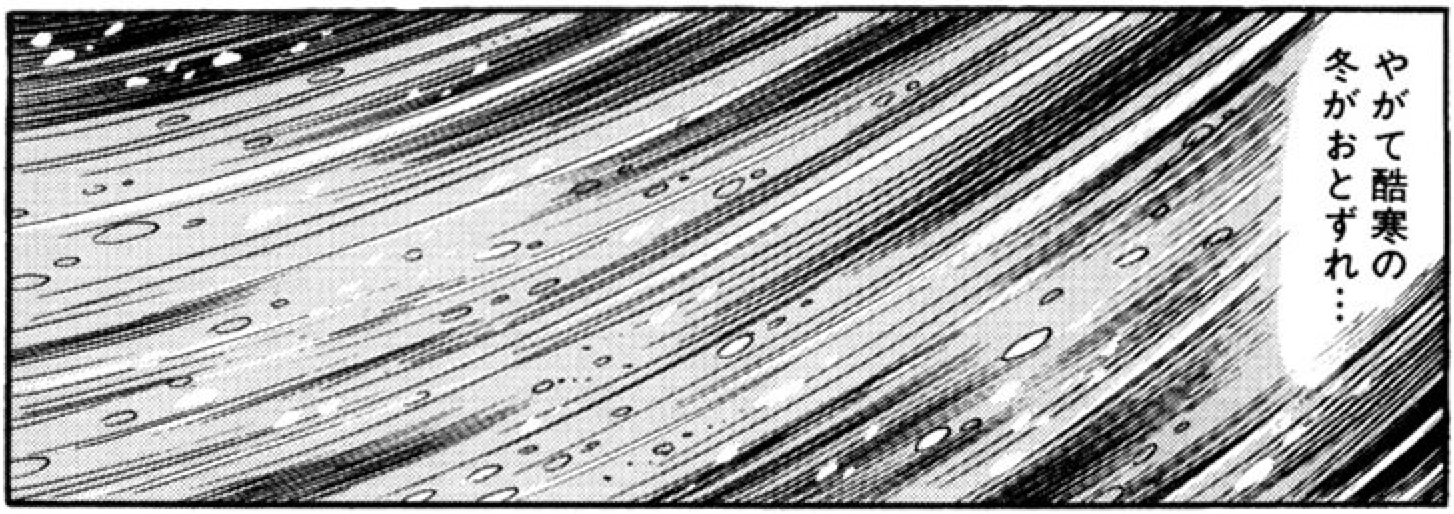
そちたち、なぜ射ぬ!!
しかしあれは冒頓さまの愛馬でございます…
わが愛馬であろうと射よと命じたら射るのだ!!
そち達は必要ない!!

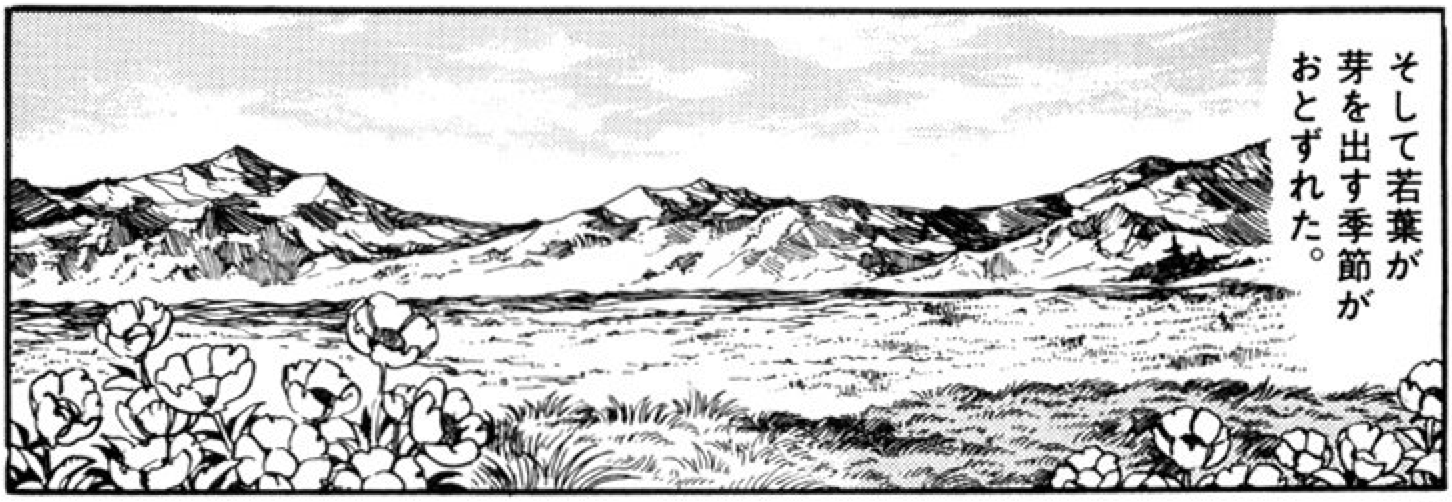
31

32

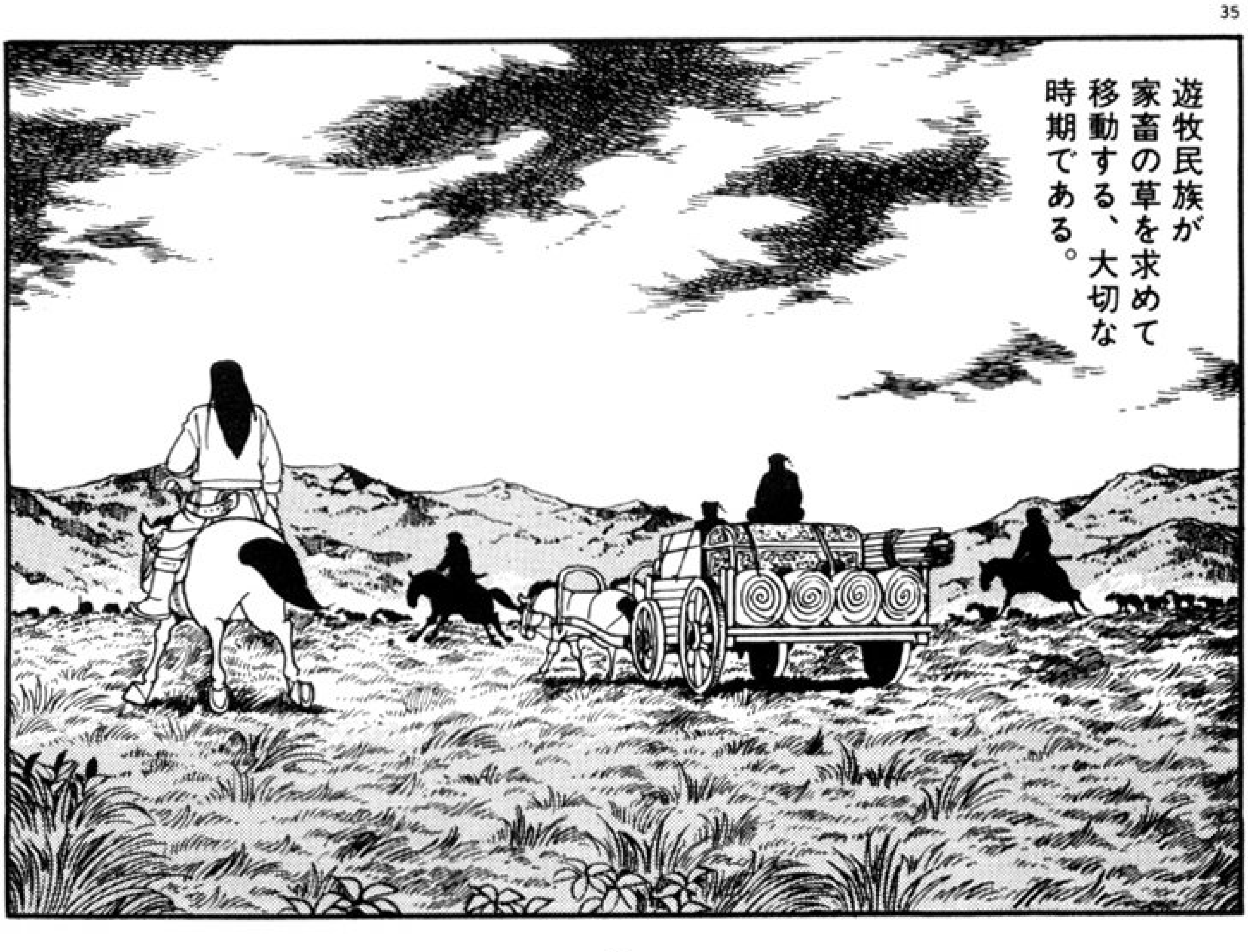
33

そち達はなぜ
射ぬ!!
冒頓さま…
あれは奥方さまで
ございます……
とても
わたしどもには……
わしが
欲しいのは
信頼できる
部下だけだ!!
この時、ひるんで矢を
射なかった者は
皆殺しとされた。


やがて酷寒の
冬がおとずれ…


そして若葉が
芽を出す季節が
おとずれた。

35


遊牧民族が
家畜の草を求めて
移動する、大切な
時期である。

36

37

38

うん!?
冒頓…
なんの真似だ!!
ヒュルルル
ドスッ
うわっ!!
39
うわぁ

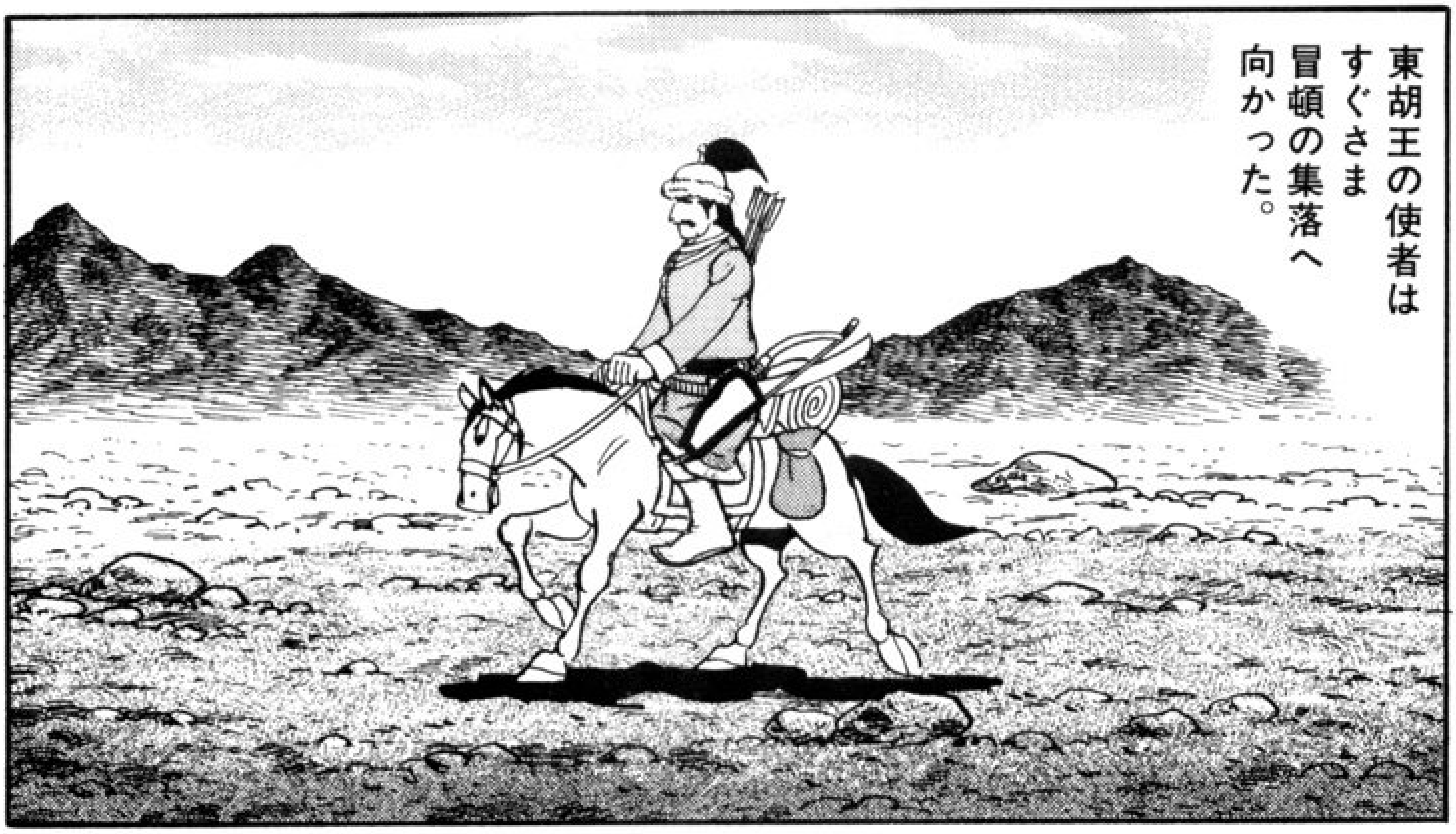
40

41

ひーっ
よいか!!
今よりわしが
単于となる!!
反対の者は
前に出よ!!
時は秦の
二世元年
(前二〇九年)の
ことであった。

東胡集落
なにっ!?息子が父を殺して単于を名乗ったと!?
はい。
ふふふ……あんな青二才に部族が束ねられるものか。
そうじゃ、頭曼は千里を走るという名馬を持っていたのう……それをよこすよう伝えよ。

43


東胡王の使者はすぐさま冒頓の集落へ向かった。

44

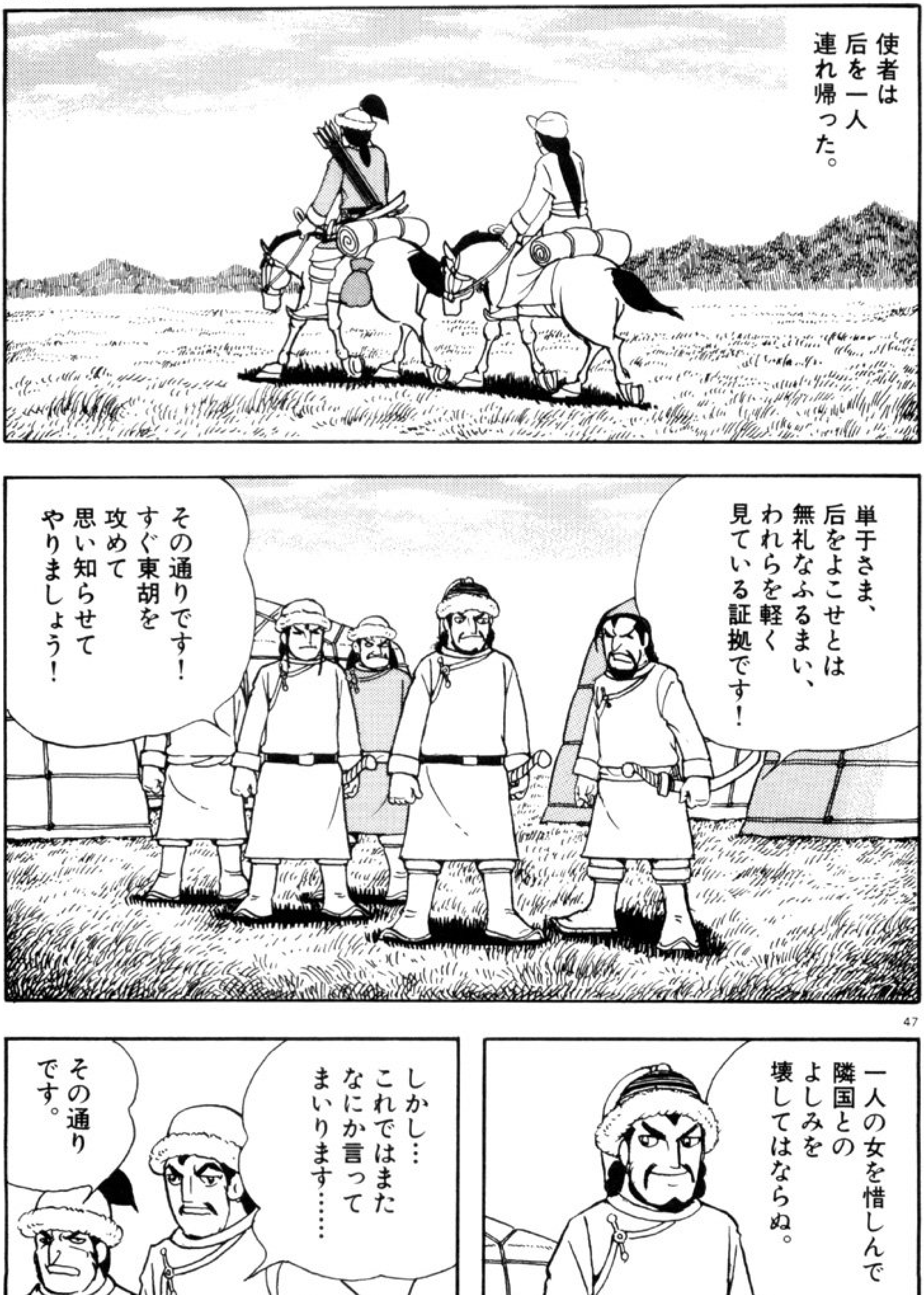
単于さま、東胡王さまが千里の馬を求めてきたと聞きますが……
その通りだ。

千里の馬は
匈奴にとっては
宝の馬です。
渡しては
なりませぬ。
その通りです。
渡しては
なりませぬ。
なぜじゃ…!?
東胡とは
隣り合わせの国だ。
一匹の馬を
惜しんで
どうするのだ。
欲しいというならば
やればよい。
こうして
千里の馬は
東胡王に与え
られた。

45

それから
しばらくしてまた、
東胡王の使者が
おとずれた。
なに!?
わしの后を
一人よこせと
申すか。
はい、
そのように
仰せつかって
まいりました。
よかろう、
后は何人もいる…
差し上げよう。
おお、
東胡王さまも
お喜びに
なります。

46


使者は后を一人連れ帰った。
単于さま、后をよこせとは無礼なふるまい、われらを軽く見ている証拠です！
その通りです！すぐ東胡を攻めて思い知らせてやりましょう！
一人の女を惜しんで隣国とのよしみを壊してはならぬ。
しかし…これではまたなにか言ってまいります……
その通りです。

47

次に東胡王が求めてきたのは、国境の土地であった。

48

冒頓の領土と東胡の領土の間に四、五百キロにわたって不毛の荒地が横たわっており、それが両国の境界線となっていた。

なにっ!? 東胡王どのは あの荒地までを 領地になさると いわれるのか。
はい、貴国にとっては 無用の土地で ござる。よって わが方が領有する ことにいたします。

49

馬一匹、女一人ならば すぐにお持ち帰り いただいたが、土地となれば お持ち帰りも できますまい。後日われらから 使者を出しましょう。
それも そうですな。

では
東胡王には
そのように
伝えまする。
みなの者、
いまの東胡王の
申し入れを
どう思う!?
あの不毛の大地は、
あってもなんの
役にも立ちませぬ。
欲しければくれて
やればよいでしょう。

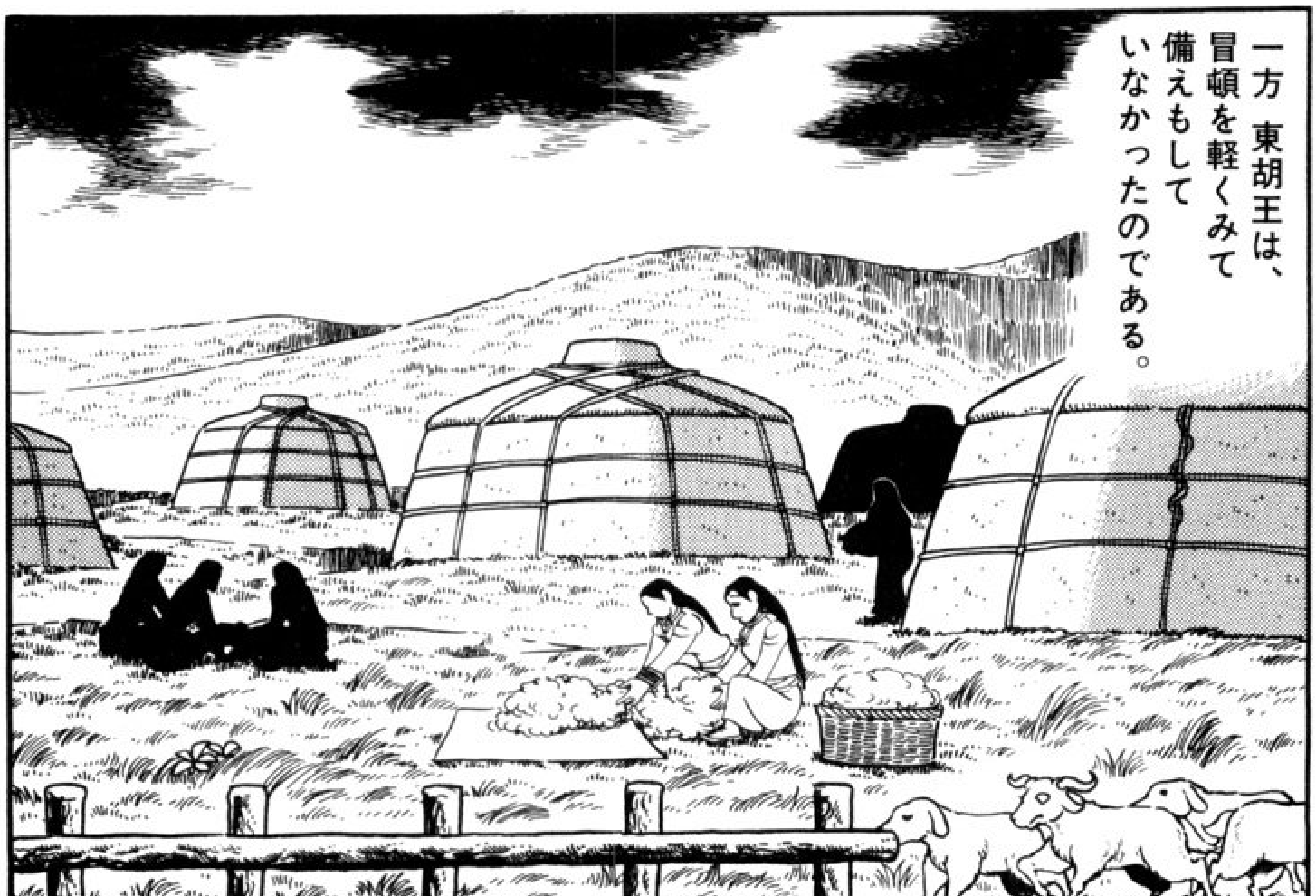
50

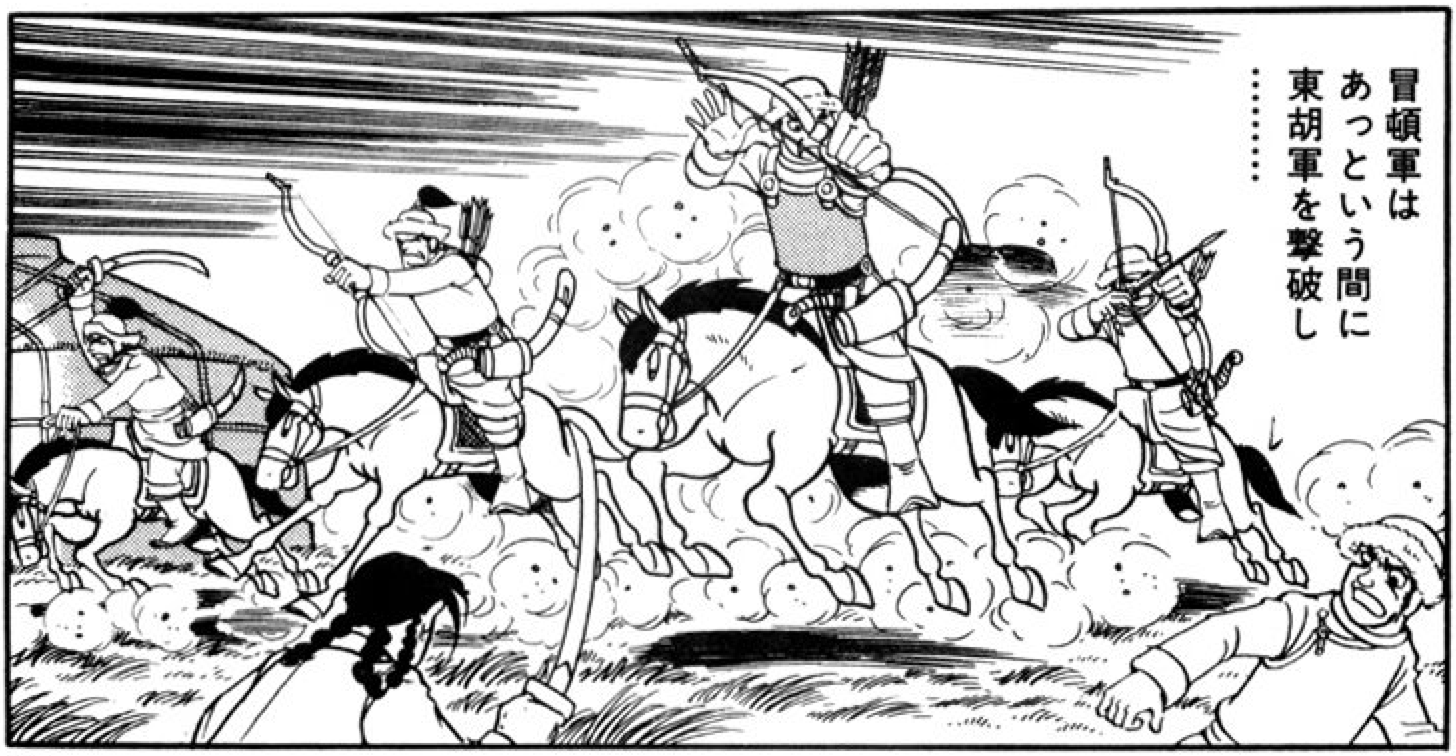
なにもそこまで東胡王の言いなりになることはない!!
しかしあそこは石だらけの荒地だ。なんの役にも立たぬぞ。
土地をくれてやってもいいと思う者は右へ、反対の者は左に移動せよ。
はあ…
51

ぐわっ!!
土地は国の根本だ!! 土地なくして領土が存在するか!!
これより東胡王を討伐する!! 遅れる者は斬る!!
東胡領内で手に入れたものは、奪った者の自由にしてよい!!

52

53





54

冒頓軍は、
東胡の女から
家畜まで
すべて奪い
つくした。

55

冒頓は
つづいて西の
月氏集落に
軍を進めた。
兵士は喜んで
参加した。

戦利品はすべて
自分のものと
なるのである……
兵士は目の色を
変えて集落に
突入していった。

56

この勢いに
月氏もたまらず
壊走した。

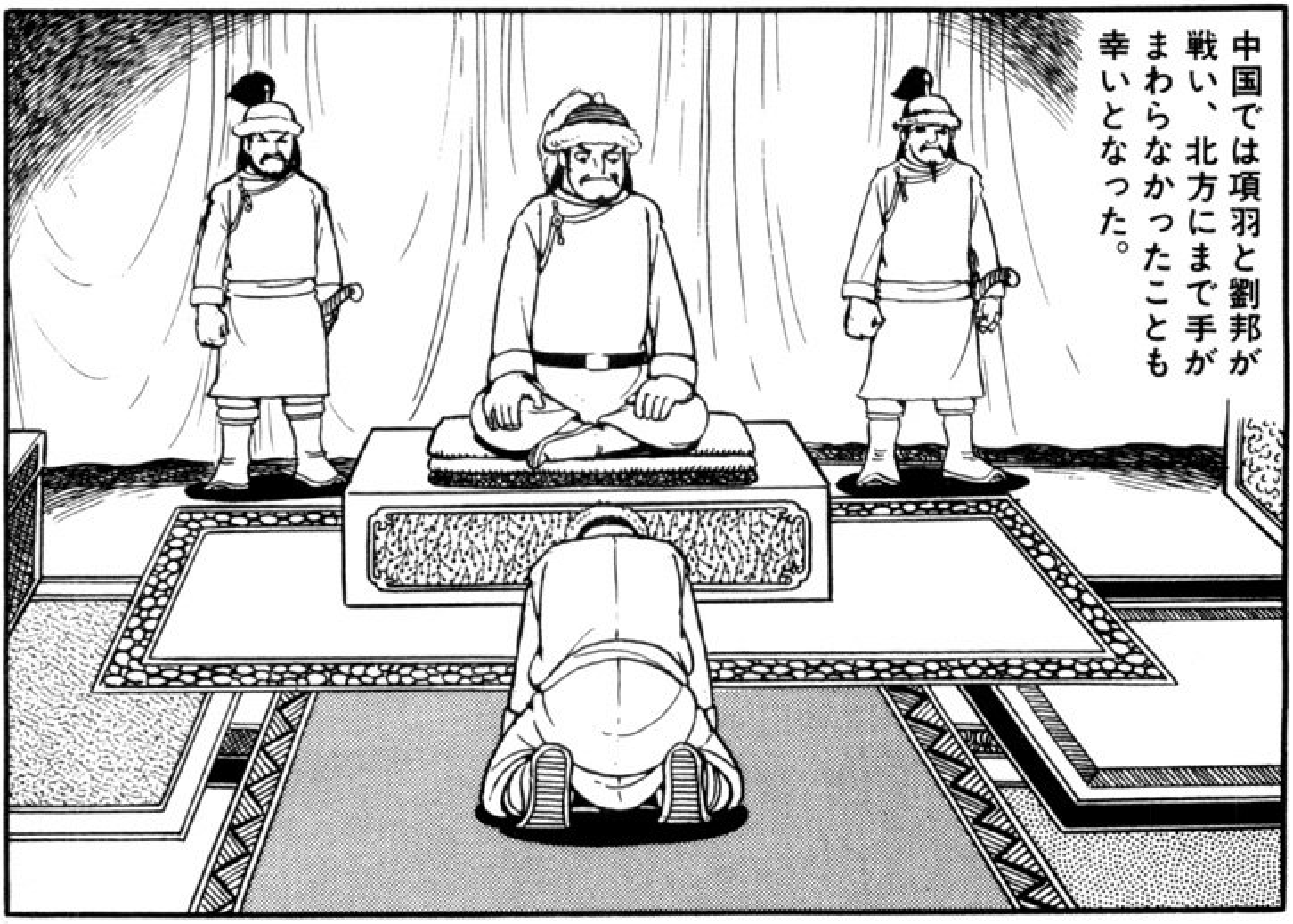
冒頓は次に南に向かい、
オルドスの楼煩(ろうはん)族と
黄河の南の白羊(はくよう)族を
支配下におき……

57

さらに北方の
渾庾(こんゆ)、屈射(くつえき)、丁霊(ていれい)などの
諸国を征服していった。

これを見て、
諸民族の王は
仰天して冒頓に
服従を誓った
のである。

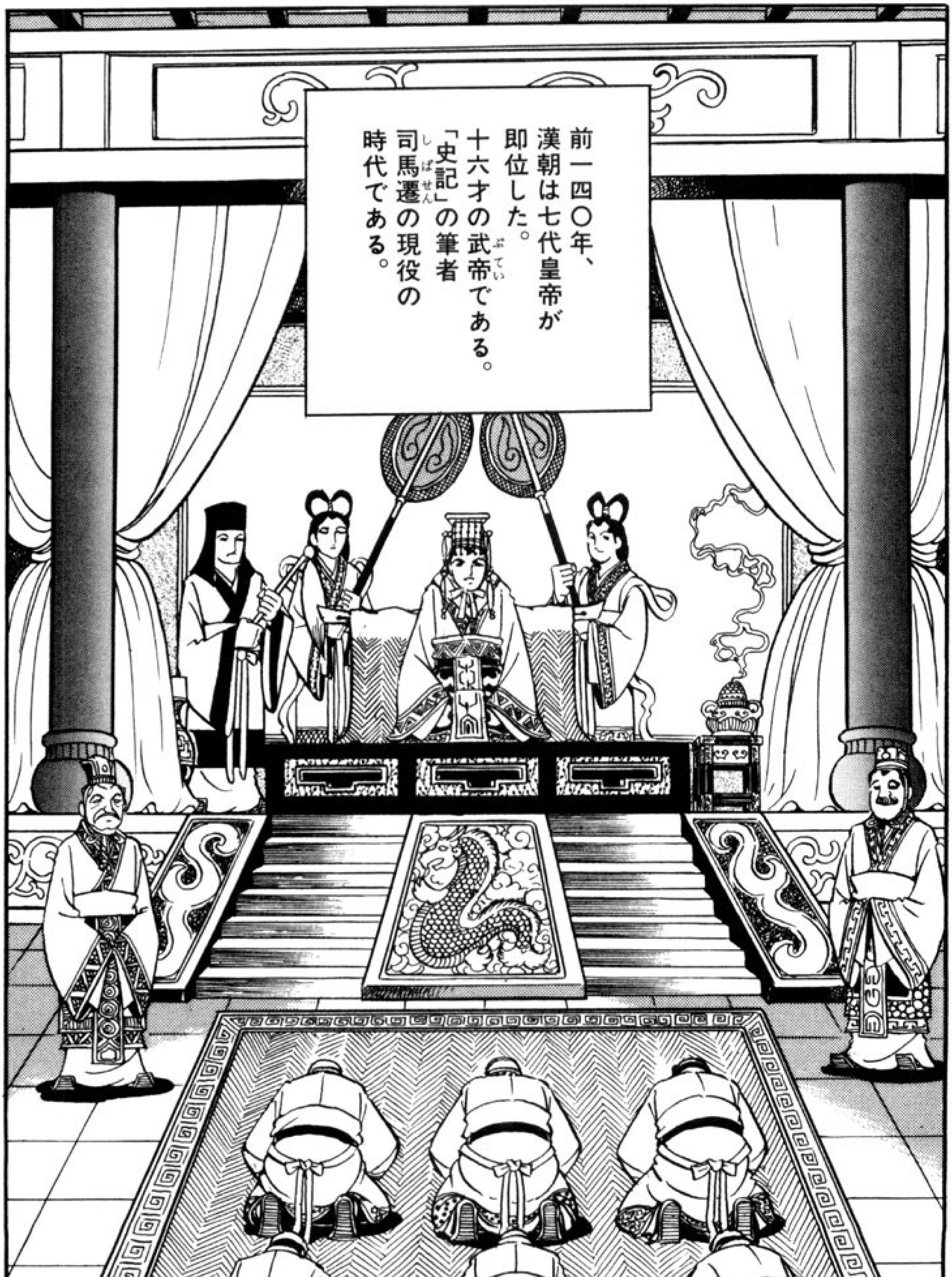
58


中国では項羽と劉邦が
戦い、北方にまで手が
まわらなかったことも
幸いとなった。

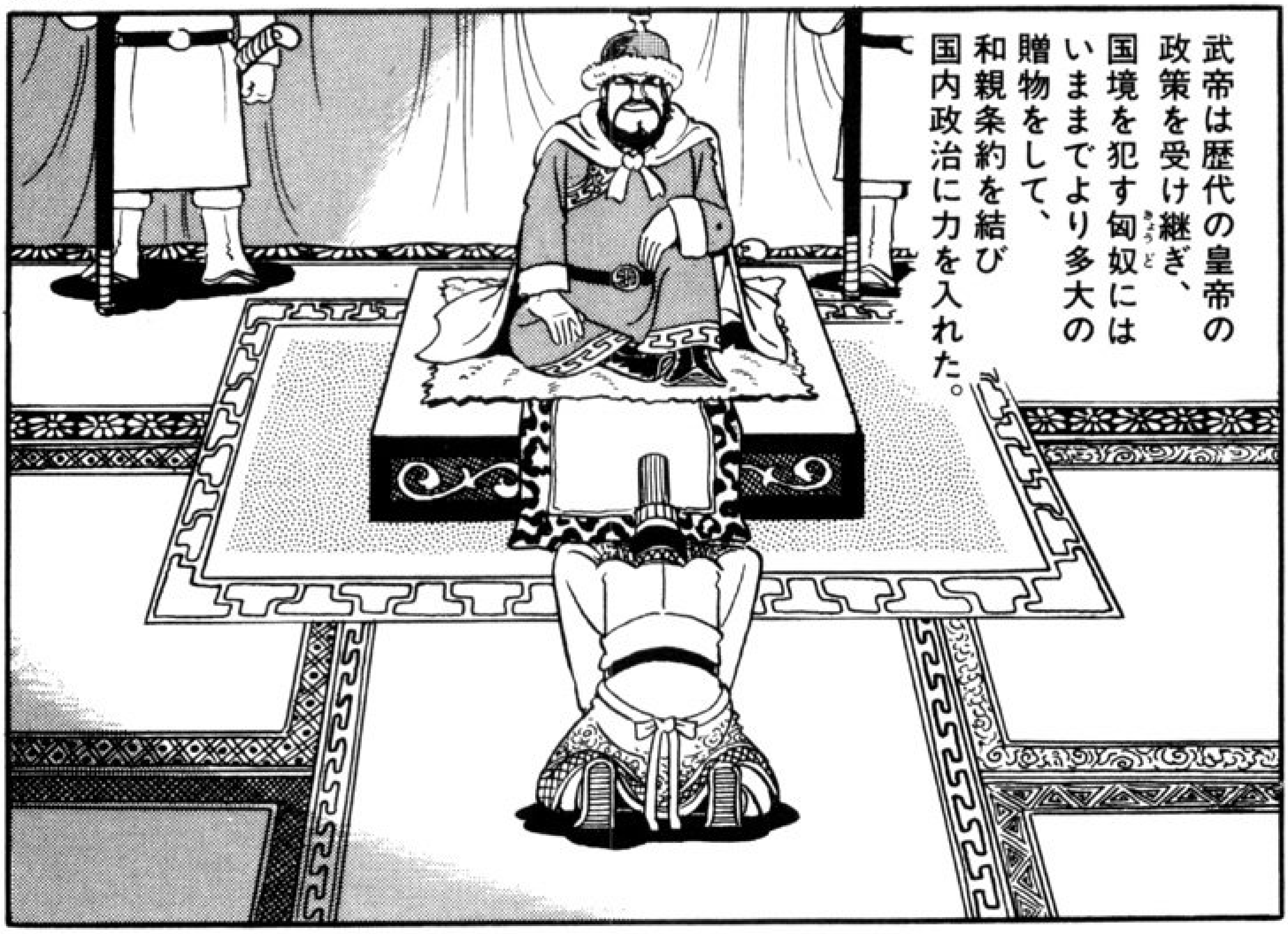
匈奴が出現して千余年……
遊牧民族は互いに争い、
分裂離散を繰り返していた。
だが冒頓は、これを一つに
まとめ、中国に匹敵する
一大国家を作りあげた。
漢は娘を冒頓に嫁がせ、
綿、絹、酒、米を納めて
和親政策をとったのである。

最終話

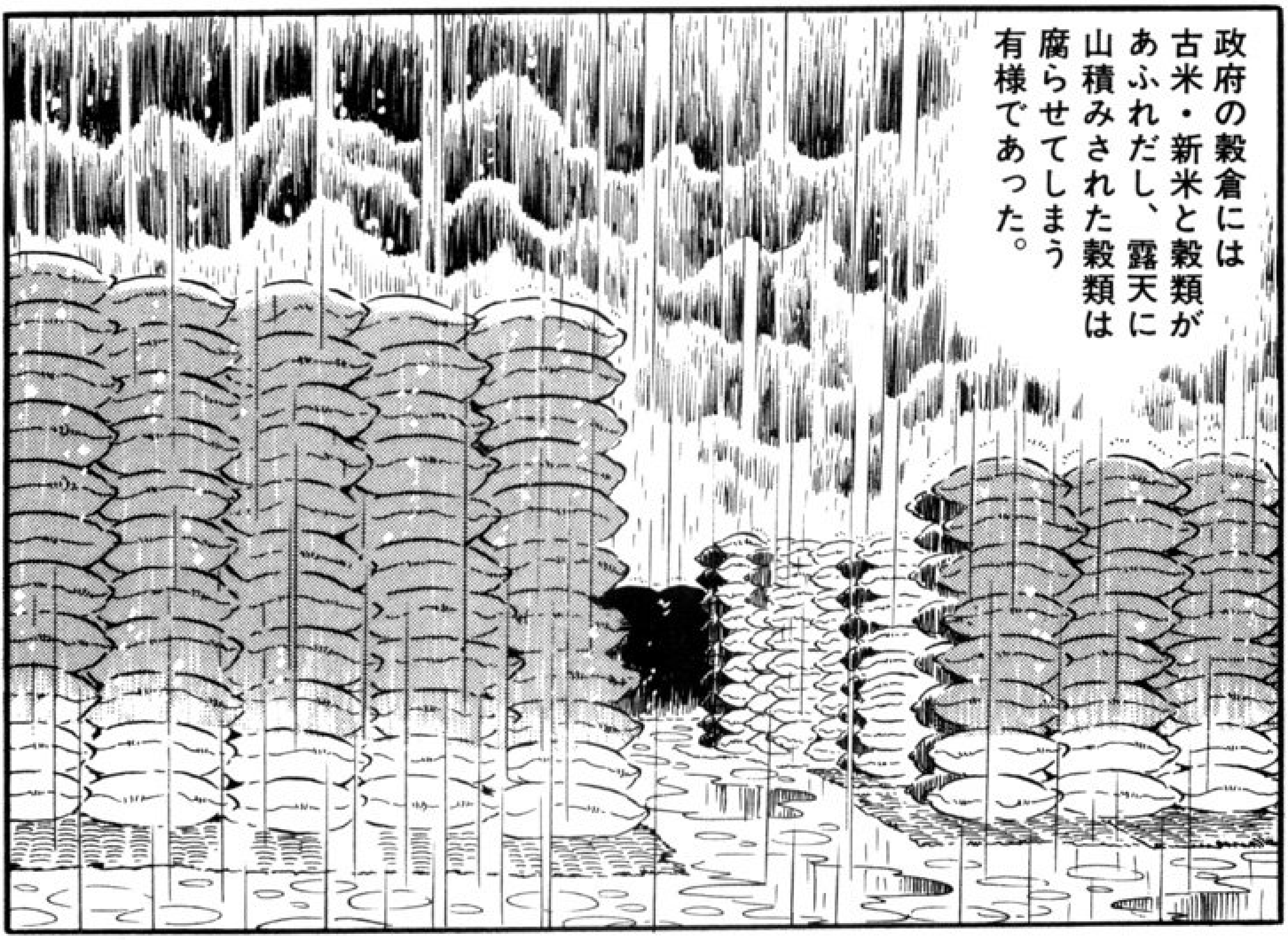
禍の男

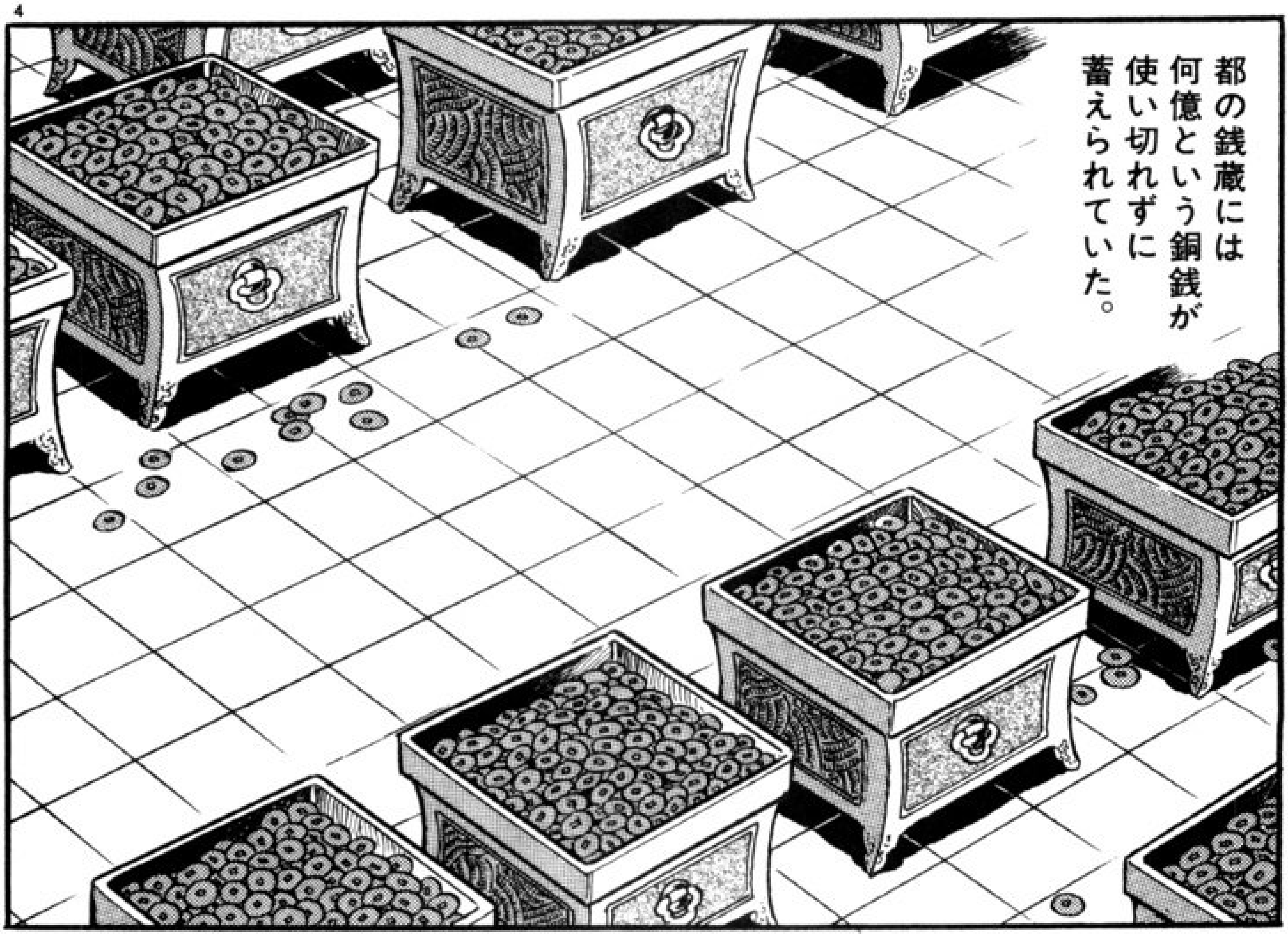


2


武帝は歴代の皇帝の
政策を受け継ぎ、
国境を犯す匈奴には
いままでより多大の
贈物をして、
和親条約を結び
国内政治に力を入れた。

干魃や洪水もなく
農業も豊作つづきで
農民達の生活も
豊かになった。


政府の穀倉には
古米・新米と穀類が
あふれだし、露天に
山積みされた穀類は
腐らせてしまう
有様であった。


都の銭蔵には
何億という銅銭が
使い切れずに
蓄えられていた。

だが漢を恨む
一人の男がいた。
元漢臣の
中行説である。
彼は
漢の禍になってやると
心に決めていた。
話は五代皇帝・文帝の時代にさかのぼる。
中行説よ、
匈奴の大単于(大王)
冒頓が死亡し、
息子の稽粥が
単于に即位し
老上単于と
名乗った。
はい。
単于が代わっても
わが漢は歴代より
匈奴とつづいている
和親政策を
続けねばならぬ。
それゆえ皇女を
一人嫁に出し、
贈物も届けねば
ならぬ。

その方、皇女のおもり役として匈奴に行ってもらいたい。
なんですと!?
匈奴といえば草原と砂漠の国…年中動物と暮らさねばなりませぬ。それがしには無理でございます。
なにっ!? これは朝廷で決まったことだ。
そこをどなたか別の人と代えてくださいませ。
そなたは学問も出来るし、宦官じゃ。姫のおもり役としては最適なのじゃ。
なんといわれましてもいやでございます。

愚か者！
そなたはこの
役目の重要性が
わからんのか！
よいか！
わが国は呂氏を
誅滅したとはいえ
天下にはまだまだ
不平分子も多い！
今は国内安定に
力を入れるべき時で
北方の民族と争いを
起こすわけには
いかんのだ！
それがわからぬのか！
それはよく
わかっておりますが…
それがしでなくて
別の人を…！
そなたが
最適と思うから
選ばれたのだ！
これは国の
重要政策であり
勅命である！
勅命にさからえば
死罪である！
そなたは死罪を
望むと申すか！

死罪は望みませぬ。
ならば勅命に従え！
皇女は吉日を選んで出発される。そなたも準備をいたせ。
は、はい。
8
しかし中行説は匈奴へ行くことがいやでいやでたまらなかった。
……

わしは小さい時より学問に励み宦官にまでなったのは、帝のお側でお仕えし偉くなりたかったからだ。それが家畜の国へ行けとは……
学問に励み宦官にまでなったのは、けものの肉を食らい砂漠に暮らすためではない。朝廷はわしの夢をすべて奪った。
よし、それならばこちらにも考えがある。わしの手で和親政策など壊してやる。

9

皇女の出発の日がやってきた。
中行説どの、達者でな。
匈奴の冬は酷寒なそうだ。体に気をつけなされ。
便りの一つもよこしてくれ。
便りは出さぬ。

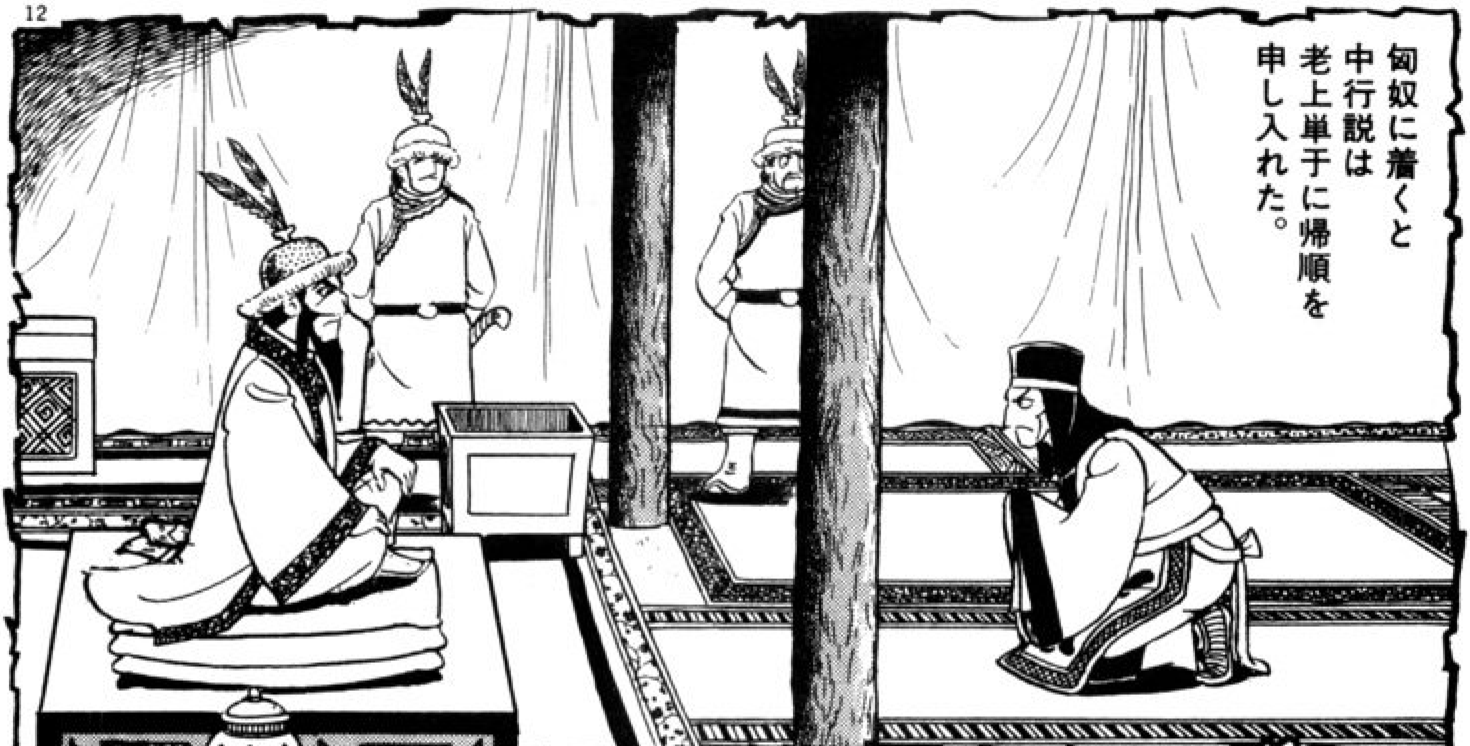
10

?
わしはいやいや行かされるのだ。わしは漢にとって禍の男となる。朝廷もわしを匈奴に送ったことを後悔するであろう。

11

中行説は「漢にとって禍の男になる」と知人に言い残して匈奴へ向かった。

12



漢臣をやめ
わしに仕えたいと
申すか。
これからはわが生涯は
この大地です。
ならば
単于さまのために
忠義を尽くしたいと
思います。
よい心掛けだ。
よし、帰順を
みとめよう。
ははーっ。
中行説は学識をもって
単于に取り入り、
数か月で単于の側近に
おさまった。

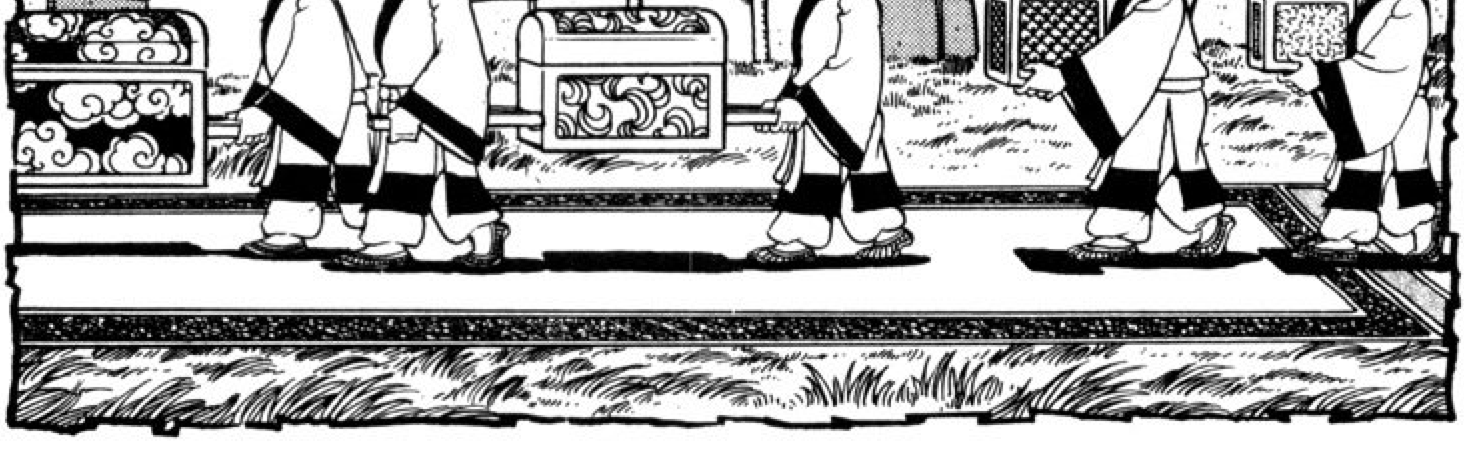
単于さま、匈奴の人口は漢の一部にもおよびませぬ。それでいて漢に匹敵する強さを誇っております。
うむ。
匈奴が強いのは、衣食の習慣が違い漢の援助をあおぐ必要がなかったからです。
ところが今は匈奴本来の習慣を捨てて、漢の物産を好んで使われております。これは危険な傾向でございます。
ほう？

このまま漢が贈物を二割も増やせば、各種族は漢に帰順してしまいましょう。
兵士に漢の絹や綿を着せて、いばらの中を走らせるのです。絹や綿はたちまち破れ、毛皮の衣服がいかにすぐれたものかわかりましょう。
そして単于さまも漢の食物は捨て、匈奴の乳製品がいかに便利で美味かをお示しくださいませ。そうすれば強い匈奴は健在でございます。
なるほど…
だが匈奴は貧しく、父の代までは部族間で略奪し合いながら暮らしをたてていた。漢の贈物は匈奴にとっては必要である。
ならば漢から奪えばよろしゅうございます。

15

なにっ!?
漢とは和親条約を結んでいるのだ。
いま漢は帝位継承問題や国内問題に力をそそぎ、北方の民族にまで手がまわりませぬ。漢に攻め入れば欲しい物はなんでも手に入ります。
ふむう。
その件はよく考えてみよう。

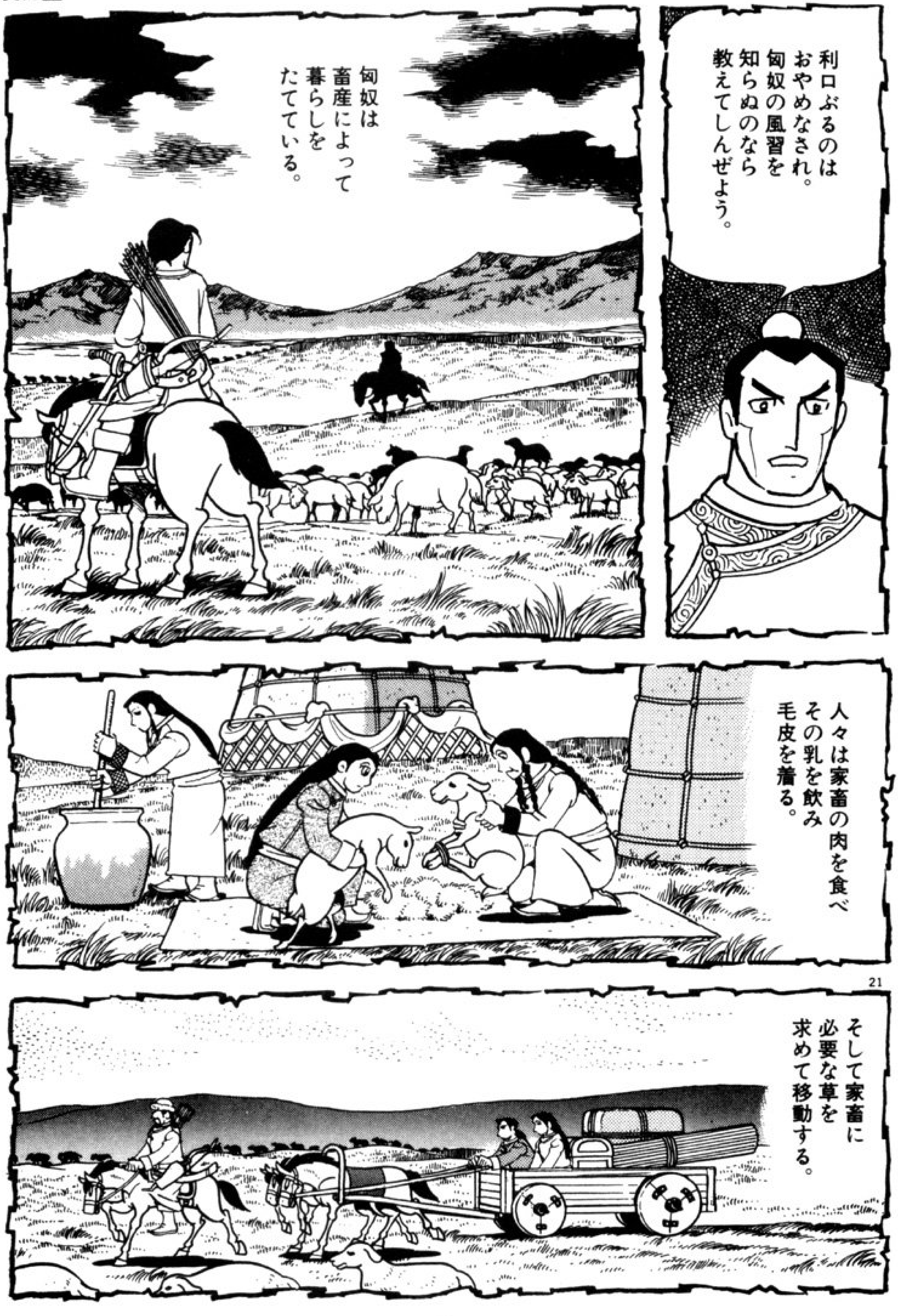
17



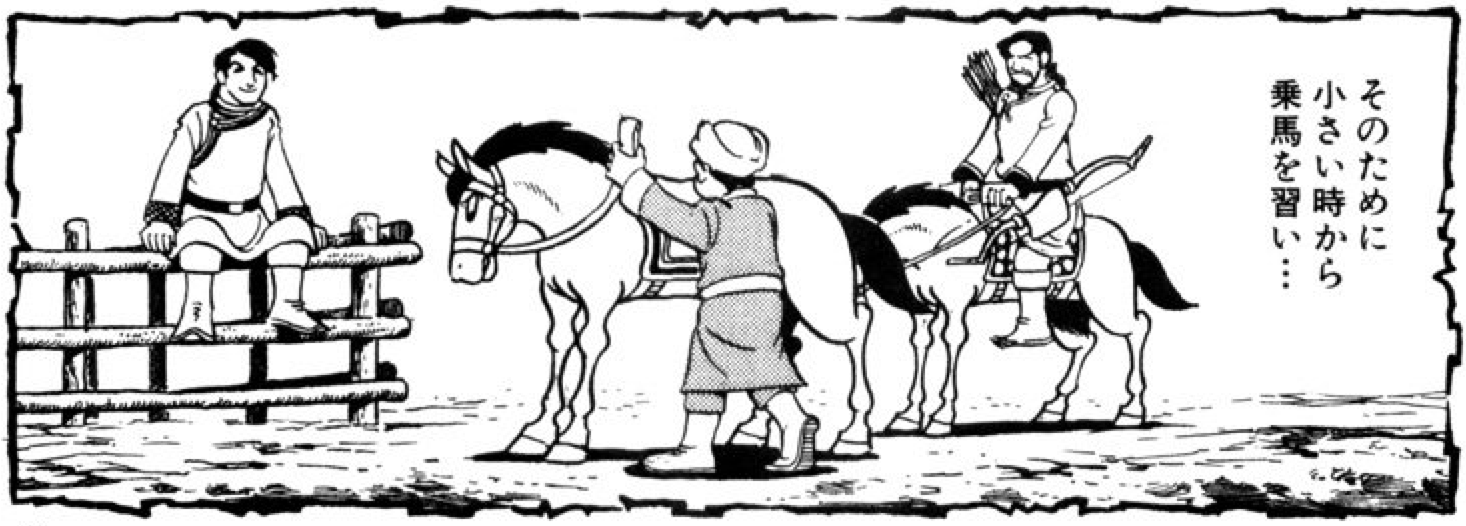
18

どうぞ。
これは
馬の乳で作った
匈奴の酒と
肉料理でござる。
飲み慣れると
なかなかの
ものでござる。
はあ。
それがしは匈奴へ
何度となく
参っておりますが、
匈奴は老人を
いやしむ風習が
ございますな。
ジロリ
19

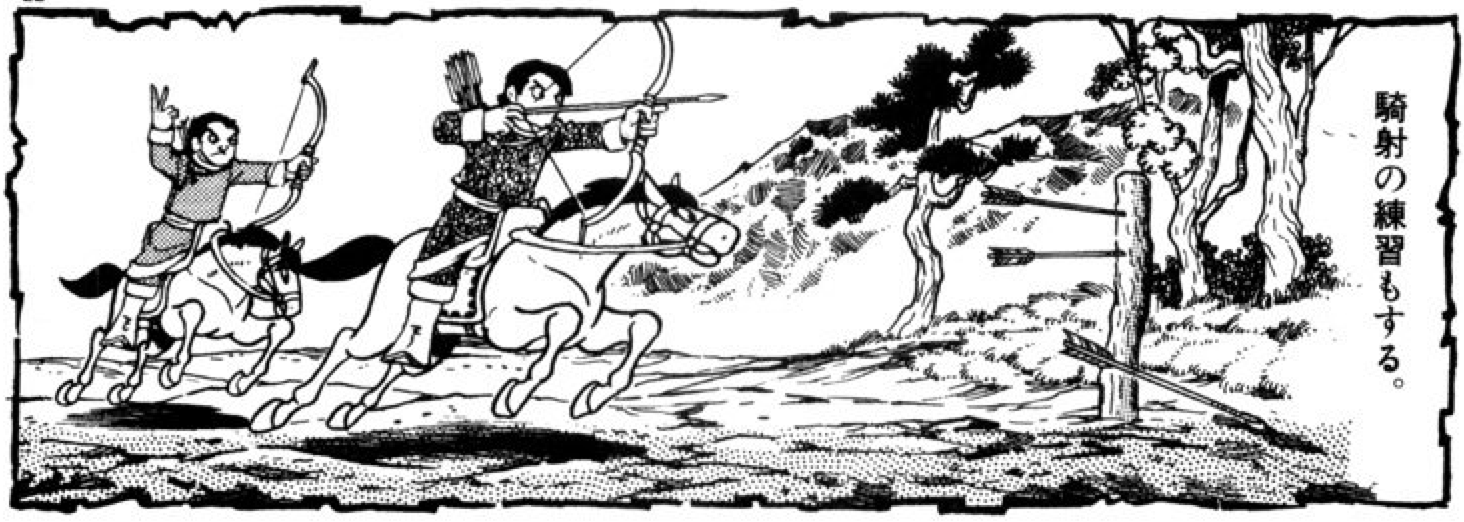
それでは漢は若者が辺境の守備に出る時、年老いた親が自分は粗末なものを着ても、息子には温かい衣服を与えたりうまいものを食わせたりしないのですか？
いや それは人の親として当然いたしましょう。
ならば匈奴が老人をいやしむ風習があるとどうして言えるのでござる？
匈奴は草を求めて移動するため他の遊牧民との抗争は宿命のようなもの。戦いなくして暮らしていけぬのです。
年老いて戦いに出られなくなった老人がうまいものを若者に譲るのは自分の身を守るためでもある。そして親子ともどもが末長く暮らしていけるのです。
しかし匈奴は親子が一つの包(パオ)に寝起きして父が死ぬと子が継母を妻としたり、兄弟が死ぬと残った兄弟が未亡人を自分の妻にしたりする。また、朝廷での礼儀もござらぬ。


利口ぶるのは
おやめなされ。
匈奴の風習を
知らぬのなら
教えてしんぜよう。
匈奴は
畜産によって
暮らしを
たてている。
人々は家畜の肉を食べ
その乳を飲み
毛皮を着る。
そして家畜に
必要な草を
求めて移動する。

21

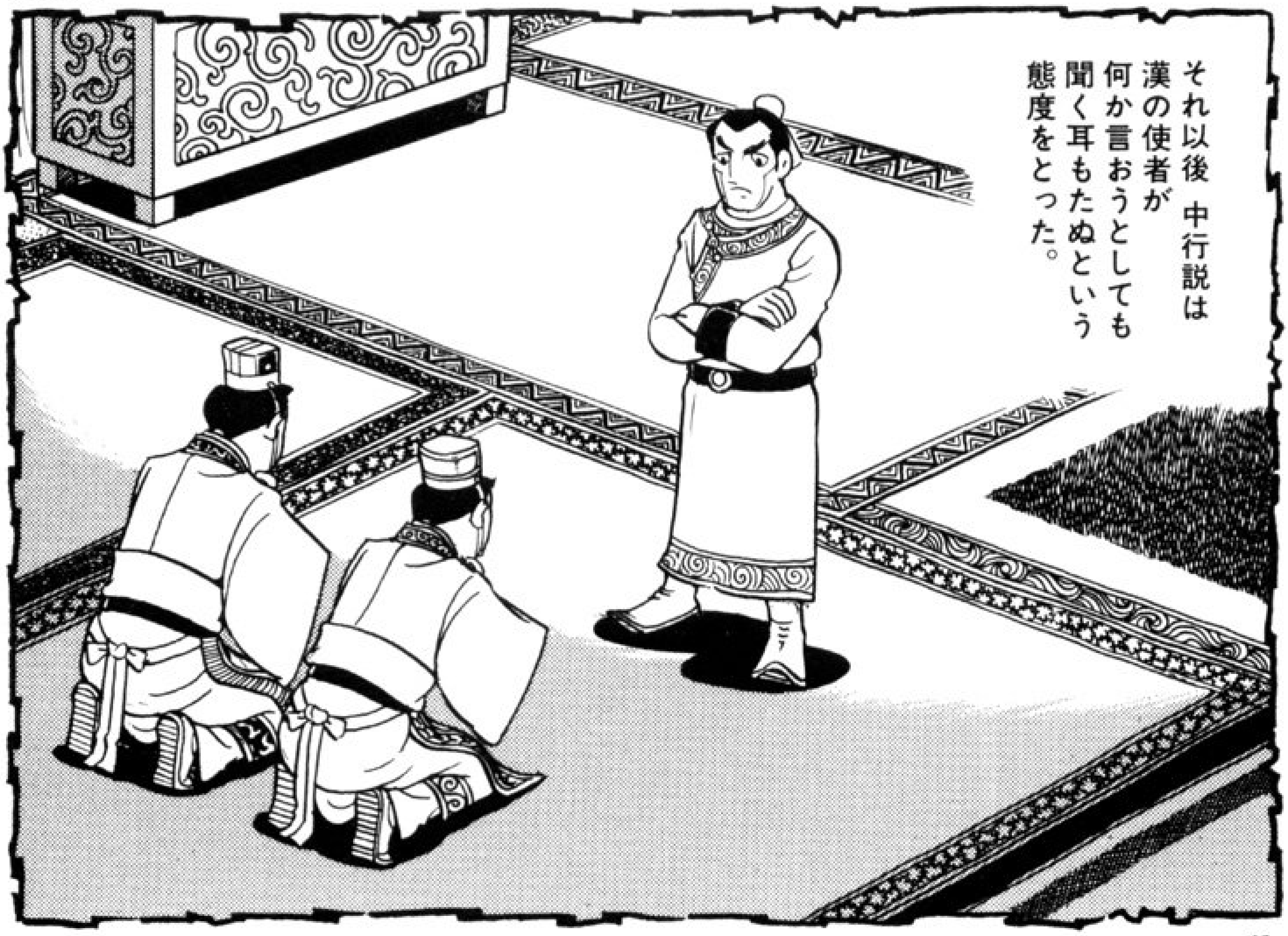


22

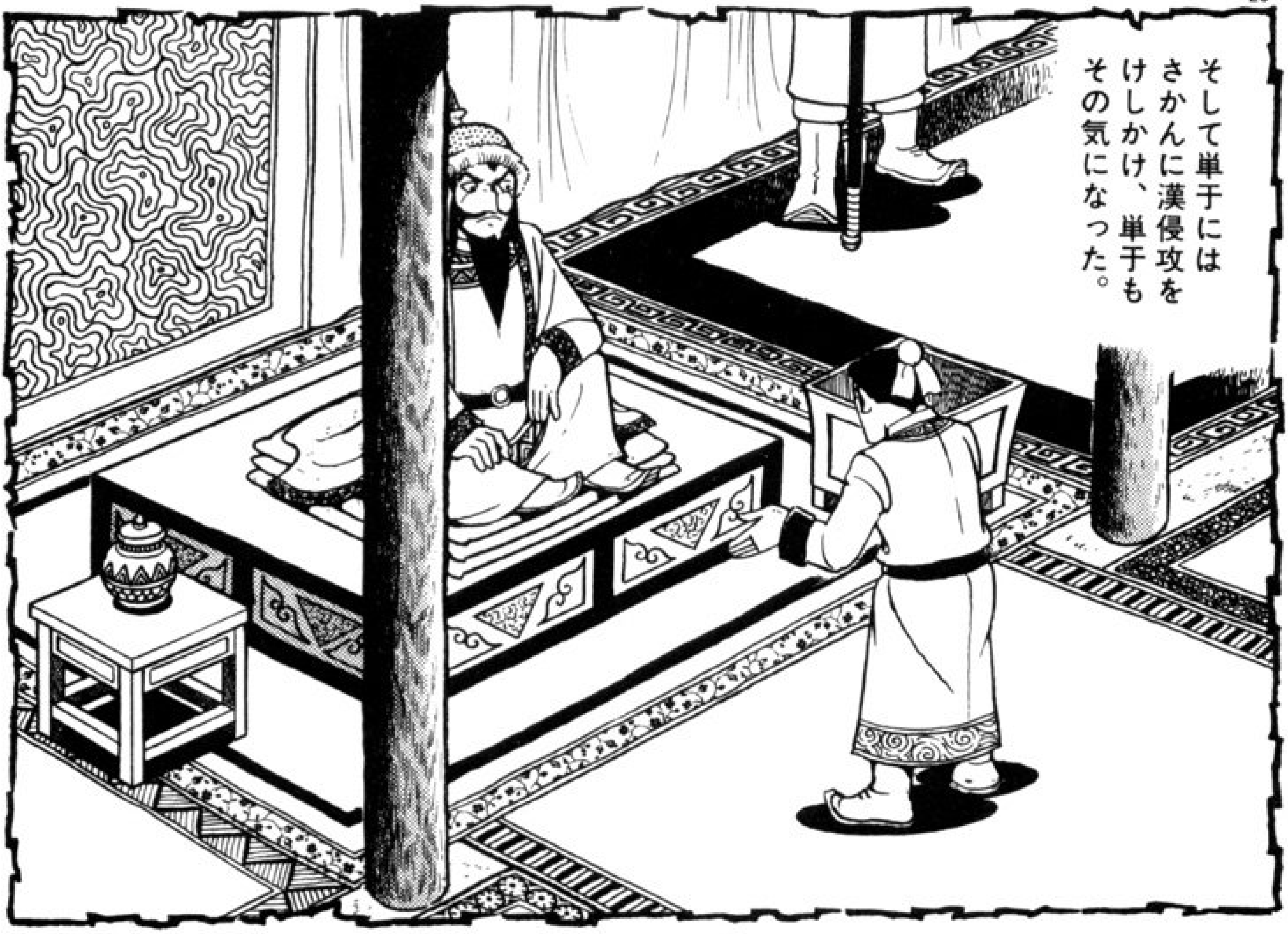


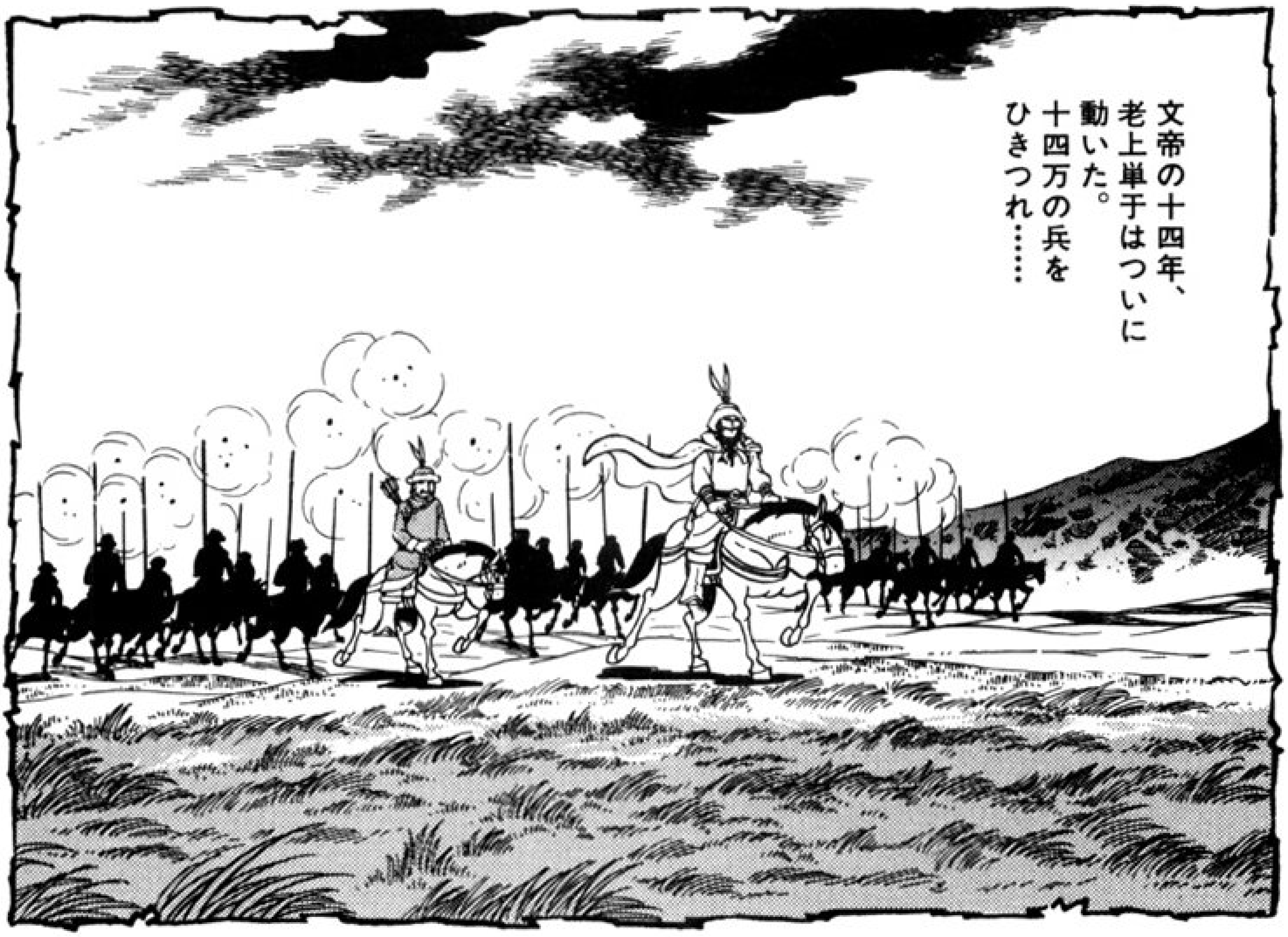
法律も簡単で
君臣関係も単純だ。
だから一国が
自分の手足のごとく
動きやすくなる。
父子兄弟が死ぬと
残った者が未亡人を
妻にするのは、
家系種族の絶滅を
防ぐためだ。
一見みると
乱れているようだが、
これが血統を絶やさずに
存続させているのだ。
たしかに中国は
継母や兄弟の妻を
おおやけに娶ったりは
しない。
だが歴史を見ると
そのために
争いが起こっている。
同族同士が疎遠になり、
長い年月のあと
争うようになる。
なかには異姓を
名乗る者まで出ている
………
そなたは匈奴に
礼儀がないというが、
漢では礼儀の弊害
ばかりが現れている。
都では上下が恨み合い
ねたみ合い、生計も
考えずに家の豪華さ
ばかりを競い合う。

衣食を農耕・養蚕にたより、自衛するのは城壁にたよる。そのためいざという時人民は満足に戦いもできぬ。平和な時には生産に追われ生活にゆとりもない。
使者よ、自国の実情がわかったなら他国のことに余計な口出しをなされるな。
24
それよりも良質の絹・綿・米などを約束通り納めることに気を使われよ。約束を破ればわれらは漢に攻め入るまででござる。
………


それ以後 中行説は
漢の使者が
何か言おうとしても
聞く耳もたぬという
態度をとった。

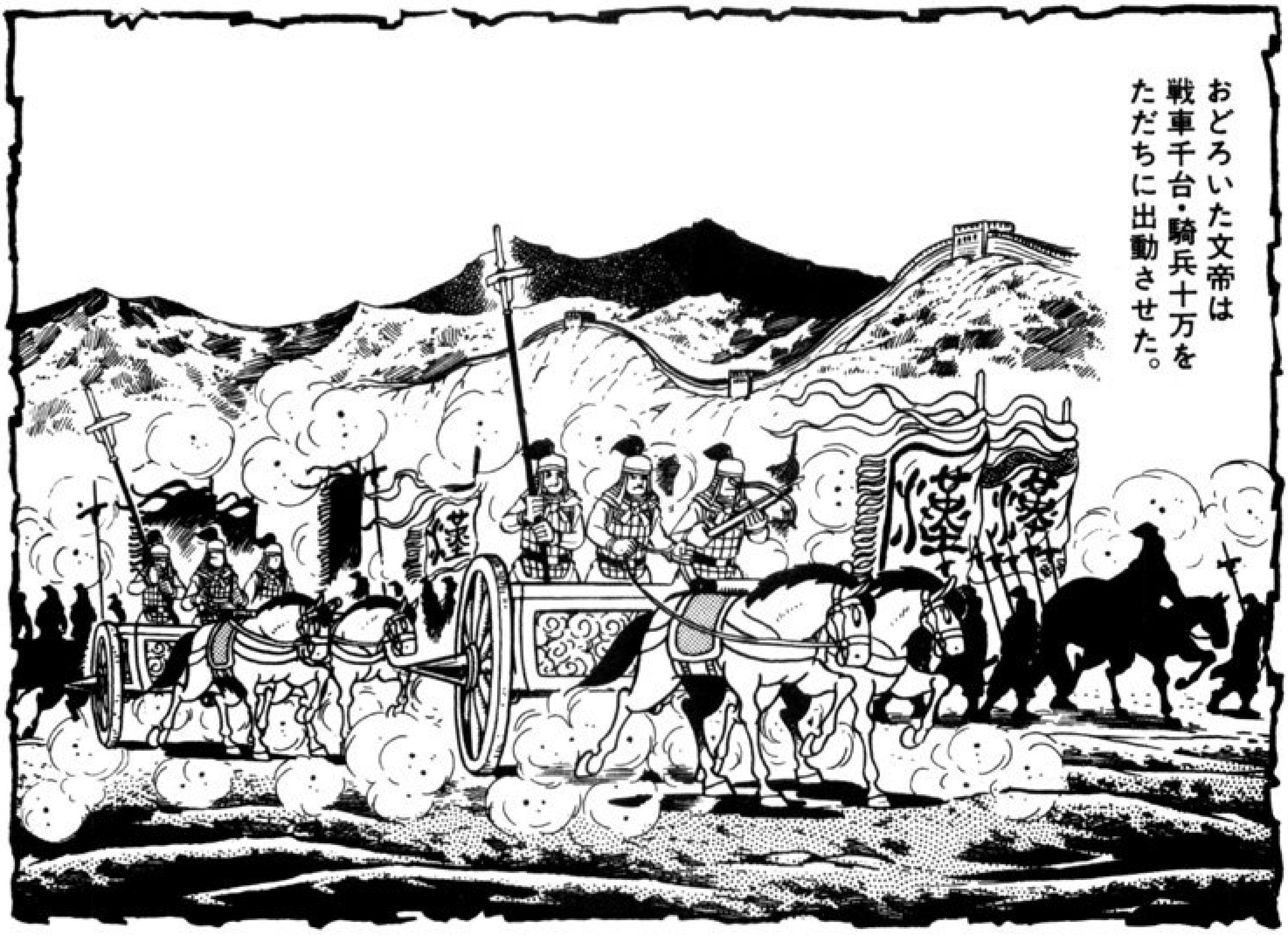
25


そして単于には
さかんに漢侵攻を
けしかけ、単于も
その気になった。

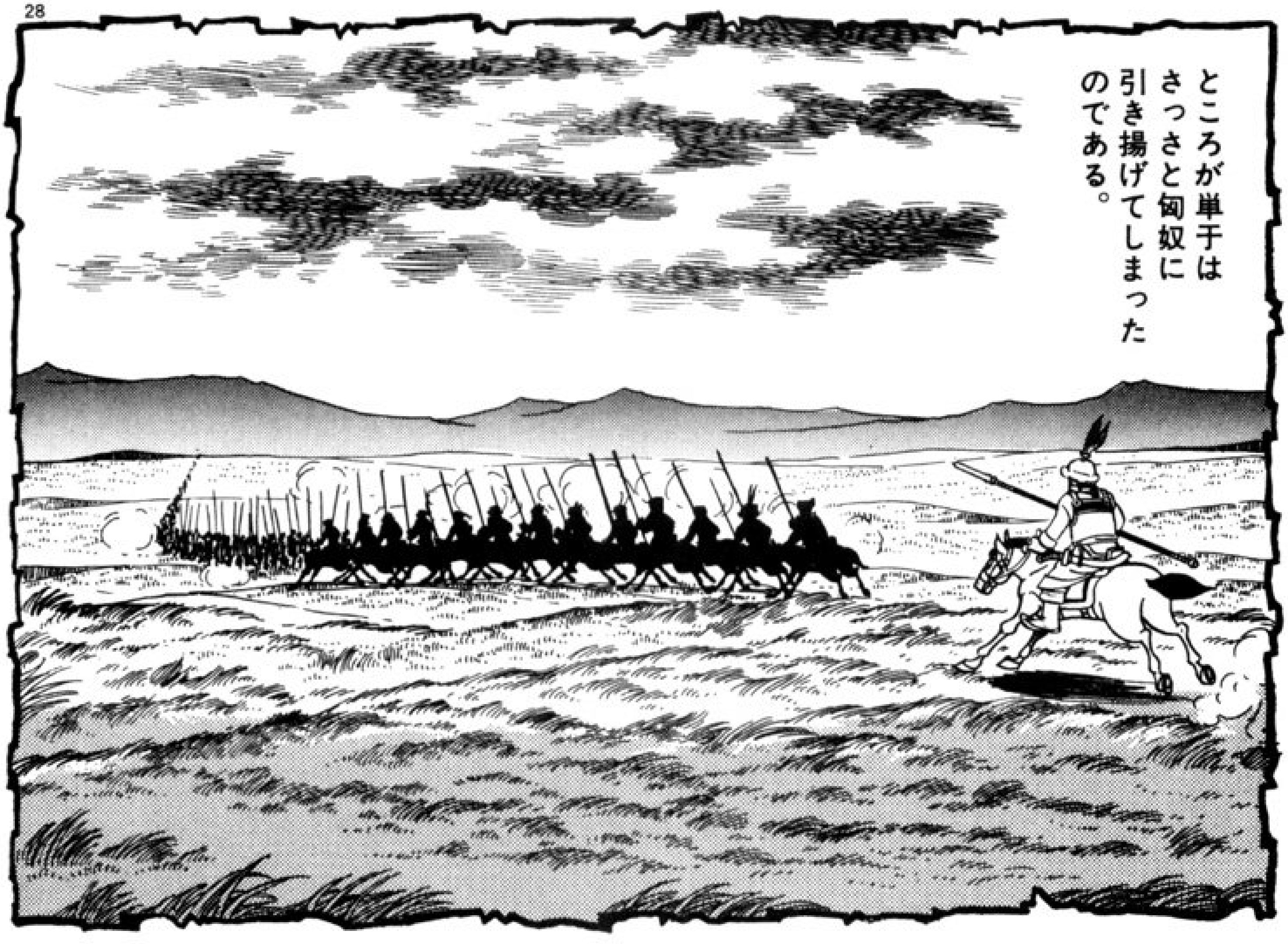


26

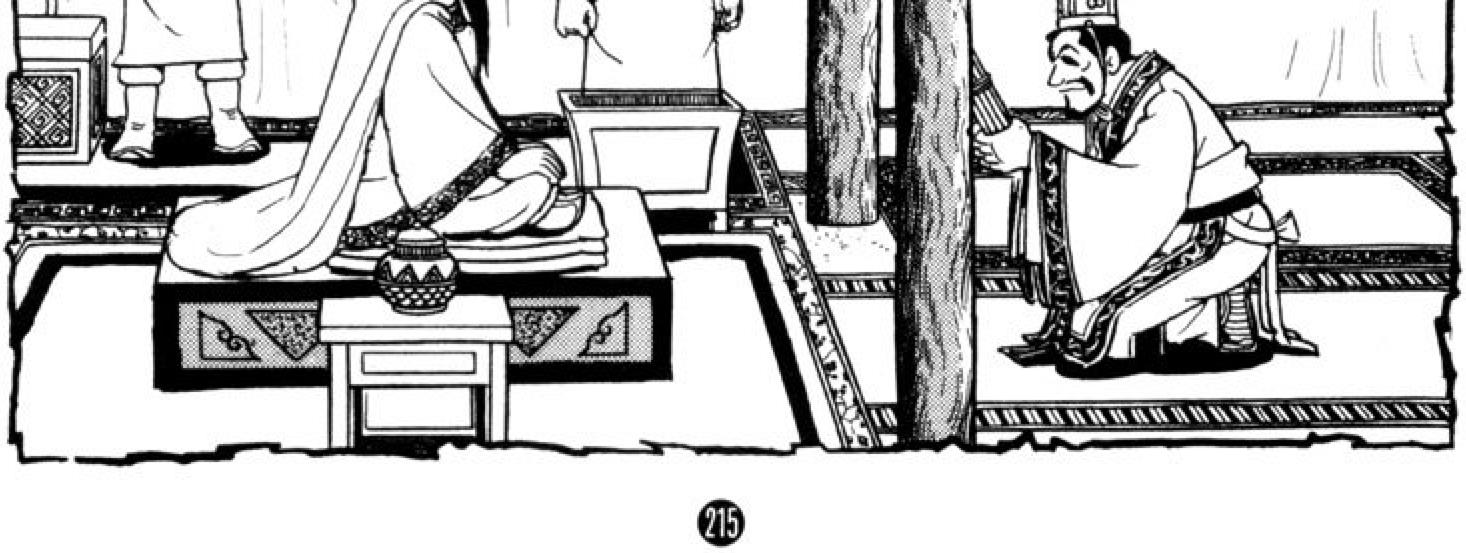
27


おどろいた文帝は
戦車千台・騎兵十万を
ただちに出動させた。

28


ところが単于は
さっさと匈奴に
引き揚げてしまった
のである。

29

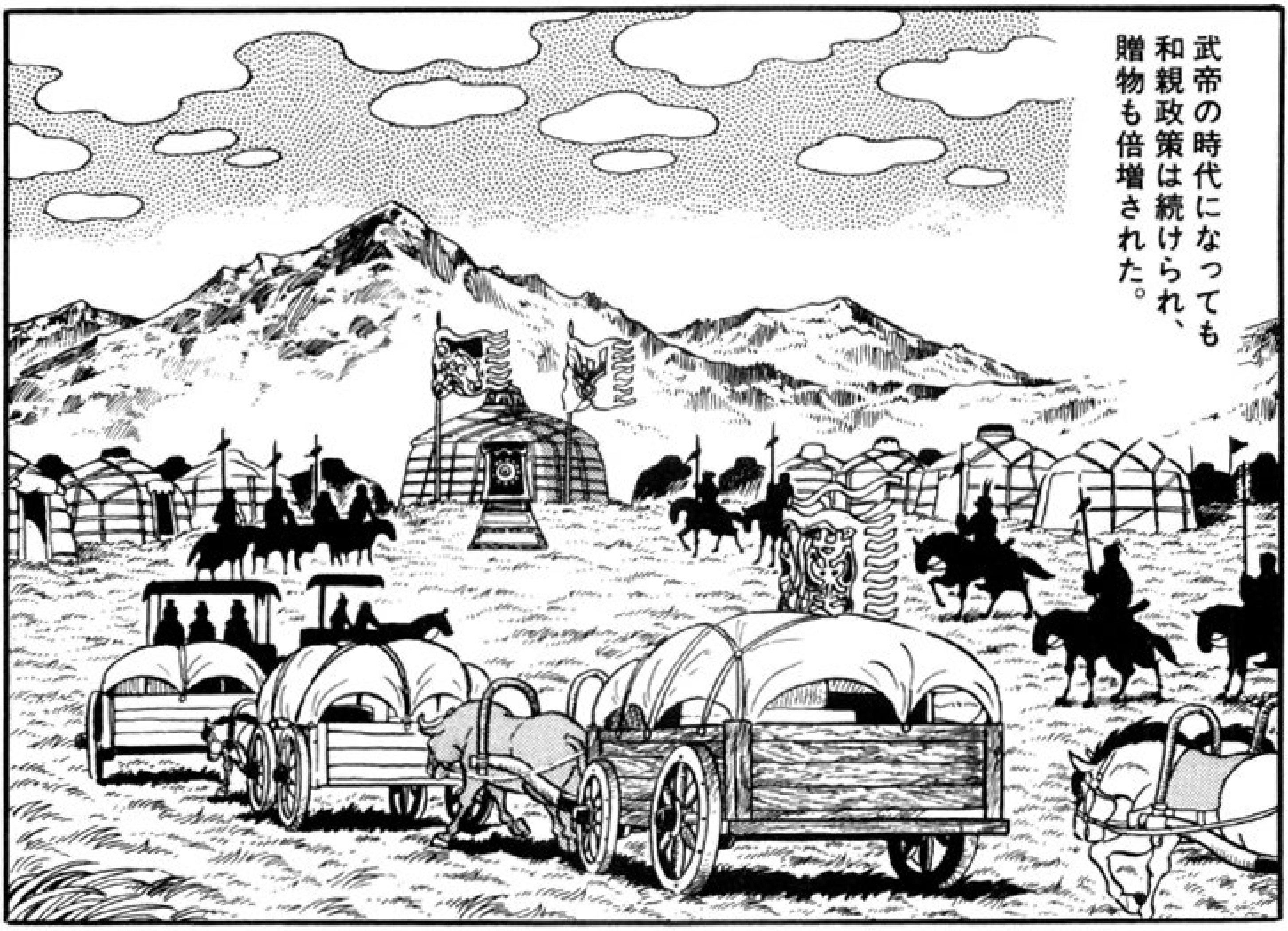


だが匈奴は
それを一方的に破り
漢領を侵犯し
略奪を繰り返した。
漢を甘く見て
しまったのである。

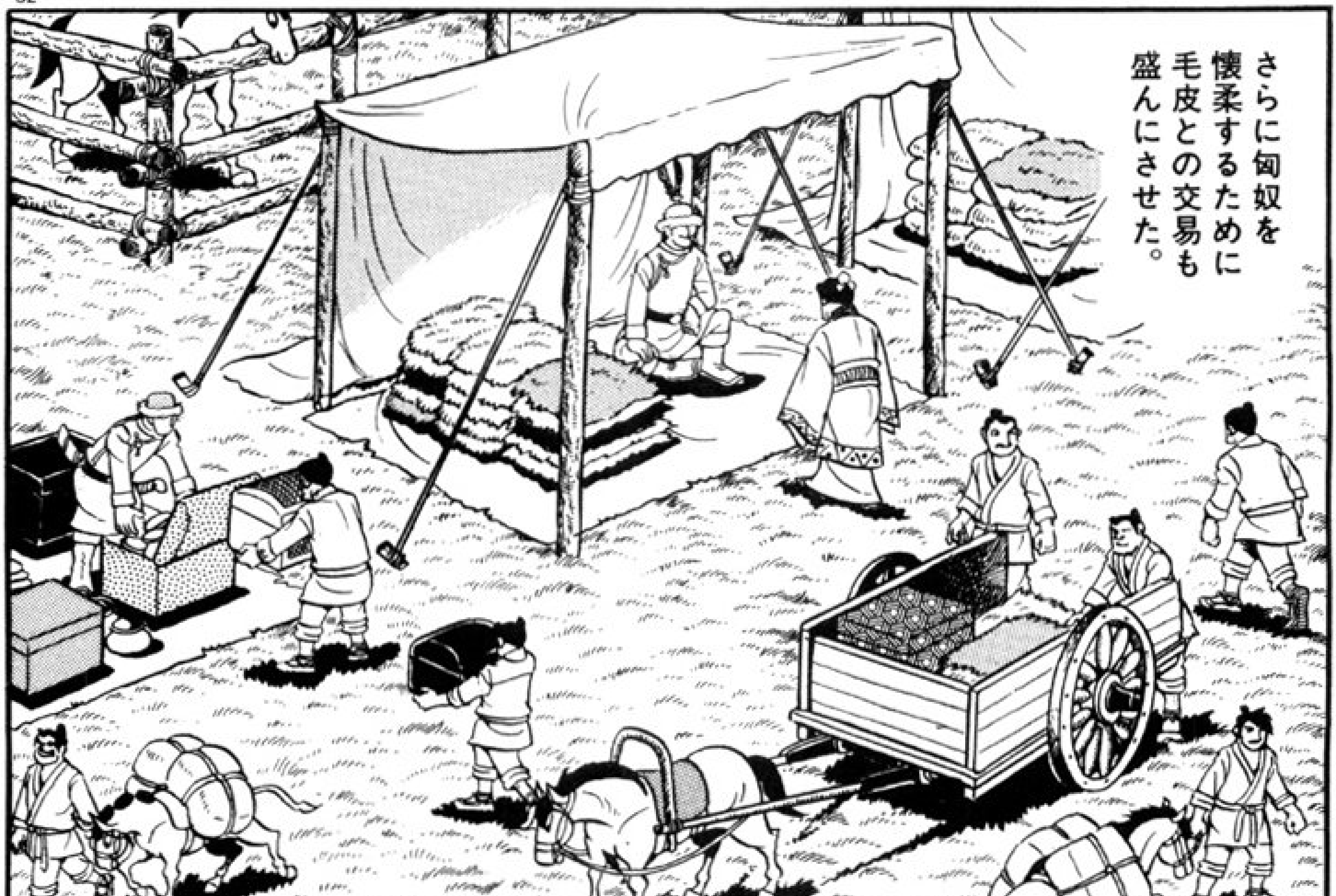
30

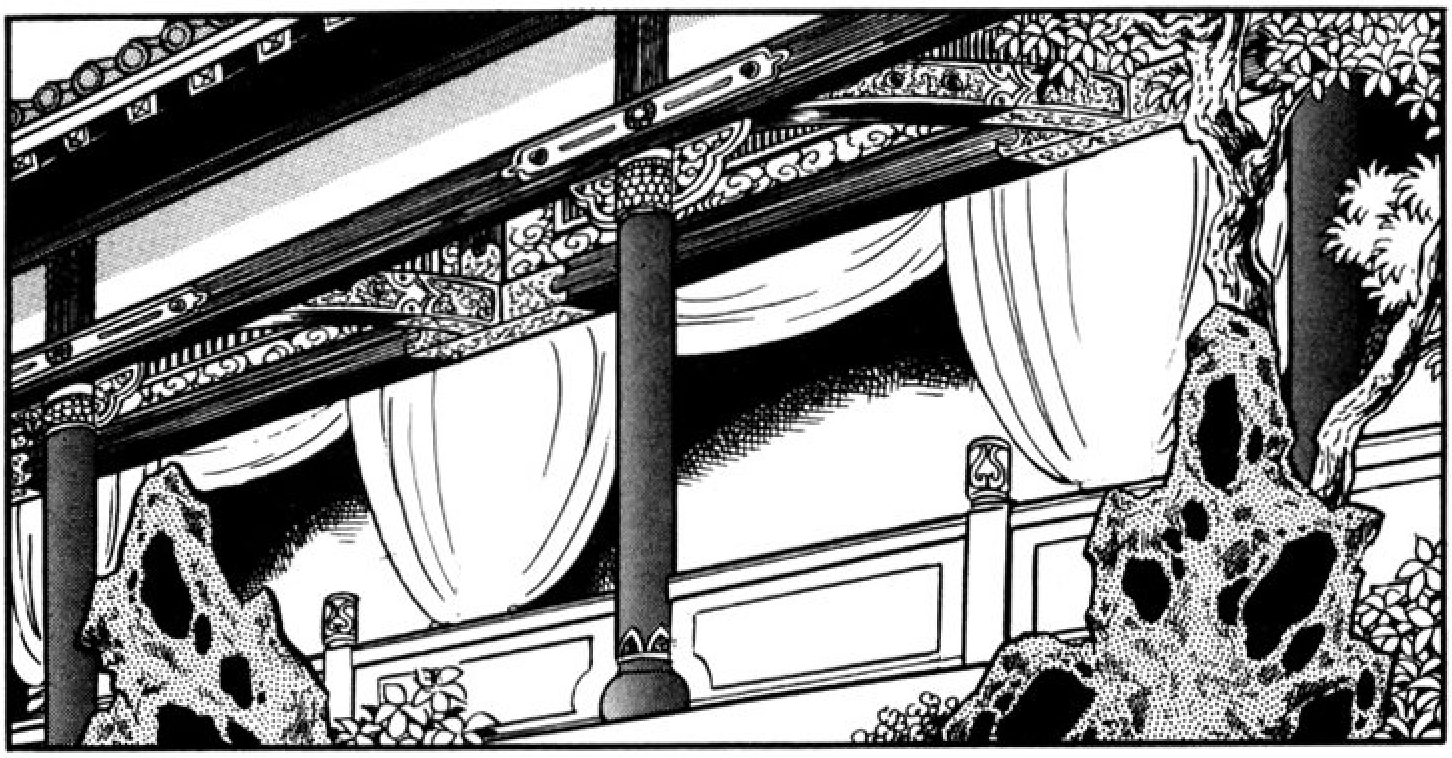
中行説は
漢の禍になると言って
匈奴へ出発したが、
その目的は
十分に果たしたので
あった。

31


武帝の時代になっても
和親政策は続けられ、
贈物も倍増された。

32


さらに匈奴を
懐柔するために
毛皮との交易も
盛んにさせた。

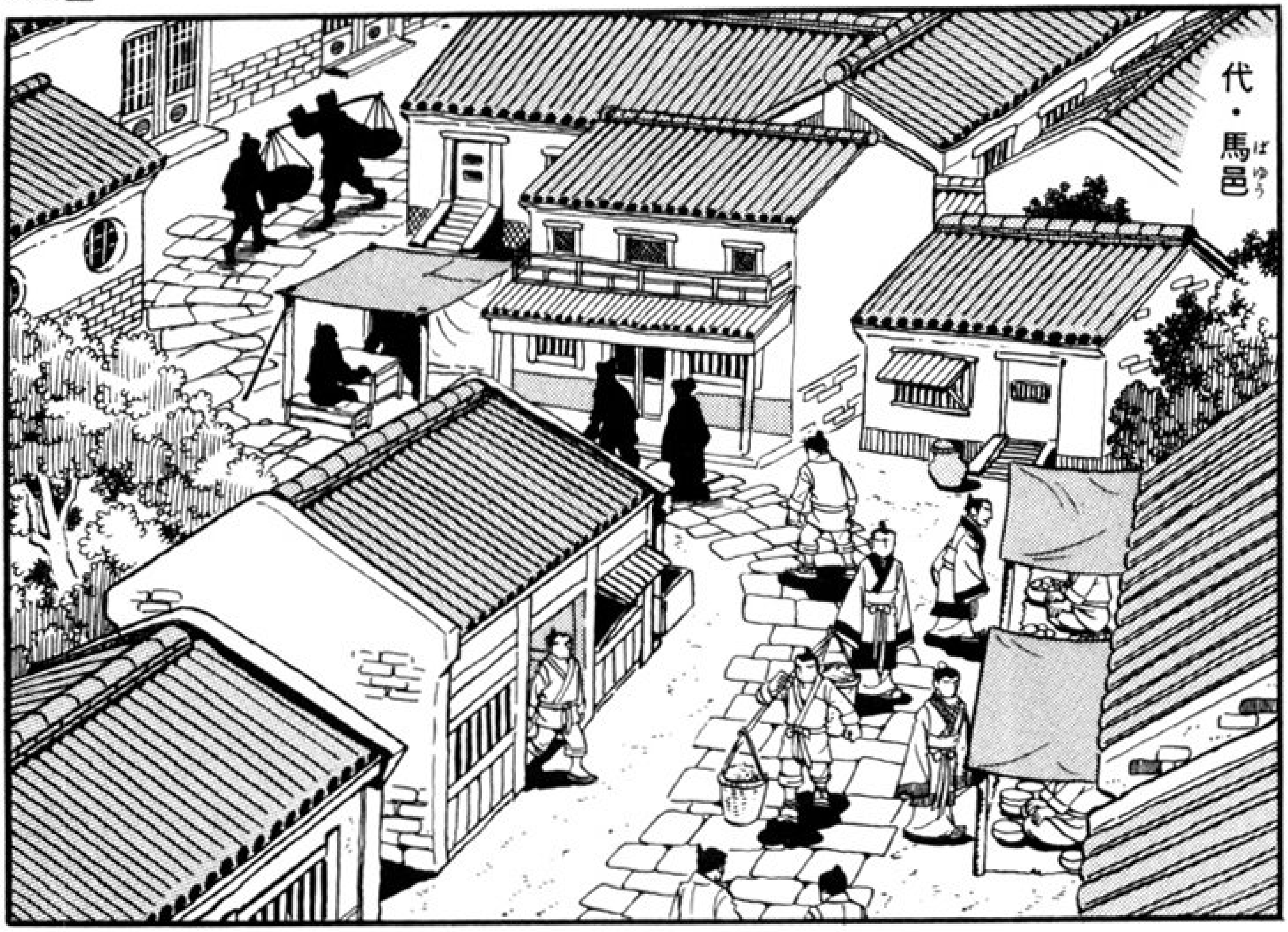


33

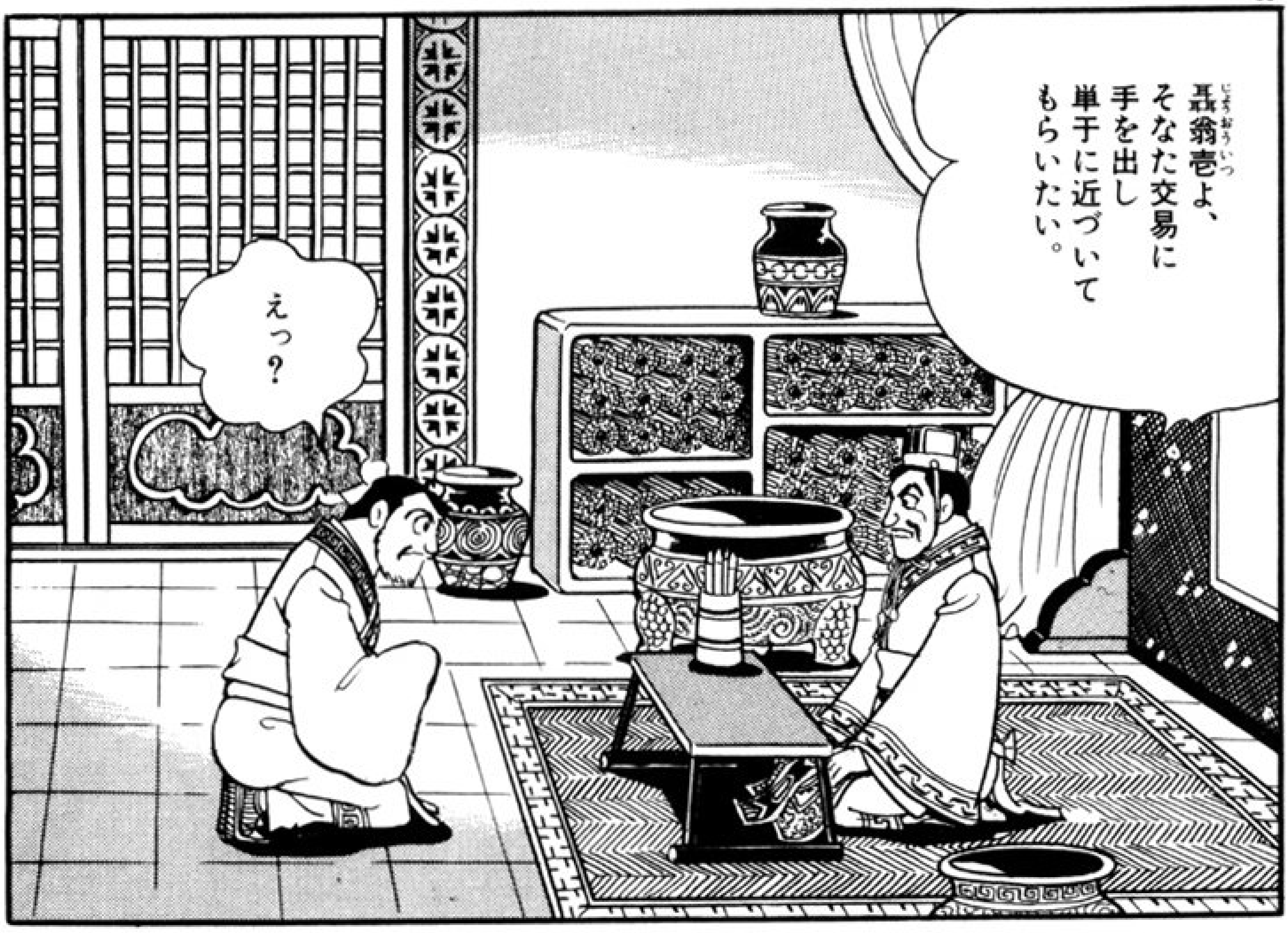
のう、わが国は
匈奴に対して
なぜ受け身の政策を
つづける？
それは高祖以来
匈奴と戦って
わが軍は大きな被害を
こうむりました。
それならば和親を結び
国内の安定に
力をそそいだほうが
得策ということに
なったのです。

それは昔の話だ。今は国内も安定し軍勢もはるかに多く軍費にも困らぬ。わが国の方が大国なのだぞ。
最初はそち達の言う通りにしておったが、朕はこの政策に不満である。
はい。
一方的に破られる和親条約など無意味である。それよりも匈奴を討伐すれば問題は解決するのだ。
陛下、漢軍が強くなったといえども匈奴はまだまだ強く、遠征すれば勝利はおぼつかぬと思います。
ではこの屈辱的な和親条約を続けよと申すか。
陛下、地の利を先取りして伏兵を置き、単于をおびきよせれば匈奴討伐は可能です。
そうか、その作戦を考えよ。

34



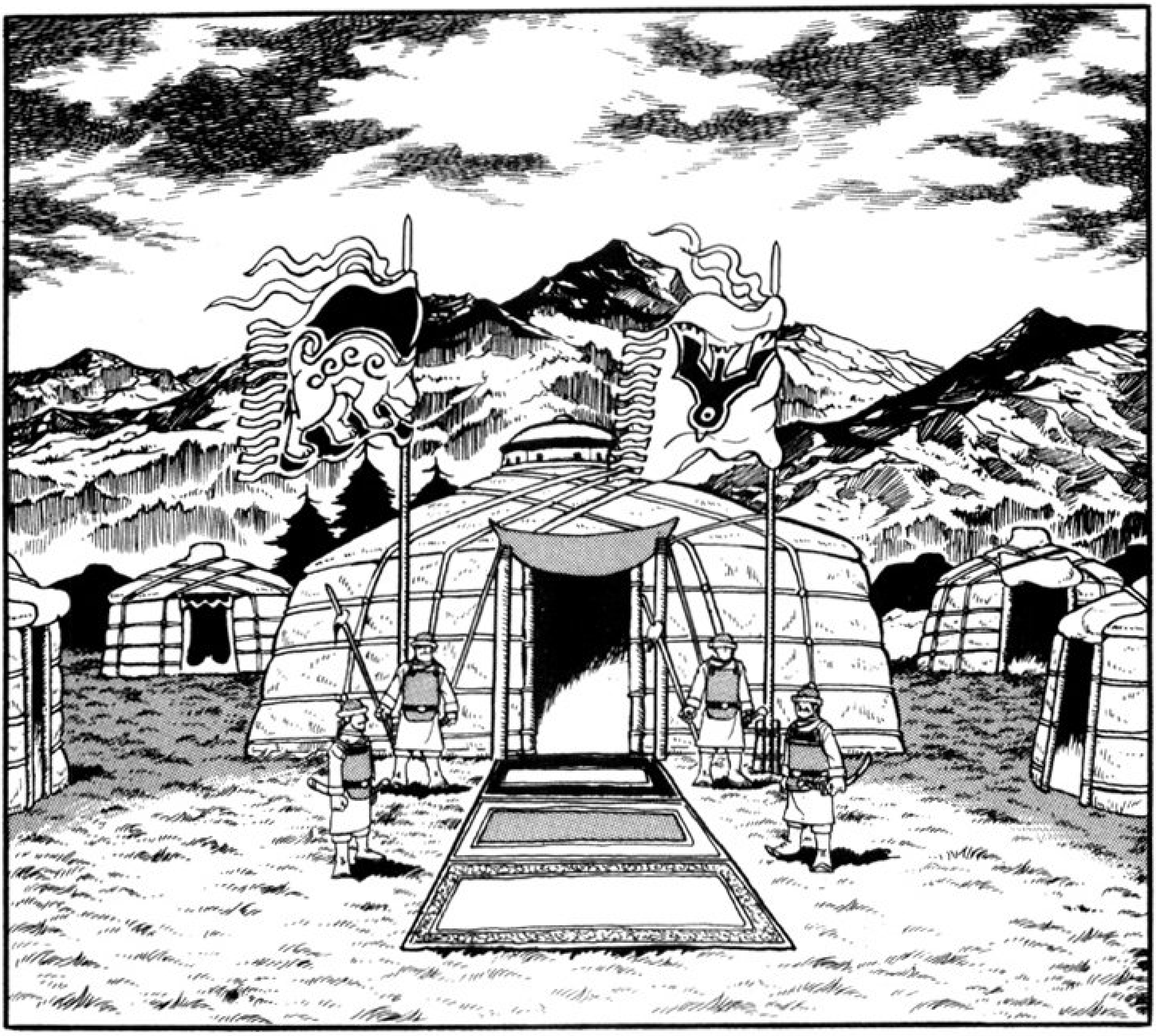
35



交易をしたくらいで単于に近づけるとは思えませぬが。
禁輸の高級品を持ち出し、単于の関心をひきつけるのじゃ。
お言葉ですが、御禁制の品物を持ち出せばそれがしが罪に問われます。
心配いたすな、これは朝廷の密命なのだ。
そして単于に信用されれば馬邑の城を売り渡せ。
なんですと!?
よいな、連絡を怠るでないぞ。
ははっ!

36

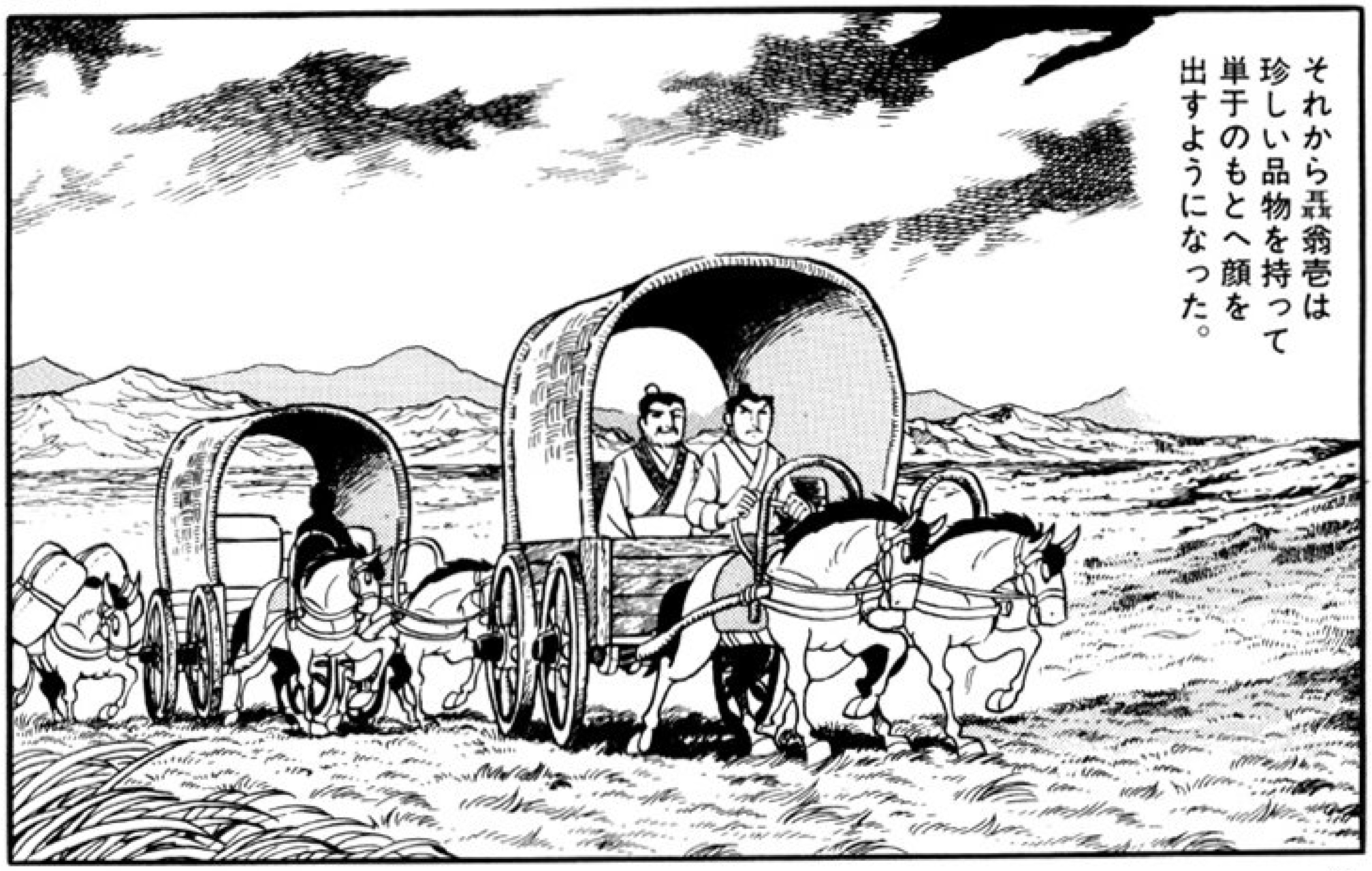
聶翁壱は
ただちに匈奴との
交易をはじめた。
そして禁制の品を、
種族の
長のもとへ
持ち込んだ。
こうしてだんだんと
匈奴の上層部へ
近づいていった。



38

今日はどのような物を持っているのじゃ？
これ、品物をお持ちしろ。
ご覧くださりませ。漢の貴族が好む高級品でございます。
玉を散りばめた香炉や盃、置物でございます。
うむ。

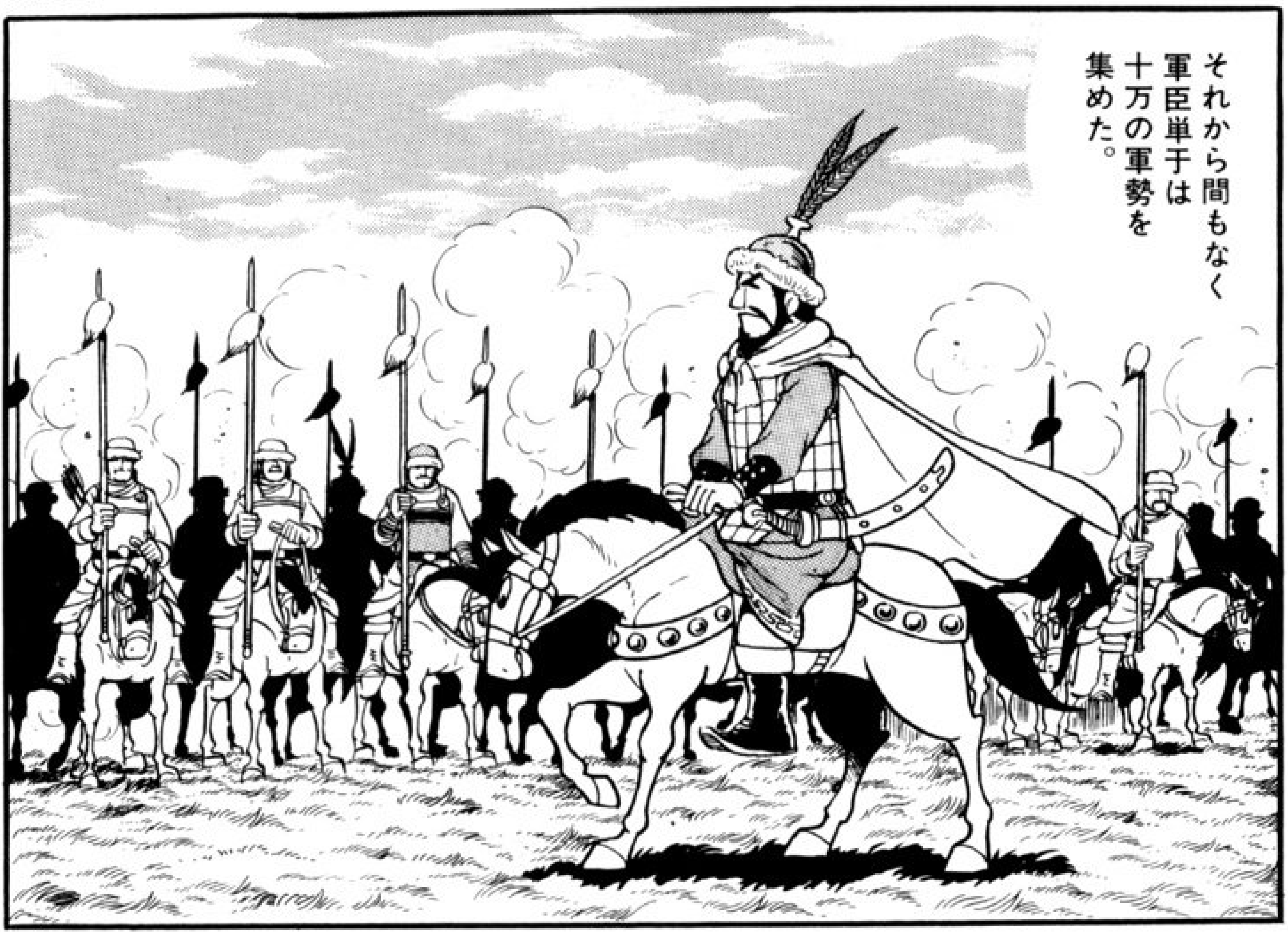
単于さまの持ち物としてふさわしい物にございます。
うむ、ほかにどのような物を持ってこられた。
わたしは商人でございます。客の求める物を用意してまいります。この品々は単于さまに献上しようと思って持ってまいりました。
ほう、わしへの贈物と申すか。
40
気に入った。ここでも自由に交易をいたすがよい。
ははーっ。


それから聶翁壱は
珍しい品物を持って
単于のもとへ顔を
出すようになった。

41

ほう、今日も
色々と持って
まいったな。
何と交換したい？
珍しい
野生の動物の
毛皮が欲しゅう
ございまする。

ところで単于さまは馬邑の城を買う気はございませぬか。
なにっ!?
あそこは放牧に適した草原も近く、物産も豊かな土地でございます。
あれはそなたの城ではあるまい。
馬邑城の城将は匈奴を恐れております。身分の保障さえしていただければわたしが買収し投降させます。だがそれだけの代金が必要となります。
ふむう、興味のある話じゃのう。
42
よし、おって連絡いたそう。
ははーっ、高く買ってくださいませ。



43

馬邑城まで四十キロの地点まで進んだ。
うん?
どうなされました?
まわりを見よ。
44

家畜が放牧されているのに人の姿が一人も見えん…これは変だ。
たしかに。
よし、近くの役所を襲って様子を探ってみよう。

45

46

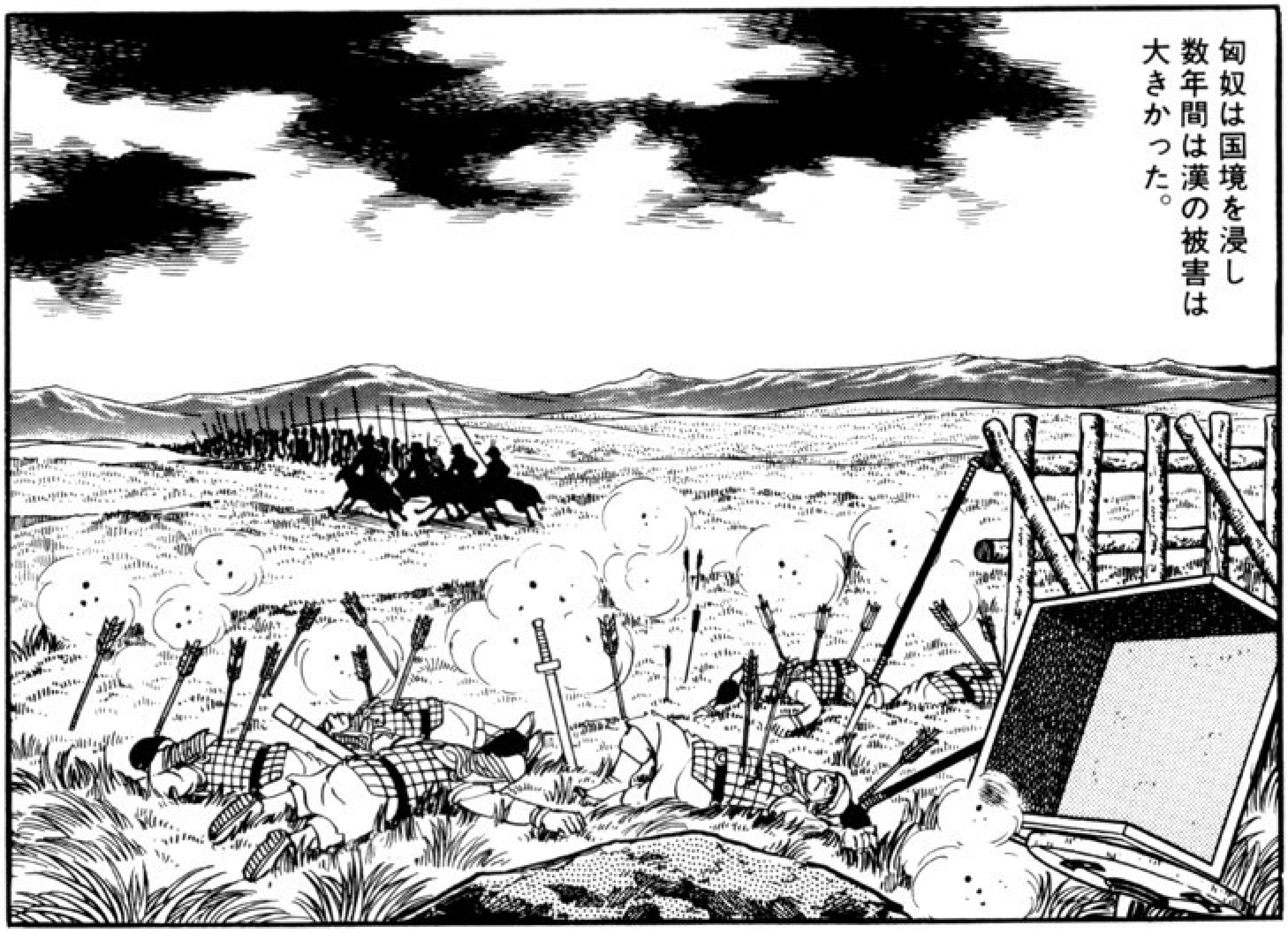
ドス
ドス
47
単于さま、こやつは上官のようです！

おまえが この役所の 長か。
いいえ、わたしは 国境の巡察官で 役目上 ここに 立ち寄ったばかりです。
国境巡察官ならば 国境付近の状況に くわしいであろう。 このあたりは家畜が 放牧されているが 人の姿が見えん… これはなぜだ?
正直に答えよ。 答えれば匈奴で もっと手厚く 迎えよう。 答えねばここで 首をはねる。
どちらを 選ぶ!!
は、はい… 答えます 答えます。

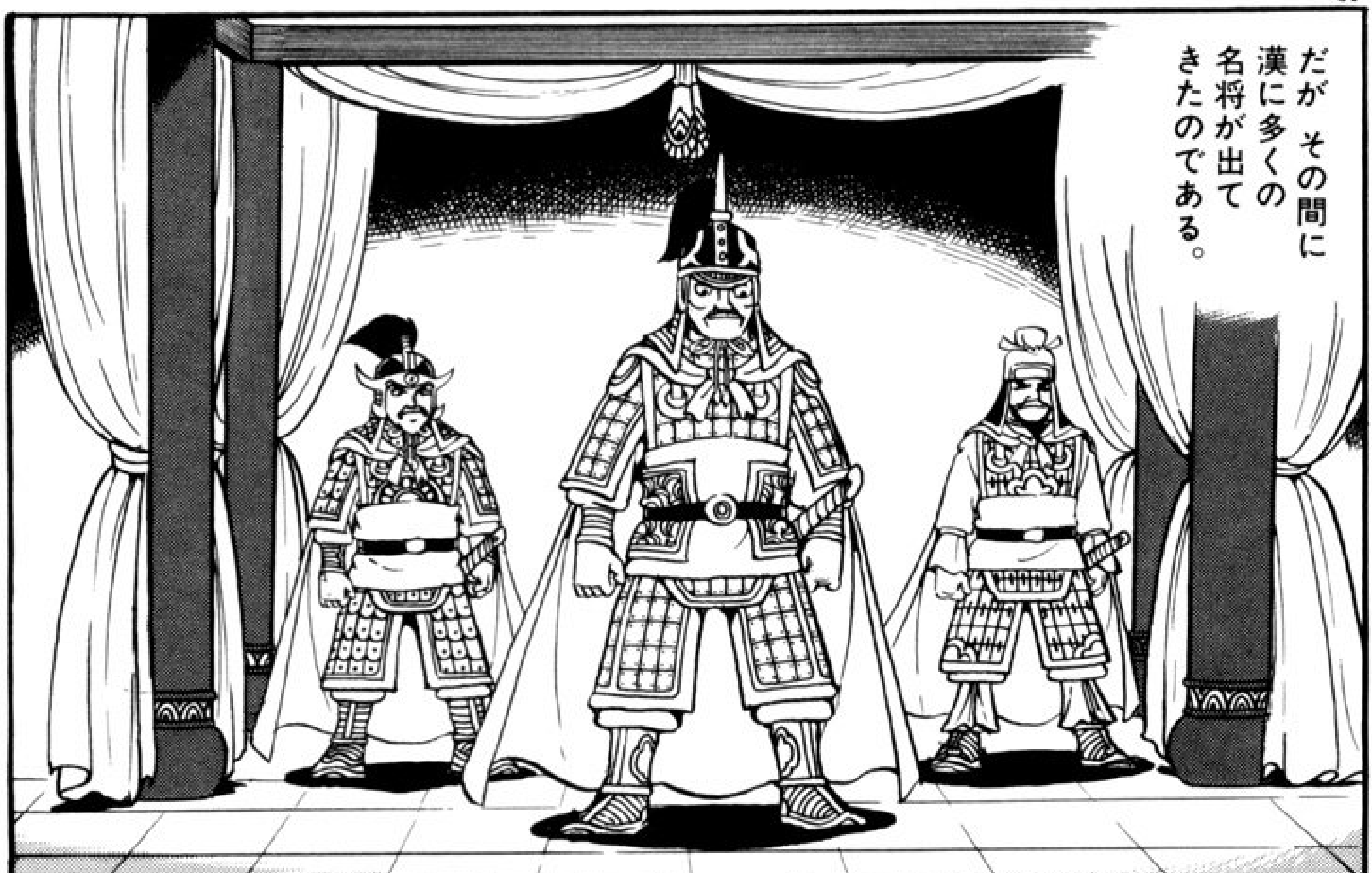
48

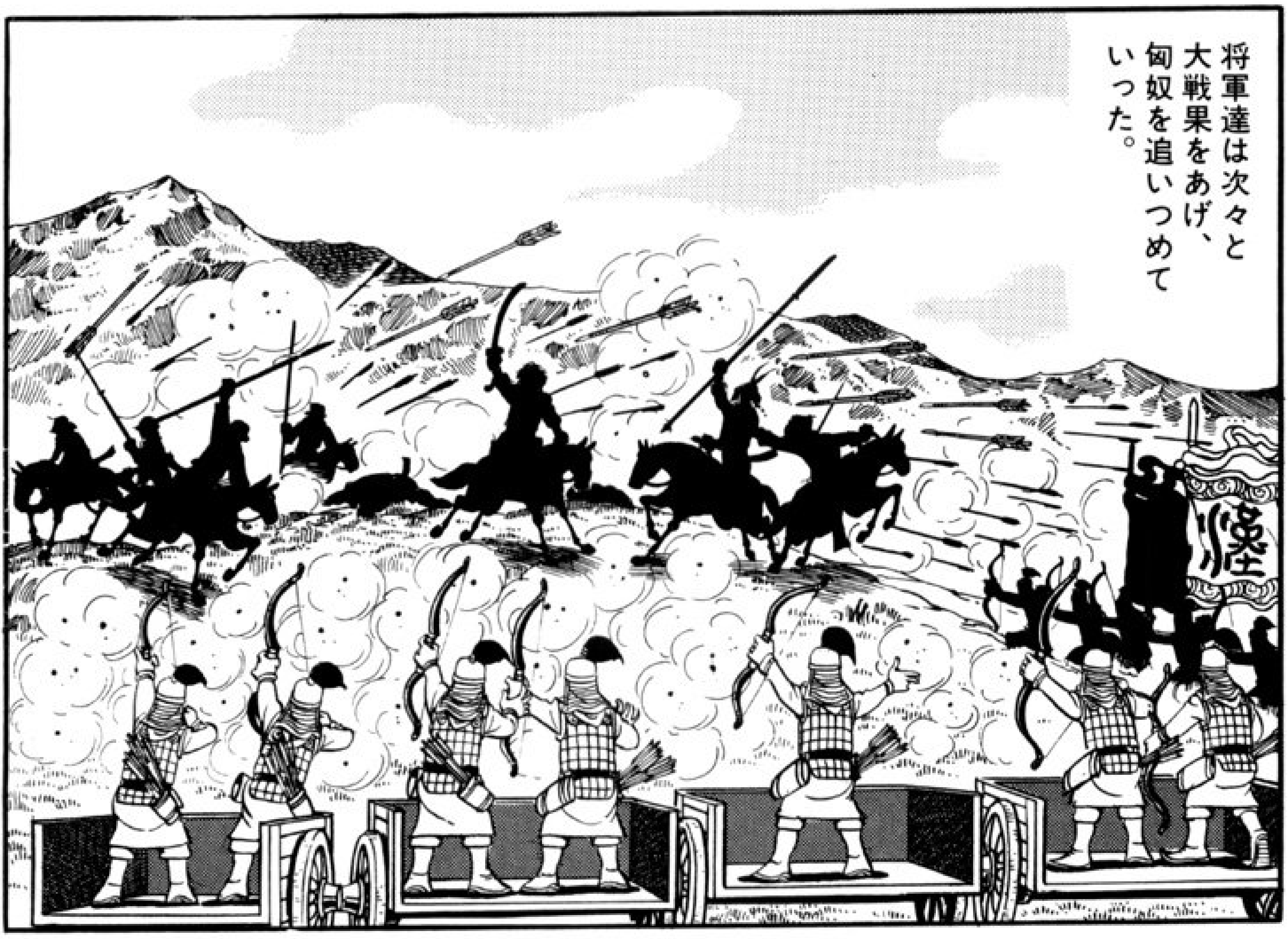
実は馬邑城のまわりには四人の将軍が三十万の軍勢をひきつれて待ち伏せております。農民達は戦いを恐れて身をかくしているのです。
なにっ!?
嘘ではあるまいな!!
は、はい…
危ないところであった…このまま進んでいたならわれらは全滅してたであろう。
天がこの男の口を通してわれらに危機を教えてくれたのであろう。
約束通りそなたは匈奴で手厚く迎えよう。
は、はい。
引き揚げるぞ!!

50

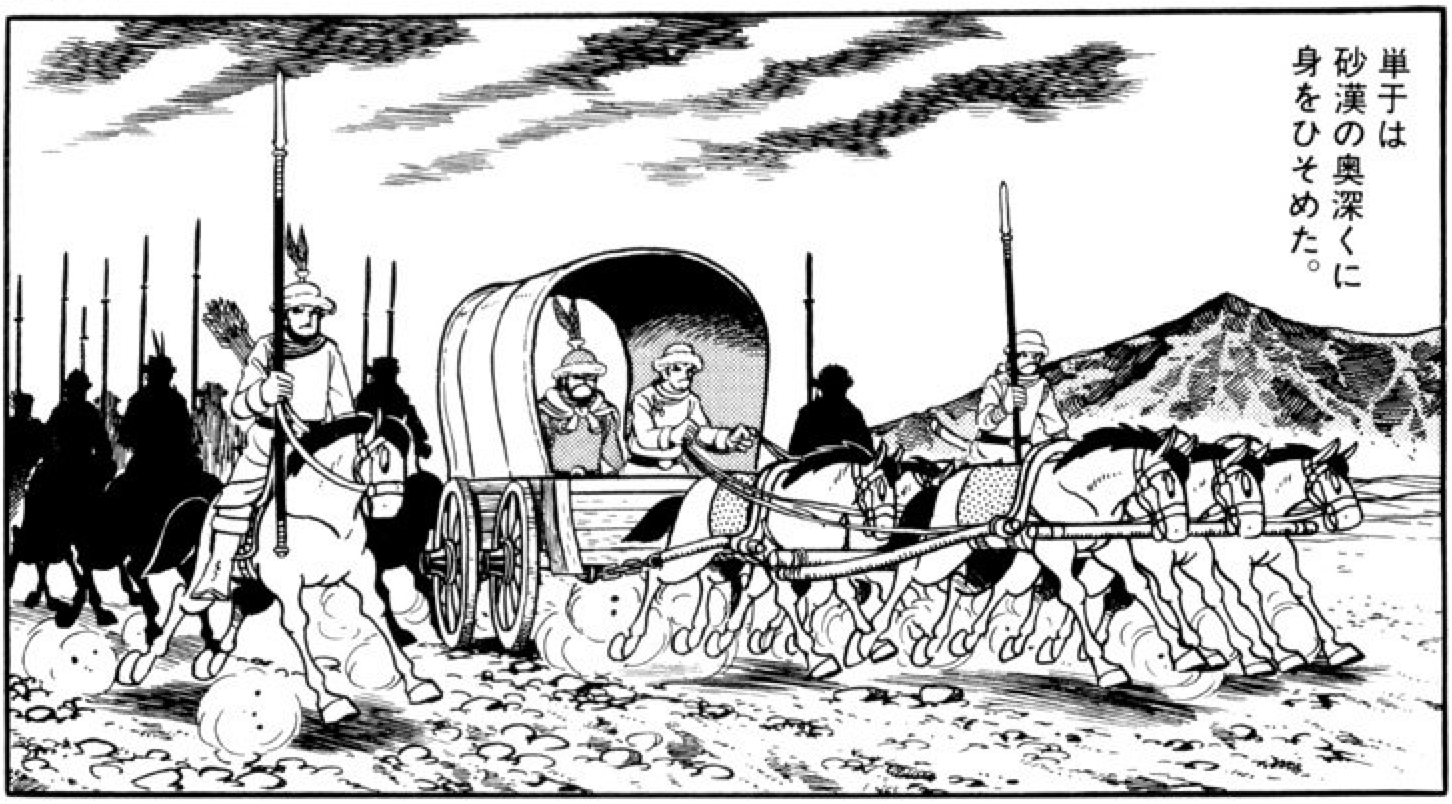


51





52



53

諸侯よ、
各地の匈奴は
次々と帰順し
単于は砂漠の
奥へ逃げこんだ。
わが国は
始皇帝時代よりも
大きくなった。

54

始皇帝は
天下を統一した時、泰山で
封禅の儀式を
おこなった。
だが朕の威光は
始皇帝をしのぐ。
朕こそ封禅の
儀式をおこなうに
ふさわしいと思う。

封禅の思想は
春秋時代にでき、
天命を受けて
天子となった者が
泰山に登ると
仙人になれるというものだ。
天子は天地の神を祭り
永遠の国の繁栄を祈るのが
封禅の儀式であった。

55

始皇帝はその方法を
秘密にしておこなった
ため、文官達は
その方法を調べた。
「史記」の筆者
司馬遷の父も
その一人であった。

56

『史記』―完―

ビッグゴールド'97年７月号～９月号、'98年６月号掲載作品

『史記』関連年表

紀元前	中国
2550	黄帝、顓頊、帝嚳、堯、舜の五帝が支配した**伝説の時代**。
2144	**夏**、始まる。
1711	**殷**、始まる。
1066	周、始まる。
1065	魯、燕、衛、晋、曹、蔡、呉、陳、宋、斉、楚の諸侯、成立。
770	**東周**、始まる。秦、諸侯に列する。
722	**春秋時代**、始まる。

紀元前	世界の国々
4000頃	エジプト初期王朝時代始まる。王都メンフィスを創設。
2700頃	エジプト、ピラミッドを造営。
2500頃	インダス文明はじまる。日本、縄文文化中期（発展期）。
2000頃	クレタ文明旧宮殿時代。
1600頃	日本、縄文時代後期。
955	ソロモン（ダビデの子）イスラエル王となる。
776	ギリシア、オリンピアで第1回オリンピア競技会開催。
753	ローマ建国。

686	斉の**襄公**、公孫無知の謀犯により死す。
685	斉の**桓公**、管仲を宰相に迎える。
667	斉の**桓公**、周王より伯（覇者）を賜る。
666	晋の**驪姫**、その子・奚斉を立てようとし、**重耳**らの追放をはかる。
645	斉の宰相**管仲**死す。
636	重耳、亡命19年ののち即位し、晋の文公となる。
546	宋の向戌の提唱で、晋、楚、魯、蔡、衛、秦など13か国間の和平成立。以降40年間休戦となる。
522	楚の**平王**、**伍奢**とその子伍尚を死罪に処す。伍尚の弟**伍子胥**、呉に逃げる。
515	呉の公子光、王、僚を討ち王位につく。名を**闔廬**と改める。
511	呉、**伍子胥**の計を用いて楚に侵入。
506	呉、楚軍を破り、楚の都郢に入る。
505	越、呉に侵入。楚の**申包胥**、秦の援軍を得て楚を救う。呉敗北。
496	呉王**闔廬**、越王**句践**と戦い、矢傷を負い敗死。
494	呉王**夫差**、**句践**を会稽山で破る。

625	新バビロニア王朝はじまる。
539	新バビロニア王朝滅亡。ペルシア帝国隆盛期。
500	ペルシア戦争始まる。
500頃	日本、縄文晩期時代。
490	マラトンの戦いでペルシア、ギリシアに敗れる。

紀元前	中国
484	呉王**夫差**、艾陵で斉軍を破る。**伍子胥**、呉王夫差より死を命ぜられ自害。
482	呉王**夫差**、黄池で覇権を争う。その隙をついて越王句践、呉に侵入。呉、大敗を喫す。
481	**春秋時代**終わる。
479	孔子死す。
473	越王**句践**、呉を滅亡させ、覇者となる。
453	大国・晋、韓・魏・趙の三氏に分裂される。これより三晋おこる。
446	魏、文侯即位。魏の国力盛んとなる。
403	**戦国時代**始まる。
387	魏の文侯没す。**呉起**、楚に移り宰相となる。
384	秦、殉死を禁止。
381	楚の悼王没す。**呉起**、楚の貴族たちに殺される。
367	周、**西周**と**東周**に分裂。
359	秦の孝公、**商鞅**を左庶長に任じ、新法を公布、国内改革を断行。
350	秦、咸陽へ遷都。

紀元前	世界の国々
457	ギリシア、オリンピアにゼウス神殿完成。
449	アテネ艦隊、キプロス島でペルシアを破る。ペルシア戦争終わる。
447	ギリシア、パルテノン神殿着工。

341	斉の将軍**田忌**、**孫臏**の計により魏軍を破る。魏の将軍龐涓、自害。
340	秦の**商鞅**、魏軍を破り、商・於に封じられる。
338	秦の孝公没す。**商鞅**、車裂の刑に処される。
299	秦の**昭王**、斉の**孟嘗君**を迎える。
298	**孟嘗君**、秦より斉に逃げ帰り宰相となる。趙の恵文王、公子勝を**平原君**に封ずる。
293	秦の**白起**将軍、韓・魏連合軍を伊闕で破り、二十四万人を殺害。
289	このころ孟子没。
286	斉、宋を滅ぼす。
284	燕、秦、趙、韓、魏、連合して斉を討つ。燕の将軍・**楽毅**、斉都臨淄に攻め入る。
280	秦の**白起**将軍、趙を破る。秦の**昭王**、趙の**恵文王**と澠地で会談。
279	燕の昭王死去。**楽毅**、趙へ亡命。斉の**田単**、楽毅に奪られた七十余城を取り戻す。**孟嘗君**死去。

340頃	日本、弥生前期時代。
336	アレクサンドル大王即位。
331	ペルシア帝国滅亡。
317	インド、マウリア王朝を興す。
276	第一次シリア戦争始まる。

紀元前	中国
278	秦の**白起**将軍、楚を討ち、首都・郢を占拠。楚、東方の陳へ遷都。
277	秦の**白起**将軍、武安君に封じられる。
276	**魏**の公子無忌、**信陵君**に封じられる。
273	秦の**白起**将軍、魏・韓・趙連合軍を破り、13万人を殺害。
270	趙の将軍・**趙奢**、作戦で秦軍を破る。
266	秦の昭王、**范雎**を宰相に任じ、応候に封じる。
262	楚の**孝烈王**即位。黄歇を**春申君**に封じる。
261	戦国時代最大の合戦、趙・秦の両軍による**長平の合戦**始まる。
260	趙の孝成王、**廉頗**将軍を罷免し、趙奢の子、**趙括**を総大将に任命。秦の**白起**将軍、趙軍を長平で大破し、捕虜四十万余を生き埋めにする。
257	秦の**白起**将軍自害。秦の王陵将軍、趙の都、邯鄲を包囲するも、楚の**春申君**、魏の**信陵君**の助太刀により大敗。
256	**秦**、西周を滅ぼす。

紀元前	世界の国々
269	ローマ、銀貨を初めて鋳造。
268	インド、アショーカ王即位。マウリア王朝最盛期に。
264	第一次ポエニ戦争始まる。

255	秦の昭王、**范雎**を罷免する。
249	秦の昭王、**呂不韋**を相国とする。
247	秦、魏に侵攻。魏の**信陵君**、五か国の兵を率いて秦を破る。
246	**秦王・政**（後の始皇帝）即位。呂不韋幼君政に代わって執権。
241	趙・楚・魏・燕・韓の5か国、連合して秦を攻め、函谷関に敗れる。
238	楚の李園、**春申君**を殺害。秦の長信候・**嫪毒**、謀反を起して失敗、車裂きの刑に処される。
237	秦の**呂不韋**、相国を解任され楚の**李斯**、秦王に登用される。
235	秦の**呂不韋**自害。
233	韓の公子・**韓非**、和平の使者として秦に送られ、後に獄中で毒を飲み自害。
230	秦により韓滅亡。
228	秦により趙滅亡。趙の公子・**嘉**、代に逃亡し代王となる。
227	燕の太子・**丹**、**荊軻**を刺客として秦王の許に送り失敗、太子丹、遼東に逃亡。秦の**王翦**、燕を討つ。

256	ローマ海軍、シチリア南岸沖でカルタゴ海軍を破る。
248頃	パルティア王国建国。
241	第一次ポエニ戦争終わる
232	アショーカ王没。

紀元前	中国	紀元前	世界の国々
226	燕の太子**丹**、遼東で死去。		
225	秦により魏滅亡。		
223	秦により楚滅亡。		
222	秦により燕、代滅亡。		
221	**秦**、天下統一。秦王・政、**始皇帝**と改称。**李斯**を丞相に任命し、群県制を実施。		
220	**始皇帝**、第一回巡幸（西方）。		
219	**始皇帝**、第二回巡幸（東方）。霊峰・泰山にて封禅の儀式をとり行う。		
218	**始皇帝**、第三回巡幸。韓の**張良**、博浪沙にて暗殺を試みるが失敗。		
215	**始皇帝**、第四回巡幸。**蒙恬将軍**、匈奴を討伐。	215	第一次マケドニア戦争起こる。
214	万里の長城の建設始まる。		
213	禁書の布令出る（世に言う「焚書」）。		
212	**驪山陵**、**阿房宮**の建設始まる。儒者四百六十余人を生き埋めにする。（世に言う「坑儒」）。		
210	**始皇帝**、第五回巡幸中、沙丘平台にて死去。驪山陵に葬る。**胡亥**、二世皇帝を即位。		
209	**陳勝**・**呉広**、蘄県大沢郷にて挙兵。**項梁**・**項羽**、会稽にて蜂起。**劉邦**、沛にて蜂起。		
		205	第一次マケドニア戦争終る。

208	**呉広・陳勝**、配下の手により刺殺される。
207	**項羽**、鉅鹿に秦軍を破り、諸侯を掌握。**秦の李斯**、趙高の謀議により刑死。**趙高**、秦の二世皇帝を殺害、**子嬰**を皇帝に立てる。子嬰、趙高を殺す。
206	秦王・子嬰、**劉邦**に降伏。劉邦、法三章を約す。項羽と劉邦、鴻門に会す。
205	劉邦、韓信の計を入れて漢中から出、三秦を平定。楚・漢の戦い始まる。劉邦、楚都・彭城を攻め大敗。
204	韓信、趙を破る。
202	**劉邦**、項羽を破り、漢王朝を興す。劉邦、皇帝・高祖を名のる。
201	高祖、楚王**韓信**を淮陰侯に降格。
196	淮陰侯**韓信**、誅殺される。
195	**黥布**、敗死。**劉邦**死去。**恵帝**立つ。
194	**趙王如意**とその母戚、呂后に殺される。
188	**恵帝**死去。**呂后**の専攻始まる。
187	**呂氏**一族、王に封じられる。
180	**呂后**病死。丞相**陳平**、太尉**周勃**らと計り、呂一族を討つ。**文帝**立つ。

紀元前	中国
174	**淮南厲王**、謀反し、流刑となり蜀へ送られる途中、病死。
157	**文帝**死去。**景帝**立つ。
155	**晁錯**、御史大夫になり、諸侯の領土削減政策を実施。
154	**晁錯**、誅殺される。
145	**司馬遷**、生まれる。（異説あり）。
140	**武帝**、天下の大学者、**董仲舒**を得る。
136	武帝、**五経博士**を置く。
110	**武帝**、泰山で封禅を行なう。
104	太初暦（陰暦）完成。
99	匈奴軍に降った**李陵**を弁護したため、**司馬遷**宮刑に処される。
96	**司馬遷**、大赦により出獄し、中書令に任命される。
87	**武帝**死去。
86	**司馬遷**死去。（異説あり）。

紀元前	世界の国々
144	ローマ、マルキア水道建設。
133	グラックス兄弟の改革。
87	民衆派ローマを占領。恐怖政治始まる。

BIG GOLD COMICS

ビッグゴールドコミックス

史記

漢大帝国

〈15〉

1998年8月1日　初版第一刷発行

著者

横山光輝

©1998 MITSUTERU YOKOYAMA

発行者

熊谷玄典

発行所

株式会社　小学館

振替(00180-1-200)

〒101-8001東京都千代田区一ツ橋2-3-1

[編集]TEL03・3230・5481[販売]TEL03・3230・5749

印刷所

株式会社美松堂(カバー・表紙)

中央精版印刷株式会社

装幀

海野一雄

＋

Bay Bridge Studio

●本書の一部あるいは全部を無断で複製・転載・上演・放送等をすることは、
法律で認められた場合を除き、著作者および出版者の権利侵害となります。あらかじめ小社あて許諾を求めてください。
●造本には十分注意しておりますが、万一、落丁・乱丁などの不良品がありましたら、「制作部」あてにお送りください。
送料小社負担にてお取り替えいたします。制作部(TEL0120-336-082)
Ⓡ本書の一部または全部を無断で複写(コピー)することは、著作権法上での例外を除き禁じられています。
本書から複写を希望される場合は、日本複写権センター(TEL03-3401-2382)にご連絡ください。

検印廃止

ISBN4-09-189195-0

Printed in Japan

好評発売中!!

心の底から暖かくなるハートフル・ストーリー

- 里中満智子「アトンの娘」全③巻
- 近藤ようこ「心の迷宮」①〜②巻
- 水島新司「平成野球草子」全⑩巻
- ジョージ秋山「博愛の人」全⑧巻
- 横山光輝「史記」全⑮巻 最新刊⑮巻
- 松本零士「無限海漂流記」①〜②巻
- 松本零士「ケースハード」①〜⑥巻
- 水木しげる「妖怪博士の朝食」全④巻
- 齋藤なずな「作品集①迷路のない町」
- 齋藤なずな「作品集②恋愛烈伝」(上)
- 齋藤なずな「作品集③恋愛烈伝」(中)
- 齋藤なずな「作品集④恋愛烈伝」(下)
- 竹宮恵子「紅(くれなゐ)にほふ」全③巻

小学館

ビッグゴールド BGC コミックス

青柳裕介「作品集①男の船出」全①巻

青柳裕介「作品集②男達の航海」全①巻

青柳裕介「ゼンマイ仕掛けの犯罪白書」全②巻

藤子不二雄Ⓐ「ワールド漂流記」①巻

岡崎二郎「作品集①トワイライト・ミュージアム」

石ノ森章太郎「HATAGO〈旅籠〉」全②巻

石ノ森章太郎「石ノ森版立川文庫」①～③巻

画 家哲郎 高井研一郎「たらちねストリート」全②巻

久保田千太郎 ほんまりう「新・藩翰譜森一族」全②巻

村野守美「職人尽百景」①～③巻

畑中純「理想宮」全②巻

戸川幸夫 矢口高雄「野性伝説」①～⑤巻

●四六変型判●各224～288頁●定価(各)650円～700円〈税込〉